

生涯学習施設の整備(図書館・越木岩センター)について

1 「西宮市立中央図書館移転整備基本構想及び基本計画(素案)」について

中央図書館は、昭和60年に新設された教育文化センター内に新しい図書館として開館しましたが、一般利用者用駐車場がないなど、多くの市民が利用しやすい立地とは言えない状況にあり、開館から40年近くが経過し、施設の老朽化が進行しています。

一方、阪神西宮駅北地区を含む本庁舎周辺エリアでは、本庁舎周辺の公共施設再編と合わせた中心市街地の再生に取り組んでおり、駅前立地を活かし、多くの人々が訪れる図書館を核とする、民間施設も含めた公民複合施設を阪神西宮駅の駅前空間に整備し、活気に満ちたまちづくりを進めることが検討されています。

本計画(素案)は、これらの前提を踏まえ、新しい中央図書館を市民の自主的な学習を支える生涯学習の拠点であるとともに、多様な人々が集い交流することで賑わい、新たなコミュニティの形成につながる場とするために必要な機能や取組、必要な蔵書数、施設規模などを検討したものです。

つきましては、以下日程で本計画(素案)について、パブリックコメントを実施し、市民や団体等から多様な意見を募り、新しい中央図書館のあり方に反映してまいります。

●パブリックコメントの実施

<実施期間>

令和6年(2024年)5月24日(金)～同年6月24日(月)

<計画素案等の閲覧・配布先>

市のホームページで公開するほか、支所、サービスセンターなどで本計画(素案)の概要版等の配布を行うとともに、本計画(素案)の閲覧が可能

<意見提出方法>

書面(郵送、FAX、窓口)、LINE、インターネット(市ホームページ)

<資料>

【添付資料1】西宮市立中央図書館移転整備基本構想及び基本計画(素案)

【添付資料2】西宮市立中央図書館移転整備基本構想及び基本計画(素案)概要版

【添付資料3】西宮市立中央図書館移転整備基本構想及び基本計画(素案)別冊資料

| 日程 | 内容 | 備考 |
|-----------------------|----------------------------|----------|
| 5月10日(金) | 所管事務報告(パブコメ前) | |
| 5月24日(金) ～6月24日(月) | パブコメ募集(5/24～6/24) | 基本計画素案公表 |
| 8月中旬 | 所管事務報告(パブコメ後) | パブコメ結果報告 |
| 8月25日(日) | HP・市政ニュース掲載 | 基本計画公表 |
| 9月頃 | 所管事務報告(阪神西宮駅北 地区公民連携事業) | 政策局 |

2 (仮称)越木岩センター整備事業について

築後 45 年が経過している未耐震施設である越木岩公民館の建替えにあたり、同一敷地内に存在する越木岩公民館、中央図書館越木岩分室、消防団越木岩分団車庫の 3 つの建物を合築することにより、土地の有効活用と施設管理の効率化を図り、また、これらの機能を融合することで新たな地域の拠点施設として(仮称)越木岩センターを整備します。

<資料>

【添付資料 4】(仮称)越木岩センター整備事業について

以 上

西宮市立中央図書館移転整備基本構想及び基本計画 (素案)

令和6年5月

西宮市

LIBRARY for ACTION

いつか叶えたい夢や、どうしても実現したい目標、
生活の中で感じる困ったことや、長年抱えている悩みに対して、
本だからこそできることを考えたい。
市民の皆さんの背中を押し、次の一步を踏み出してもらうために、
この図書館はつくられます。

人と本の距離が遠くなってきているとは言われますが、
よく推敲され、責任の所在がはっきりし、自発的にページをめくるメディア＝本だからこそ
理解を促し、伝えられることがあります。

無料で本を借り、数時間別世界に行くことは素敵なことです。
一方、新しい西宮市立中央図書館は、
この街に住む方の日々を少しでも健やかにし、
新しい好奇心やモチベーションを具体的に育む場所にしたいと考えています。

駅に直結した場所で、偶然出くわした1冊の本が、
将来に関する不安や、モヤモヤする自己存在に対して、
細やかな光をあてるかもしれません。

「これやってみよう」、「これなら自分もできそう」、「こんな考えがあるんだ」。
未知を遊ぶワクワク感と、世界に対する寛容さと多様さを凝縮した、
新しい行動を促すための図書館。
それが、生まれ変わる西宮市立中央図書館の姿です。

目次

| | |
|--------------------------------|----|
| はじめに | 1 |
| 第1章 移転整備計画策定に向けた前提条件の整理 | 2 |
| 1 市勢概況..... | 2 |
| 2 まちづくりの方向性..... | 2 |
| 3 阪神西宮駅北地区のまちづくり(移転先の概況) | 3 |
| 4 市立図書館と中央図書館の現況..... | 6 |
| 5 市民ニーズの把握 | 8 |
| 6 新中央図書館整備における課題..... | 9 |
| 第2章 中央図書館移転整備基本構想・基本計画..... | 10 |
| 1 新中央図書館の基本理念・基本方針 | 10 |
| 2 新中央図書館の機能と役割..... | 11 |
| 3 新中央図書館の取組..... | 12 |
| 4 蔵書規模・施設整備計画..... | 17 |
| 5 整備スケジュール | 23 |
| 6 市民と共に創る新中央図書館 | 24 |
| 用語集 | 26 |
| [別冊資料] | |
| 1 図書館利用統計(令和4年度) | 1 |
| 2 市民ニーズ調査結果 | 7 |
| 3 蔵書規模検討関連資料 | 30 |
| 4 図書収容能力検討関連資料..... | 32 |

■ 凡例

- 補足の必要な内容には、適宜脚注を挿入し、本文などの該当箇所に脚注番号を付記しています(例:「阪神西宮駅北地区の整備コンセプト図¹」)。
- 文中の用語については、必要に応じて巻末に「用語集」を設け、初出の箇所に*と番号を付記しています(例:「開架^{*1}」)。

はじめに

現在の中央図書館の前身である「西宮市立図書館」は、教育・文化に造詣が深く、地域に貢献してきた西宮郷の酒蔵家である辰馬本家当主の十三代目 辰馬吉左衛門氏の全額寄付により、現在の市役所の南に昭和3年に建設されました。その後、戦災復興を経て、人口増加と町村合併による市域拡大などに伴い、開架^{*1} スペースが手狭で蔵書^{*2} の半数近くを書庫に所蔵している状態となり、老朽化も激しくなったことから、昭和 55 年に「新図書館建設調査委員会」を設置し検討した結果、現在の川添町に移転することになりました。

新図書館は昭和 60 年に竣工し、「西宮市立図書館」は「西宮市立中央図書館(以下、「中央図書館」という。)」へと改称して開館しました。その後、平成2年に北部図書館、平成 10 年に鳴尾図書館、平成 13 年に北口図書館を開館し、現在の4拠点館体制となりました。

一方で、西宮市は戦後の高度経済成長による市勢の拡大に伴い、市役所本庁舎や市民会館などの多くの公共施設を建設してきましたが、現在それらが更新の時期を迎えつつあります。これらの施設すべてを再整備することは財政上も困難であることから、平成 24 年に「公共施設マネジメントのための基本的な方針」を策定し、将来を見据えた施設総量の最適化にむけた取組を進めています。

令和元年に人口減少社会の到来と多様化する行政ニーズやまちづくりのニーズに適応し、本庁舎周辺地区の魅力をより高めるため、空間整備の方針である「本庁舎周辺再整備ビジョン」の素案(以下、「再整備ビジョン素案」という。)と公共施設の中・長期的な整備手順などを示した「本庁舎周辺公共施設再整備構想」の素案(以下、「再整備構想素案」という。)を公表しました。

この再整備構想素案は令和4年に見直しを行い、その中で中央図書館は、阪神西宮駅北側へ移転整備し、「駅前立地を活かした知と交流の拠点施設を目指す」としました。

一方で、人生 100 年時代、超スマート社会^{*3} に向けて社会が大きな転換点を迎える中において、生涯学習の重要性は一層高まっています。図書館は、人々の学習に必要な図書や様々な情報を収集・整理・提供する身近な学習施設です。子供や高齢者など多様な利用者や住民の学習活動を支え、地域が抱える様々な課題の解決に向けた支援や地域の実情に応じた情報サービスの提供など幅広い観点から社会貢献や地域発展に寄与することが期待されています。

西宮市立中央図書館移転整備基本構想及び基本計画では、こうした前提を踏まえながら、新しい中央図書館(以下、「新中央図書館」という。)を、市民の自主的な学習を支援する生涯学習^{*4} の拠点とするとともに、多様な人々が集い交流することで賑わいと新たなコミュニティを生み出す場とするため、そのあるべき姿や役割、機能、取組、およびそれらの実現に向けて必要となる蔵書や施設の規模などを具体的に検討することを目的とします。

第1章 移転整備計画策定に向けた前提条件の整理

1 市勢概況

本市は兵庫県の南東部に位置する人口約 48 万人の文教住宅都市です。北側に六甲山系、南側は大阪湾の美しい自然に恵まれ、数多くの文化施設や教育機関を擁しています。

阪神・淡路大震災の影響を除き、これまで人口増が長く続いていましたが、平成 28 年をピークに、微減傾向にあります。一方、65 歳以上の高齢者人口は今後も増加が想定され、令和 12 年以降は高齢化率の急速な上昇が見込まれています。そうした中で、これまで整備してきた多くの公共施設が更新の時期を迎えつつあることや、将来的な財政運営や地域の活力の維持など、様々な課題への対応が求められています。

経済・産業面では、商業が非常に盛んであり、特に本市の都市核の1つである阪急西宮北口駅周辺には商業施設が集中しているほか、阪急西宮ガーデンズなどの大型ショッピングモールが市の商業の中心となっています。また、伝統産業としての酒造業も有名で、灘五郷の1つとして知られ、日本酒の生産で名を馳せています。

教育・文化面では、本市は市内に 10 の大学・短期大学が立地し、約 3.6 万人の学生が学ぶ「大学のまち」でもあります。また、市民運動を契機として「文教住宅都市」を宣言したまちであり、現在も市内で 150 を超える NPO などが活動するなど、市民意識の高さがまちの文化として根付いています。

2 まちづくりの方向性

今後の市立図書館のあり方や新中央図書館整備に関連する市の計画などの概要は、表 1-1 に示すとおりです。本市では、市民の学び・人づくり・つながりづくり・地域づくりの循環の促進を通じた持続的なまちづくりを目指しています。そのために、関連施策においては、公共施設の規模適正化と中心市街地における魅力的な都市空間の創造を目指すとともに、新中央図書館をまちなかの知と交流の拠点と位置づけ、市民の知的好奇心の充足と課題解決の場とするとともに、まちづくりへの参画のきっかけとなる出会いの場としていく方向性を示しています。

表 1-1 関連施策の方向性

| 分類 | 計画名 | 方向性 |
|--------|----------------------------------|--|
| 生涯学習関連 | 第5次西宮市総合計画 (平成 31 年 3 月策定) | <ul style="list-style-type: none">全庁的な推進体制のもと、生涯学習推進計画に基づく生涯学習施策を総合的に推進する地域コミュニティに貢献するきっかけづくりや人材育成を行う／自主的な学習活動の成果を社会に還元する機会の創出に努める図書館は、市民一人ひとりの知的好奇心を満たすとともに、生活上の課題などを解決するため、知のインフラとして蔵書や司書の専門性を活かしたサービスなどの機能充実を図る |
| | 生涯学習推進計画[令和3年度～令和12年度](令和3年4月策定) | <ul style="list-style-type: none">市民が学びを通じてつながり、そのことが地域を活性化し、よりよいまちづくりに繋がる「学びと活動の好循環」を生む社会のあり方を目指す市民の学びと熟議を経て示された「文教住宅都市宣言」を市の原点と捉え、地域課題について市民が主体的に学び、行動することのできる市民力の醸成に努める |

| 分類 | 計画名 | 方向性 |
|------------|--------------------------------------|---|
| 公共施設関連 | 西宮市公共施設等総合管理計画(令和5年3月改訂) | <ul style="list-style-type: none"> 人口減少および人口構成の変化に伴う市民ニーズの変化に対応した公共施設などの総量の見直しや適正配置が課題 建築系公共施設について施設総量の縮減を図り、本庁舎周辺の公共施設などにおいては、施設の更新時にあわせた集約化や複合化などによる規模の適正化を進める |
| 新中央図書館整備関連 | 本庁舎周辺再整備ビジョン(素案)(令和元年12月中間報告) | <ul style="list-style-type: none"> 市役所本庁舎周辺の中心市街地の再生において、魅力ある都市空間の創造を目指し、段階的に公共施設を集約予定 多様な人々の交流・滞在を促す居心地のよい場の提供を目指す 図書館機能を本地区に導入し、くらしや仕事のヒントが見つかる場とするとともに、新たな居場所や出会いの場、市民参加の機会を提供し、まちづくりへの市民参画のきっかけづくりを進める |
| | 本庁舎周辺公共施設再整備構想(素案)(令和4年11月中間報告一部見直し) | <ul style="list-style-type: none"> 図書館は民間主導の開発事業の実施とあわせて、阪神西宮駅北側エリアへ移転整備を検討する(公民複合施設内、延床面積約5,000㎡を想定) まちなか図書館として、駅前立地を活かした知と交流の拠点施設を目指す |

3 阪神西宮駅北地区のまちづくり(移転先の概況)

本市のもう1つの都市核である阪神西宮駅北地区を含む本庁舎周辺エリアでは、現在、公共施設の再編と合わせた中心市街地の再生に取り組んでいます。

(1) 「本庁舎周辺公共施設再整備構想(素案)」(令和元年12月公表、令和4年11月一部見直し)

再整備構想素案では、第5次西宮市総合計画後期期間中に中央図書館を民間主導の開発事業の実施とあわせて阪神西宮駅北側エリアへ移転し、まちなか図書館として、駅前立地を活かした知と交流の拠点として整備することとしています。

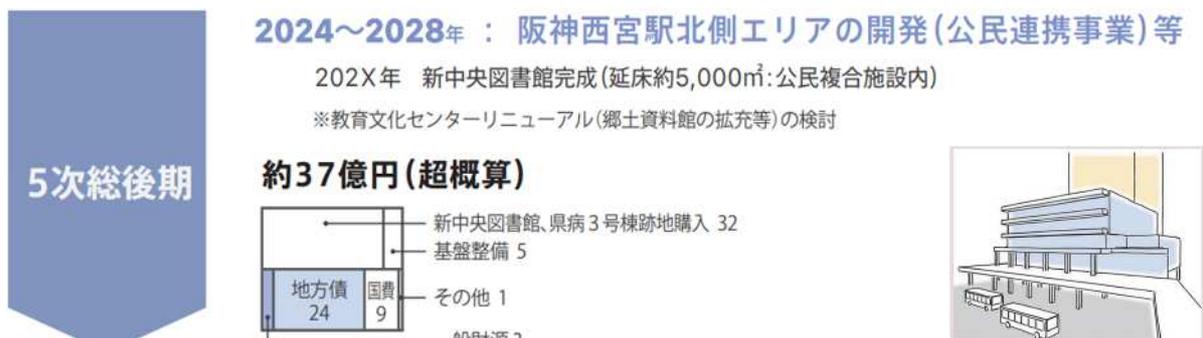
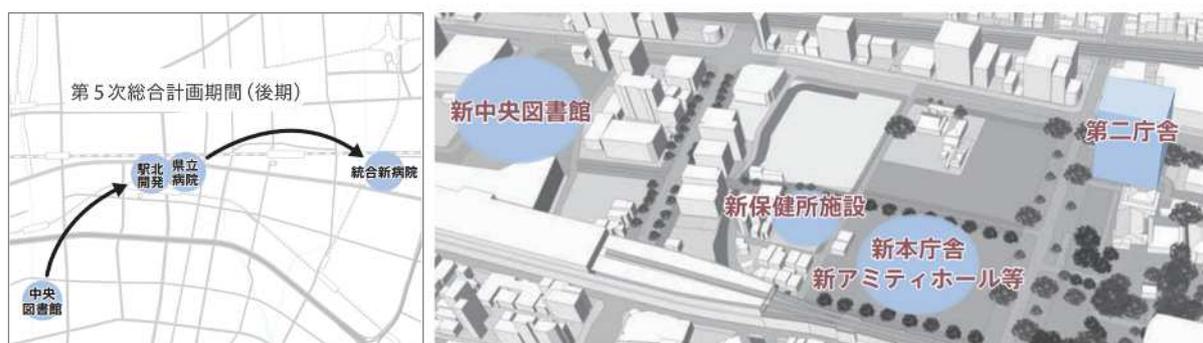


図 1-1 再整備構想素案における中央図書館移転整備のイメージ

(2) 民間提案『『文教住宅都市』西宮の新たな玄関口』(令和5年10月)

令和5年10月、かねてより協議を続けてきた地権者を含む民間事業者からまちづくりに関する提案を受けました。本提案では、新中央図書館や民間施設を含む公民複合施設を阪神西宮駅の駅前空間に整備し、2階のデッキで駅改札口と直結することなどが提示されています。市としてもこれにより、「交通結節機能の強化」「新たな都市機能の導入と土地の高度利用」「安全で快適な歩行者通行空間の確保」という当地区の課題が解消され、効率的で効果的な公共施設の整備などが可能となると判断したことから、同年11月に民間事業者と基本協定を締結し、互いに連携・協力してまちづくりに取り組むこととしました。



公民が連携し、次の手順によりまちづくりを進める想定です。



図 1-2 (参考)民間事業者による提案イメージ

(3) 「阪神西宮駅北地区のまちづくりの進め方」(令和6年1月)

基本協定締結後の令和6年1月に市が示した「阪神西宮駅北地区のまちづくりの進め方」では、再整備ビジョン素案で示した4つの基本方針のもと、5つの整備コンセプトを掲げており、阪神西宮駅から周辺への居心地がよく歩きたくなるウォークアブル^{*10}な空間整備とともに、新中央図書館やまちなか広場といった駅前にふさわしい賑わい機能を整備していくこととしています。



図 1-3 大街区化による街区統合のイメージ

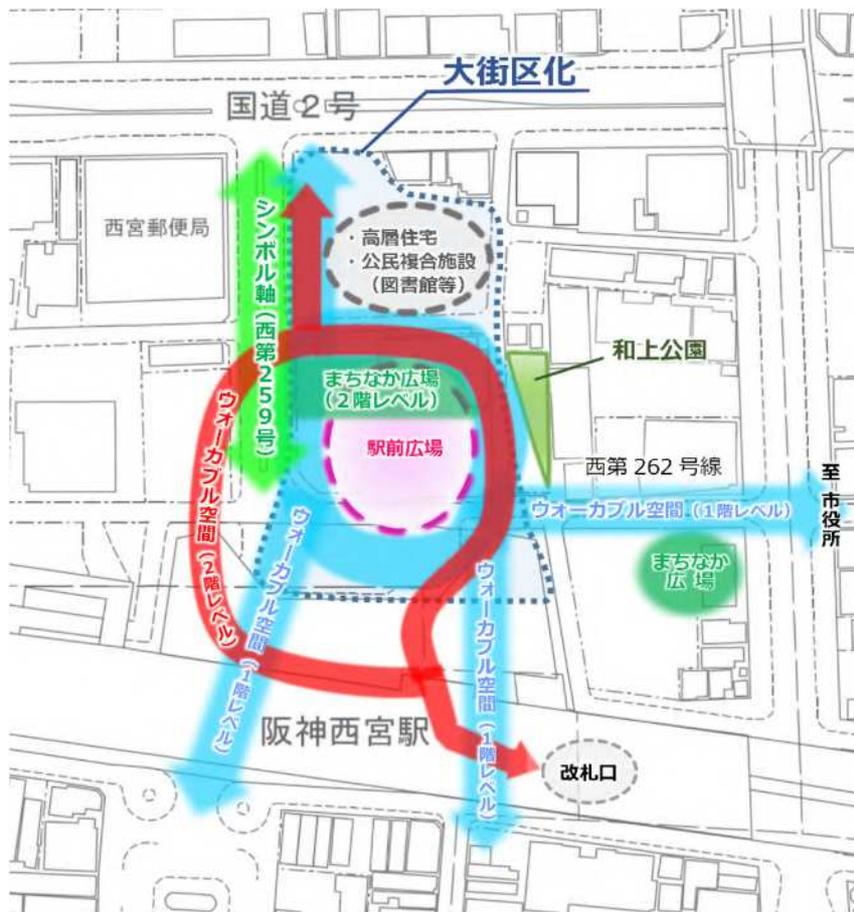


図 1-4 阪神西宮駅北地区の整備コンセプト図¹

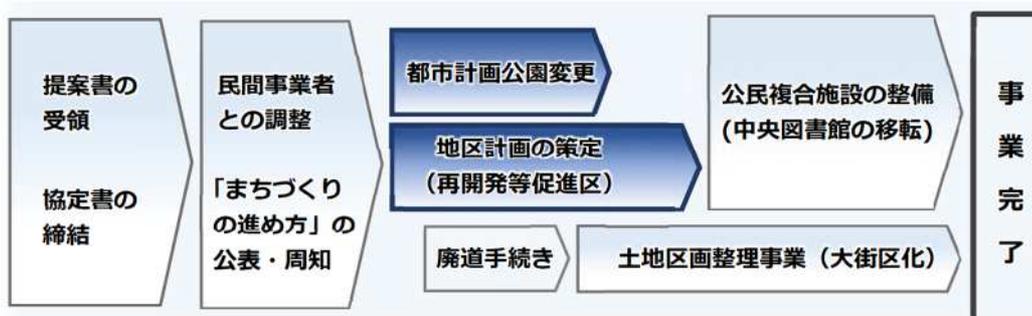


図 1-5 まちづくりの今後の進め方¹

そのほか、阪神西宮駅周辺のエリアでは、全市平均と比べてバスなど多様な交通手段が利用されている一方、休日の移動量が少なく、通勤・通学以外の利用ニーズが低いと考えられる状況²であり、こうしたエリアの特性を踏まえた配慮も必要となります。

¹ 西宮市「阪神西宮駅北地区のまちづくりの進め方」（令和6年1月）より抜粋

² 令和4年「西宮市都市交通計画」より。市内各中心拠点のうち平日に対する休日の移動量の比率が最も低い

4 市立図書館と中央図書館の現況

(1) 施設・事業概況など

1) 市立図書館

西宮市立図書館は、市内の南部地域山麓部を除く各所に立地する4つの拠点館（中央図書館、北部図書館、鳴尾図書館、北口図書館）と7つの分室の計 11 施設でサービスを提供しています。

これらの施設が図書館システム^{*11} で結ばれ、貸出や返却がどこでも行えるようになってほかに、インターネット上の蔵書検索システムで予約を行うことも可能です。また、令和3年度からは、効率的な蔵書管理のため、IC タグ^{*12}を導入しています。

さらに事業実施においては、市関連部署や地域団体と連携した展示・イベントなどを行っているほか、絵本の読み聞かせや本の修理などの活動では100人強のボランティアとも協働しています。

一方で、拠点館はいずれも開館から20年以上が経過し、サービスの拡充にともなって施設が手狭になってきています。また、市立図書館全体の蔵書数が既に収蔵能力の上限を超えていることから、今後、蔵書のあり方について抜本的な見直しを行う必要があります。



図 1-6 施設配置図

2) 中央図書館

中央図書館は、昭和60年に、市南西部に位置する阪神香櫨園駅の南、徒歩6分の場所に整備された教育文化センター内に開館し、市立図書館を所管する読書振興課の事務局があります。ここを拠点に学校や関連部署・施設と連携し、市民の読書振興や地域づくりに取り組んでいるほか、各館・各分室の管理運営や、資料の所蔵に関することなどを統括する中央館機能を担っています。

施設面積は4,682.29㎡(共用部1,027.48㎡含む)で、蔵書数は約40万冊(令和4年度末時点。以下明記のない場合は同様)です。30万冊を収蔵可能な地下書庫を備えていることが特徴で、市立図書館が開館した昭和3年以降の新聞資料や、酒造業などに関する郷土資料を所蔵しています。

一方、施設面積は市内最大ですが、開架室の面積は約1,291㎡とやや小規模で、学習室を除く座席数も約80席と少ない状況です。また、昭和60年の開館から40年近くが経過し、建物や設備の老朽化が進行しているほか、児童コーナーと新聞・雑誌の閲覧コーナーが近接するなど、子供連れの利用者などが気兼ねなく利用しづらい環境ともなっています。

(2) 利用状況

1) 市立図書館

令和4年度の市立図書館の利用登録者数は約 11 万人(登録率 22.8%)で、平成 29 年度以降、コロナ禍の影響もあり減少傾向が続いています。年齢別にみると、5年前(平成 29 年度)との比較では、50 歳以上はほぼ横ばいですが、12 歳までの児童と 20 歳代が約 20%、中高大学生層と 30～40 歳代は約 30%の減となっており、全体では約 19%の減となっています。

全施設の年間総貸出冊数・人数は、5年前と比較して貸出冊数が約 7%、貸出人数が約 6%それぞれ減少しているのに対し、予約件数は 20%以上の増加となっており、図書館を積極的に利用する層と利用しない層の2極化が進んでいることが伺えます。

施設別の利用状況では、利便性の高い北口図書館の利用が全施設の約3分の1を占めています。また、北口図書館では、近年、児童書の貸出冊数など子供の利用が占める割合が上昇傾向にあります。

視聴覚サービスについては、市立図書館全体で利用が減少しており、コロナ禍前と比べて CD の貸出は約 30%、視聴覚資料の館内視聴回数は約 60%の減となっています。

2) 中央図書館

中央図書館は、令和4年度実績で年間約 26 万人の来館と約 58 万冊の貸出がありました。これは市内図書館の中で、来館者数が北口図書館(年間約 53 万人)に次いで2番目、貸出冊数は北口図書館(年間約 109 万冊)・鳴尾図書館(年間約 65 万冊)に次いで3番目となっています。

これは、市内最大の蔵書数を擁しながらも、一般利用者用の駐車場がないことや、利用者の多い駅が徒歩圏内にないことが大きな要因になっていると考えられます。

一方で、他の図書館が所蔵していない貴重な資料を求め遠方からの来館者があるほか、高度な調査相談(レファレンスサービス*¹³)の受付件数は市内の図書館で最多となっています(年間約 820 件)。

(1) 市政モニター調査・来館者アンケート

幅広い市民と既存利用者、双方の視点からの新中央図書館への期待を把握するために2種のアンケートを実施し、市政モニター*14320名および図書館来館者858名から回答を得ました。

半数以上が年1回未満しか図書館を利用していない市政モニターと、大多数が月1回以上利用する来館者の回答傾向を比べると、「今後期待するサービス」として、市政モニターからは図書館による能動的な情報発信に期待する回答が、来館者からは図書館の資料や場のさらなる活用を期待する回答が多くみられました(図 1-7)。

「今後期待する施設・設備」についての回答は、両アンケートで比較的類似しており、一定時間の滞在利用を想定した設備・スペースや、個人利用スペース、興味を喚起する書架*15などの回答が多く見られました(図 1-8)。

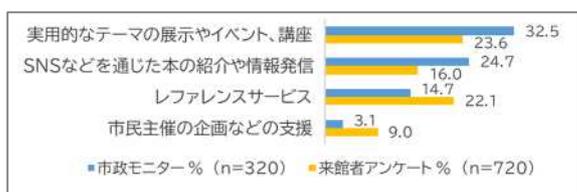


図 1-7 今後期待するサービス(一部抜粋)

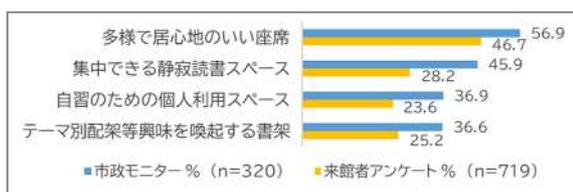


図 1-8 今後期待する施設・設備(一部抜粋)

(2) グループインタビュー

個々人の読書や図書館に対する考え方などの視点から考慮すべきニーズなどを把握するため、本を媒介としながら実施したグループインタビューでは、20歳代以下の若い世代を含む29名の市民が参加しました。

興味深い本としてアートブックや装丁*16の良い本、仕事・生活のヒントが得られそうな本などがよく手に取られていたほか、新図書館に期待することとして、「普段出会えない本と出会える工夫」「市民同士が共有・交流できる場」などが挙げられました。



グループインタビューの様子

(3) プレイスメイキングワークショップ

市民にとって「居心地の良い、愛着の持てる居場所」の具体的なイメージを聴取するために開催したワークショップ*17では、19名の市民が参加し、本に没入できる場でありつつ、活動や交流もできる場であってほしいといった、多様で自由な利用を許容する場への期待がみられました。

表 1-2 意見概要

| 分類 | 主な意見 |
|----------------|--------------------------------------|
| 集中できる場 | 集中できる場/本に浸れる気持ちのいい図書館/本に包まれる空間 |
| リラックスできる場 | 庭や自然が見える/植物がある/くつろげる芝生/動物がいる |
| 多様な閲覧席 | たくさんの心地よい椅子/ゆっくり過ごせるスペース/学習スペース |
| 西宮らしさを発信する場 | 酒蔵風・和風のスペース/ゆかりの作品・作家にちなんだ施設デザイン |
| 柔軟に活用できるスペースなど | 会話、飲食できるスペース/ラウンジ・イベントスペース/自由に動かせる本棚 |

6 新中央図書館整備における課題

(1) 利用や滞在を促す魅力的な場の構築

現在の西宮市立図書館では、利用層の固定化をともなう利用減少傾向が見られ、とりわけ学生層・働き盛り世代といった若い世代の利用減が進んでいます。アンケート調査では、特に未利用層を中心に、居心地のよい座席や Wi-Fi などの利便設備、新たな興味関心を喚起する開架スペースなど、多様な利用ニーズが示されました。また、グループインタビューやワークショップなどでは、市民同士の交流や、西宮らしさの発信などへのニーズも見られました。一方、既存の各図書館では、展示の活発な展開などに取り組んでいるものの、施設の面積・構成上の制限などにより、こうしたニーズへの対応が難しい状況です。また、現在の中央図書館は一般利用者向けの駐車場がないなど、多くの市民が利用しやすい環境となっていません。

未利用層を含む幅広い市民のさらなる利用や来館を促すためには、新中央図書館が日常の中で気軽に立ち寄れる施設になるとともに、リラックスした読書や集中した調査に取り組める一方で、気兼ねなく会話したりイベントに参加したりもできるなど、思い思いに上質な時間を過ごせる場となる必要があります。また、あわせて、来館のたびに新鮮で多角的な視点からの知識や市民生活に役立つ情報を得られたり、西宮の文化やまちの魅力を活かしたイベントなど、ここでしか体験できない何かと出会えたりする場となることが求められています。

(2) 市民・地域との連携強化を通じたまちの未来への貢献

本庁舎周辺地区への都市機能の集積を通じた中心市街地の再生や、西宮市生涯学習推進計画の基本視点に示された「学び・人づくり・つながりづくり・地域づくり」に寄与する図書館を目指すためには、市内の多様な主体との連携が必要です。既存の各図書館では、現在も市関連部署を中心に連携事業を数多く行っていますが、イベントや展示のためのスペース不足などにより、連携拡大の取組みに限界があります。

新中央図書館では、移転後の市役所と近接する立地を活かし、市関連部署と一体になりながら、民間事業者、NPO、大学を含む多様な活動主体との協働や連携をさらに推進することが求められます。各種の情報発信や協働事業などを通じ、市民やまちの抱える様々な課題解決に資する場となるとともに、まちの未来を担う若い世代が他の市民やまちとの結びつきを深めながら、主体的に学び、行動できる市民力を養える場となる必要があります。

(3) 効率的な空間利用と中央館機能の分担

施設総量の縮減や市役所本庁舎周辺における都市機能の集積といった関連施策の方向性を背景として、移転先の床面積は、現中央図書館からほぼ横ばいの約 5,000 m² (共用部含む) を上限に、上の(1)、(2)に示した課題への対応や、従来提供してきたサービスのさらなる向上、市民に必要な資料を提供する機能の確保などを図ることが求められます。

こうした課題に対応するためには、施設空間を効率的に活用するだけでなく、新中央図書館が移転により、市内拠点館の中でも最も開架スペースの規模や利用度が大きい北口図書館と同様に主要駅と直結する図書館となることなども踏まえ、市立図書館の中で中央館機能を適切に分担することが必要です。

第2章 中央図書館移転整備基本構想・基本計画

1 新中央図書館の基本理念・基本方針

(1) 基本理念

第1章6「新中央図書館整備における課題」に示したとおり、新中央図書館には、市民がそれぞれ自由に滞在して多様な知識・情報と出会い、他の市民をはじめとした様々な主体とのつながりを形成しながら、主体的な学びを通じて自身の生活や属するコミュニティをよりよいものとしていくことを支えるような場であることが求められています。

これを踏まえ、新中央図書館の基本理念を、そのような市民の行動につながる図書館を目指し「LIBRARY for ACTION」とします。

LIBRARY for ACTION

本と人、人と人の結び目を丁寧に提案する図書館。
そこでは、未来に向けた自発的な学びと、
読書を通じた個々の新たな行動の変容やコミュニティ形成を促します。

(2) 基本方針

1) 本と人との結び目を提案する

多様な資料が揃い、誰もが気軽に資料や情報にアクセスできる場となるだけでなく、生成AI^{*18}のある時代において紙の本だからこそできる、読み手の心に深く刺さることを意識した選書^{*19}や配架^{*20}を通じて、1冊1冊の本を一人ひとりにしっかりと届け、市民と様々な情報との出会いを生み出します。

2) 市民の自発的な学びや課題解決を支える

きちんと本に集中でき、本と向き合える環境や、個々人の学ぶ意欲に応える場や機会を提供するとともに、市民と市の誇る多様な資源とを結びつけることで、市民一人ひとりがよりよい未来、Well-being(ウェルビーイング)^{*21}に向けて自らの学び、課題を解決していくことを支援します。

3) コミュニティ形成とシチズンシップの醸成を促す

企業や学校、各種団体、個人など、市と関わる多様な主体と力を合わせながら、図書館というリアルな本と人が交わる場を通じて、皆が心地よくつながるオフライン^{*22}でのコミュニティ形成を促します。また、まちの人々の居場所となるとともに、多様な主体やコミュニティと出会い、自ら主体的に活動をはじめられる場となることで、シチズンシップ^{*23}の醸成にも寄与します。

2 新中央図書館の機能と役割

第1章 6(3)「効率的な空間利用と中央館機能の分担」を踏まえ、新中央図書館においては、移転先敷地における北口図書館との近接性や、施設面積の有効活用の必要性にもとづいて、市の中央館機能を北口図書館と2館で分担するものとします。

中央図書館の移転先である阪神西宮駅周辺と北口図書館の位置する阪急西宮北口駅周辺とでエリア特性を比較すると、阪神西宮駅周辺エリアでは、今後、行政機関など都市機能の集積を進めることを予定する一方、小・中学校などの立地が少なく、かつエリアの利用ニーズのうち大きな割合を通勤・通学が占めると考えられる状況です³。また、阪急西宮北口駅周辺には、学習塾やファミリー層に対する集客力の高い商業施設が集積しています。

また、図書館の利用においては、中央図書館が高度なレファレンスを最も多く受け付ける一方、北口図書館では貸出に占める児童書の貸出冊数や児童の貸出者数の割合が過去5年で中央図書館よりも大きく上昇しています。

こうした本市の有する大きな2つの都市核の特性や、現在の2館の利用傾向を踏まえ、それぞれの役割を検討した結果、新中央図書館は、北口図書館と共に中央館としての基本的機能を備えながら、阪神西宮駅を利用する若者から働き盛り世代を主なターゲットとした、**中高生以上の一般向けのサービスなどに特色を持つ**、地域の活性化に資する図書館として位置づけます。

想定する北口図書館との中央館機能の役割分担は、表 2-1 に示すとおりです。新中央図書館は一般向けのサービス提供や資料収集に重点的に取り組むほか、郷土・地域・行政資料に関するセンター機能を担います。

表 2-1 想定する中央館機能の役割分担など

| 中央館機能など | 担当する主な役割など | |
|---------------------------------|--|--|
| | 新中央図書館 | 北口図書館 |
| 特色化を図るサービス (想定する対象年代層) | 一般向けサービス (中高生以上) | 児童向けサービス (小学生以下の子供と保護者) |
| 図書資料の重点収集 | 一般向け資料 ※ 児童向け資料は 拠点館レベルを所蔵 | 児童向け資料 |
| 子供読書活動の推進 | — | ○ |
| 郷土・地域・行政資料に関するセンター機能 | ○ (他機関との窓口連携含む) | — |
| 市立図書館全体の統括、選書・蔵書計画・企画立案などの事務局機能 | 適切に役割分担を行う | |
| 周辺のエリア特性 | <ul style="list-style-type: none"> 本市の都市核で、行政機能が集積。市役所本庁舎周辺に、図書館やホールなど広域的な利用が見込まれる施設の集積を誘導 沿線に甲子園球場、西宮神社、酒蔵などの文化観光資源(阪神本線沿線) | <ul style="list-style-type: none"> 本市の都市核で、文化・教育、商業・業務施設が集積。西宮北口駅周辺に、図書館やホールなど広域的な利用が見込まれる施設の集積を誘導 沿線の西宮北口、夙川は、人気の住居エリア(阪急神戸線・今津線沿線) |

³ 令和4年「西宮市都市交通計画」より。阪神西宮駅を含む「日常生活圏」内の小・中学校は0校であり、また、市内各中心拠点のうち、平日に対する休日の移動量の比率が最も低い。

3 新中央図書館の取組

(1) 新たな取組

新中央図書館では、基本理念である「LIBRARY for ACTION」の実現に向け、基本方針の下で次のテーマに基づいた取組を新たに展開します。

1) 取組テーマ

① 気づきと出会いをつくる

市民一人ひとりがその生活や属するコミュニティをよりよいものとしていくには、そのきっかけとして、新たな情報や異なる視点に出会う必要があります。新中央図書館では、こうした気づきや出会いを得られる場として、豊富な資料を提供するとともに、独自のテーマに基づいて構築された書架や、講座・イベントなど、読書以外の様々なかたちで学びを得られる機会を能動的に提供します。



② 一人ひとりの背中を押す

新しい気づきや出会いを具体的な行動につなげていけるよう、新中央図書館では、市民一人ひとりが次の一步を踏み出すための環境づくりや後押しをしています。様々な主体と連携しながら、それぞれに目標や課題を抱く市民とその達成や解決の助けとなるような資料や市関連部署、各種専門家などをつなげていくとともに、市民が落ち着いて自らを見つめ直すためのヒントが得られる場や、新たに学びをはじめするための多様な学習環境を提供します。



③ コミュニティを形づくる

新たな気づきや出会いをもたらし、また人々の行動やチャレンジを支える礎として、様々なコミュニティの形成を促していきます。人々の居場所づくりやつながりづくりに向け、駅前立地を活かしながら、市民が自由な発想で利用できる空間や市民同士の本を通じた情報発信を促す場など、立ち寄りたくなる、参加したくなる場づくりを進めます。また、多様な活動主体と連携しながら、そうした場やつながりを通じた活動を地域課題の解決にもつなげていくことで、地域社会の持続的発展に貢献します。



2) 取組内容

① 気づきと出会いをつくる

【重点取組】独自のテーマ配架による、市民と本との新たな出会いの促進

西宮独自のテーマにもとづくテーマ配架コーナーを設け、市民が本や情報に接し、新たな気づきを得られる場を計約1万冊の規模で展開します。定期的にテーマを更新し、何度訪れても新たな発見のある場とするとともに、ゆとりある配架を行い、特徴的な装丁の図書や大型本の配架、面陳列^{*24}など魅力ある棚作りを行うことで、自然と本を手にとることに導かれるような場を提供します。また、テーマ配架のキーとなる本は貸出しをしない設定とすることで、来館者がいつ訪れてもテーマごとに編集された書架がもたらす出会いを体験できるようにします。

なお、テーマ配架コーナーは「西宮リソースコーナー」(仮)や「まちなかほけんしつ」(仮)(いずれも②で後述)といった各取組の入口としても位置づけ、それぞれの利用のきっかけとなる本を提示します。

参考事例：館内5か所のテーマ配架(那須塩原市図書館 みるる)



館内5箇所に、テーマ別の特集コーナーを設置。ブックディレクター^{*25}が中心となり、「那須塩原市の生物多様性」「アフターコロナを考える」「デジタルクリエイターになろう！」など、幅広いテーマで選書と展示を行っています。

テーマは数ヶ月ごとに更新し、来館者に、訪れるたび新たな知に出会える場を提供しています。

【関連取組1】市民が科学と思索に親しむ「湯川ライブラリー」(仮)の提供

日本人初のノーベル物理学賞受賞者である湯川秀樹博士が市内に住まわれたときに受賞につながる未知の領域を切り拓かれたことにちなみ、当時の邸宅の博士愛用の造りつけ黒板などの建築部材を活用し、「気づき」「学び」を象徴するライブラリー in ライブラリーを展開します。

科学関連のテーマ配架や展示、黒板を活用した情報発信、西宮湯川記念事業とも連携した科学関連の講座やワークショップの開催などを通じ、若い世代が科学に親しみや興味・関心を抱くきっかけとなる場を提供します。



写真)旧湯川邸の黒板



若き日の湯川博士(京都大学基礎物理学研究所湯川記念館史料室提供)

【関連取組2】リアルな学びを得られる講座・イベントの開催

駅前立地を活かした大学との連携によるアフター5の社会人講座や、「湯川ライブラリー」(仮)と連動した科学講座、酒造地帯に近い立地を活かした日本酒関連イベントなど、市内の多様な主体や市役所などと連携しながら、本以外からも新たな学びや気づきを得られるイベントを、「コミュニティコモンズ」(仮)(③で後述)や多目的ルームなどで開催します。

② 一人ひとりの背中を押す

【重点取組】「西宮リソースコーナー」(仮)を通じた、多様な社会資源へのアクセスの提供

市民の日々の生活を支援する様々な施策などのショーケースとなるとともに、市の歴史・文化やまちの取組などの情報を集約する場として、「西宮リソースコーナー」(仮)を設置します。若者や女性の就労・キャリアアップ支援や地域の困りごとに関する相談受付、消費生活や防災に関する情報の提供など、市の施策とその活用例などを発信するほか、地域資料・行政資料などを提供し、ホール、博物館などの公共施設、大学、エビスタ西宮や酒蔵といった民間事業者、NPO など市民団体の取組を、資料や展示、情報端末などを通じて紹介します。

あわせて、司書などがレファレンスと一体的にサービスを提供し、資料案内だけでなく、必要に応じて関係機関や各主体の担当者まで直接案内します。

参考事例：鳥取県立図書館(鳥取県)



「仕事と暮らしに役立つ図書館」として、ビジネス支援サービスを展開。

資料やレファレンスの充実に加え、県民のさらなるサービス活用を促すため、商品開発にレファレンスで案内した図書が活用された事例などを、マンガ形式の展示などを通じて紹介しています。

【関連取組1】 落ち着いて自身と向き合える場の提供

これから新たな一歩を踏み出そうと希望を抱く方や、日々の生活の中で様々な思いを抱えた人に向けて、自分の気持ちに向き合える場「まちなかほけんしつ」(仮)を提供します。人生を拓く様々な経験や選択をした先人たちの本や自分の心身に向き合うことを助ける本などを配架し、人それぞれに答えが見つけれられる情報を集めた思い思いに過ごせる場とすることで、利用者が自らの気持ちに向き合い、自身の Well-being につながる新しい何かを見つけ、人それぞれの「一歩」を踏み出すことを支援します。



まちなかほけんしつ(仮)
イメージ

【関連取組2】 多様な学習空間の提供による学びやリスキリング*26の支援

学習室や個人閲覧室、コミュニティコモンズ(仮)の座席などの多様な学習空間を提供します。利用者が集中して情報収集や学習に取り組める環境を整備するとともに、自習者を含め学びに取り組む他の市民の姿が自然と目に入るような設えとするなど、市民同士が互いに意欲を高めあうような場を構築します。また、イベント開催時など必要に応じて子供の一時預かりができる場を提供します。

③ コミュニティを形づくる

【重点取組】 出合いや経験を共有する「コミュニティcommons」(仮)の提供

イベントスペースとして、仕事場として、カフェとして、おしゃべりの場としてなど、多様なアクティビティの受け皿となり、市民が様々にシェアしながら自由に過ごせる場として、組み合わせ可能なテーブルやホワイトボード、子供向けのコーナーなどを備えた「コミュニティcommons」(仮)を提供します。市民同士での体験の共有やコミュニティ形成を促すため、読み聞かせや読書会といった参加型のイベントを開催するほか、来館者の目に触れるオープンな空間を、市民発案の企画などを展開する場としても提供します。企画などの展開にあたっては、阪神西宮駅からのアクセスとして整備が予定されるペDESTリアンデッキ^{*27} やデッキテラス空間との一体利用も可能とすることで、駅周辺利用者の立ち寄りや参加を促していきます。

参考事例： まちライブラリー@ちとせ(北海道千歳市)⁴



千歳市が設置し、まちライブラリーが運営する公設民営の図書館です。

利用者が持ち寄った蔵書の貸出・閲覧ができるだけでなく、本をきっかけに交流が生まれる場を目指し、会員が主催する読書会や勉強会、トークイベントを利用者発案で企画し、開催しています。

【関連取組1】 まちかどライブラリーを通じた市民同士の交流の促進

民間事業者や市民団体、大学などのまちの多様な主体がおすすめ本とともに自らの活動を発信できる「まちかどライブラリー」をコミュニティcommons(仮)内に設置し、市民との日常的な接点となる場を提供します。

また、図書館サポーターによる本の紹介リレーや、市民が自らの推薦本を紹介し合うミニコーナーの設置など、本を媒介にして市民同士の交流を促します。



写真)まちかどライブラリー イメージ⁵

【関連取組2】 若い世代の居場所となるコーナーの提供

中高生などの若い世代の居場所として、従来のティーンズコーナーの機能を拡大し、よりのびのびと利用できる「ユースカルチャーラウンジ」(仮)を整備します。ティーンズ向けの本のほか、アート、デザイン、テクノロジーなど若者の関心の高い本や利用スタイルに応じて自由に移動できる家具などを備え、思い思いに活動し、滞在できる場を提供します。

また、平日の中学・高校などの授業時間にあたる時間帯には、乳幼児とその保護者向けの行事会場とするなど、場面にあわせて柔軟に活用できる空間とします。



写真)ユースカルチャーラウンジ(仮) イメージ

⁴ 画像出典：まちライブラリー@ちとせ (<https://machi-library.org/where/detail/2437/>)

⁵ 画像出典：みんなの図書館さんかく沼津 (<https://www.sancacunumazu.com/>)

(2) 継続的な取組

現中央図書館が従来実施してきたサービスや事業などは、中央館機能として、新中央図書館と北口図書館の大型図書館2館が役割分担しながら実施することで、それぞれが対象とする利用層に対し、より充実した資料・サービスを提供することを目指します。

新中央図書館では主に中高生以上の一般向けサービスを担うことから、以下に示すように、日々の暮らしに役立つことを重視した新鮮な資料の提供や、市全体を対象とした郷土・地域資料の提供と将来に向けた保存、充実したレファレンスサービスの提供、そして来館困難な市民を含む、すべての市民の利便性向上に取り組んでいきます。

1) 実用的かつ新鮮な資料に直接触れられる環境の整備

デジタル時代における紙と電子のバランスにも配慮しながら、主に中高生以上の年代を対象として、学習や研究、仕事、くらしなどに役立つ資料を重点的に提供します。また、公開書庫^{*28}の導入により、利用者が豊富な資料に自ら触れられる環境を提供するとともに、書架の資料を適切に更新することで、新鮮で魅力的な開架を維持します。

2) 地域の歴史・文化に関する資料の保存と提供

郷土・地域資料や行政資料に関するセンター機能を担う図書館として、将来にわたりこれらの資料を保存していくとともに、「西宮リソースコーナー」(仮)などを通じ、市民が多くの地域資料へより気軽にアクセスできる環境を整備します。

3) 充実したレファレンスサービスの提供

司書の専門性を活かし、市民の相談に応じて、一人ひとりの生活や仕事に役立つものから専門的な調査・研究に資するものまで幅広い資料・情報を紹介します。また、Web 経由でのレファレンス受付の実施など、より気軽にレファレンスサービスを利用できる環境整備を進めるほか、パスファインダー(利用者向け調べ方ガイド)の拡充など、市民が自身で資料や情報にたどり着くためのツールをさらに充実します。加えて、市内各大学・短期大学との包括連携協定に基づき、大学図書館の蔵書閲覧や、大学における学びを必要とする市民への案内の充実に努めます。

4) 利用に困難を抱える市民などへのサービスの拡充

高齢者や障害、傷病などを有する方、その介護者など、様々な理由で来館や読書に困難を抱える方に向け、大活字本・デージー図書^{*29}といった資料や対面朗読・郵送貸出などのサービスを引き続き提供するとともに、読み上げ機能付きの電子書籍の提供など、さらなるサービス充実を検討していきます。

5) すべての市民にとっての利便性の向上

IC タグシステムを拡大し、快適でプライバシーの確保された貸出環境をさらに充実するほか、子供用トイレや授乳室の設置、ユニバーサルデザイン^{*30}の考え方に基づいた空間の提供など、すべての利用者がより便利で快適に利用できる環境づくりを進めます。また、座席の予約システムや予約資料の24時間貸出システムなど、ICT^{*31}の活用によるサービス向上を図り、来館や読書が困難な層はもちろん、多忙などの理由で図書館利用から遠ざかっている働き盛り世代などの新たな利用を促します。

4 蔵書規模・施設整備計画

(1) 蔵書規模など

1) 他自治体水準に基づく目標蔵書規模の検討

人口 30 万人以上 70 万人未満、かつ中央図書館のほかに延床面積が 1,000 m²以上(または中央館と同程度)の分館を設置する 50 自治体において、人口1人あたりの中央図書館蔵書数の平均値は 1.31 冊/人⁶となっています。この水準を本市の人口に当てはめると、本市の中央図書館の蔵書規模の目安は、63 万冊程度と考えられます。

表 2-2 他自治体水準に基づく中央図書館の蔵書規模目安

| 類似規模 50 自治体における 人口1人あたりの 中央図書館の蔵書数(冊/人) | 本市人口(万人) | 中央図書館の 想定蔵書規模(万冊) |
|---|----------|----------------------|
| 1.31 | 48.4 | 63.3 |

※ ただし県立図書館と合築の高知市民図書館を除く

新中央図書館は北口図書館と2館で中央館機能を担うことから、2館で上記蔵書数を備えることを目安とします。また、新中央図書館への移転に際し、現中央図書館の蔵書のうち、将来に向けた保管が必要で、かつ直接利用に供することの少ない資料5万冊程度は、北部図書館のワークルームなどを中央図書館の外部書庫として活用し移管する予定です。こうした前提を踏まえ、現時点での新中央図書館の目標蔵書規模は、他自治体水準の約 63 万冊から北口図書館の蔵書約 22 万冊と外部書庫約5万冊を除いた、**約 36 万冊**とします。

| 中央図書館の 想定蔵書規模 | | 北口図書館の 蔵書数 | | 中央図書館 外部書庫 | | 新中央図書館 目標蔵書規模 |
|------------------|---|---------------|---|---------------|---|------------------|
| 63 万冊 | - | 22 万冊 | - | 5万冊 | = | 36 万冊 |

なお、新中央図書館の図書収容能力を約 36 万冊と設定し、近年の蔵書受入および除籍^{*32}などの実績値や、新中央図書館の供用開始までに一定数の蔵書の整理が予定されていることを踏まえて、現中央図書館および新中央図書館における今後の蔵書数の推移を試算した場合、新中央図書館の開館までに約 27 万冊まで蔵書数を絞ると、約 15 年間は新たな資料を受け入れることが可能と見込まれます⁷。ただし、資料の受け入れは、他自治体図書館との連携、電子書籍の導入、郷土関連資料の保存など諸般の事情を考慮し、中央館としての蔵書のあり方を検討しながら行うものとします。

2) 開架・閉架^{*33} 冊数

利用者がより多くの資料に直接触れられる閲覧環境を目指し、閉架書庫での保存が適切である貴重資料や一部の郷土資料など約7万冊を除く、最大約 29 万冊を開架に配架します。なお、開架図書のうち、現中央図書館の開架冊数と同水準の約 13 万冊を固定書架に配架し、残

⁶ 詳細は別冊資料 30 頁を参照

⁷ 試算内容は別冊資料 32 頁を参照

る約 16 万冊を可動式の集密書架(公開書庫)に収蔵することで、施設面積の有効利用を図ります。

3) 資料種別の考え方

新中央図書館が郷土・地域・行政資料に関するセンター機能を果たすことや、北口図書館が児童サービスを重点的に担うことを踏まえ、新中央図書館では、児童書の冊数は拠点館である北部図書館・鳴尾図書館の開架冊数(表 2-3)を踏まえて 3.5 万冊程度を目標値とし、郷土資料や参考資料などを含む一般書に重点を置いた蔵書構成とします(表 2-4)。

また、視聴覚資料は近年の利用ニーズの減少や将来的な配信サービスなどへの移行可能性などを考慮し、新中央図書館では所蔵しない想定のもと、市立図書館での所蔵・収集のあり方を今後検討します。

表 2-3 市内各図書館等施設の児童書所蔵数

| 所蔵場所 | 拠点館 | | | |
|----------|--------|--------|--------|--------|
| | 中央 | 北部 | 鳴尾 | 北口 |
| 開架書架(冊) | 50,551 | 23,738 | 37,982 | 57,032 |
| 閉架書庫等(冊) | 37,072 | 512 | 407 | 3,654 |
| 計(冊) | 87,623 | 24,250 | 38,389 | 60,686 |

※ 数値は令和5年3月末時点

表 2-4 新中央図書館の資料構成

| 資料区分 | | (参考)現中央図書館 | 新中央図書館 |
|------------|-----|------------|--------|
| 図書 (万冊) | 一般書 | 31.3 | 32.5 |
| | 開架 | 7.7 | 25.5 |
| | 閉架 | 23.6 | 7.0 |
| | 児童書 | 8.8 | 3.5 |
| | 開架 | 5.1 | 3.5 |
| | 閉架 | 3.7 | 0.0 |
| | 合計 | 40.1 | 36.0 |
| 視聴覚資料(万点) | 1.2 | 0.0 | |

※ 現中央図書館の数値は令和5年3月末時点

(2) 施設整備計画

1) 新中央図書館の新たな取組に対する必要諸室

第 2 章 3(1)「新たな取組」を実現するためにふさわしい施設内容として想定する必要諸室とその利用イメージは、表 2-5 に示すとおりです。第 1 章 6(3)「効率的な空間利用と中央館機能の分担」で示した空間の効率的な利用のため、多目的ルームや「コミュニティコモンズ」(仮)、「ユースカルチャーラウンジ」(仮)などは複数の役割を兼ね、場面や時間帯ごとに使い分けることを想定した空間として整備します。

表 2-5 必要諸室

| 取組区分 | 必要諸室 | |
|---------------|------------------|--|
| | 室・スペース名 | 利用イメージ |
| ① 気づきと出会いをつくる | テーマ配架コーナー | ブラウジング* ³⁴ 、資料閲覧 |
| | 湯川ライブラリー(仮) | ブラウジング、資料閲覧、イベントへの参加 |
| | 多目的ルーム | 講座・イベントへの参加、市民主催企画の開催、サークル活動など |
| ② 一人ひとりの背中を押す | 西宮リソースコーナー(仮) | ブラウジング、資料閲覧、市の施策や各種社会資源等に関する情報取得、レファレンスサービスの利用、司書等への相談など |
| | まちなかほけんしつ(仮) | ブラウジング、資料閲覧、休憩、飲食、会話など |
| | 学習室 | 自習、PC作業 |
| | 個人閲覧室 | 資料閲覧、自習、PC作業、Web会議など |
| ③ コミュニティを形づくる | コミュニティcommons(仮) | 講座・イベント・おはなし会への参加、市民主催企画の開催、自習、グループ学習、PC作業、飲食、会話、休憩など |
| | まちかどライブラリー | ブラウジング、資料閲覧 |
| | ユースカルチャーラウンジ(仮) | ブラウジング、資料閲覧、自習、グループ学習、PC作業、飲食、会話、休憩など |

2) 諸室構成

第1章6「新中央図書館整備における課題」でも示したように、市として施設総量の縮減が求められる一方で、新中央図書館では、従来のサービスだけでなく、利用や滞在を促す魅力的な場の構築や様々な主体との連携を通じたまちの未来への貢献などが求められているほか、駅前立地により見込まれる利用増にも対応しなければなりません。

現中央図書館からほぼ横ばいの約 5,000 m²(共用部含む)という施設規模でこうした課題への対応が必要となる中、1)「新中央図書館の新たな取組に対する必要諸室」で示した新たな取組のための必要諸室や、今後児童サービスを重視する北口図書館との機能分担、(1)「蔵書規模など」に示した目標蔵書規模などを踏まえて検討した結果、諸室構成は表 2-6 に示すとおり想定します。

図書館専有部のうち、管理・運営エリアを除く利用者エリアの諸室は、利用の対象層や内容に応じて「エントランス・交流ゾーン」「一般開架ゾーン」「児童開架ゾーン」「学習ゾーン」の4つのゾーンに整理します。

また、必要面積の算定にあたっては、開架スペースにおける収蔵能力について、ゆとりある閲覧空間を念頭に一般開架スペースを 80 冊/m²、児童開架スペースを 90 冊/m²、テーマ配架コーナーを面陳列などの多用を前提に 30 冊/m²としたほか、とりわけ第2章3(1)「新たな取組」を重視し、図書館専有部面積の約4割を各取組に関連するスペースとして想定し、今後さらに検討を進めます。

表 2-6 諸室構成

- ※ ●:①「気づきと出会いをつくる」
 ○:②「一人ひとりの背中を押す」
 ●:③「コミュニティを形づくる」にそれぞれ対応

| 区分 | エリア・ゾーン | | 必要諸室 | | |
|--------|----------|----------------|--------------------|--|--|
| | エリア・ゾーン名 | 面積 (㎡) | 室・スペース名 | 配架資料の分野・種別など(冊数) (※ は冊数をテーマ配架コーナーに含む) | |
| 図書館専有部 | 利用者エリア | エントランス・交流ゾーン | 450 | 総合カウンター | |
| | | | ③ コミュニティcommons(仮) | - | |
| | | | ③ まちかどライブラリー | まちの人々によるおすすめ本 | |
| | | | ① 多目的ルーム | - | |
| | 一般開架ゾーン | 2,150 | 一般開架スペース | 一般書全般(6.5万冊) | |
| | | | ① テーマ配架コーナー | テーマ配架(1万冊) | |
| | | | ① 湯川ライブラリー(仮) | 科学関連の本など ※ | |
| | | | ② 西宮リソースコーナー(仮) | 西宮市の歴史・地理・文化・産業等に関する地域資料や行政資料など(1万冊) | |
| | | | ② まちなかほけんしつ(仮) | 生き方のヒントとなる本など ※ | |
| | | | レファレンスカウンター | - | |
| | | | 参考図書コーナー | 参考図書(0.5万冊) | |
| | | | 対面朗読室 | - | |
| | | | ③ ユースカルチャーラウンジ(仮) | ユースカルチャー関連など(0.5万冊) | |
| | | | 新聞・雑誌コーナー | 新聞・雑誌 | |
| | | | 公開書庫 | 固定開架書架および閉架書庫以外の資料(16万冊) | |
| | 児童開架ゾーン | 450 | 児童カウンター | - | |
| | | | 児童開架スペース | 児童書、絵本、紙芝居(3.5万冊) | |
| | | | 子ども用トイレ・授乳室 | - | |
| | 学習ゾーン | 250 | ② 学習室 | - | |
| | | | ② 個人閲覧室 | - | |
| | その他 | 15 | 予約資料受取コーナー(館外) | - | |
| | 管理・運営エリア | 685 | 事務作業室など | | |
| | | | 閉架書庫 | 貴重資料、郷土資料など(7万冊) | |
| 共用部 | 1,000 | 階段・廊下・EV・機械室など | | | |
| | 計 | 5,000 | | | |

3) 諸室の機能相関

諸室の相互関係などは図 2-1 のとおりです。図書館専有部のうち、利用者エリアは、全体を静粛な空間と活動的な空間にゆるやかにゾーニング*35) することで、市民がそれぞれに心地よく利用できる居場所となることを目指します。

エントランス・交流ゾーンには、館内の様々な活動が訪れる市民の目に自然と触れるよう、コミュニティcommons(仮)をはじめとする交流のための諸室を配置し、デッキや民間機能(カフェなどを想定)とも連続性を持たせることで、駅利用者などが足を運びたいくなる場づくりを進めます。

一般開架ゾーンには、エントランスからの動線上に、館全体の中核機能としてテーマ配架コーナーを配置し、利用者エリア内の諸室への誘導を図ります。また、西宮リソースコーナー(仮)やまちなかほけんしつ(仮)とレファレンスカウンター、湯川ライブラリー(仮)とユースカルチャールounge(仮)など、サービスや利用者層の近い諸室を近接させ、機能の連携や空間の効率的な活用を図ります。

児童開架ゾーンは、エントランス・交流ゾーンとともににぎやかさを許容するゾーンとして位置づけ、親子が気兼ねなく利用できる場とします。また、保護者がコミュニティcommons(仮)やカフェを利用しながら児童開架にいる子供を見守れる配置とすることも検討します。

学習ゾーンは、利用者エリアの中で静粛なゾーンとして配置し、読書や学習に集中できる空間とします。また、様々な市民が学びに取り組む雰囲気を他のゾーンの利用者も感じ取れるような設えとすることで、市民が相互に刺激を与え、自発的な学びが促される場とすることを目指します。

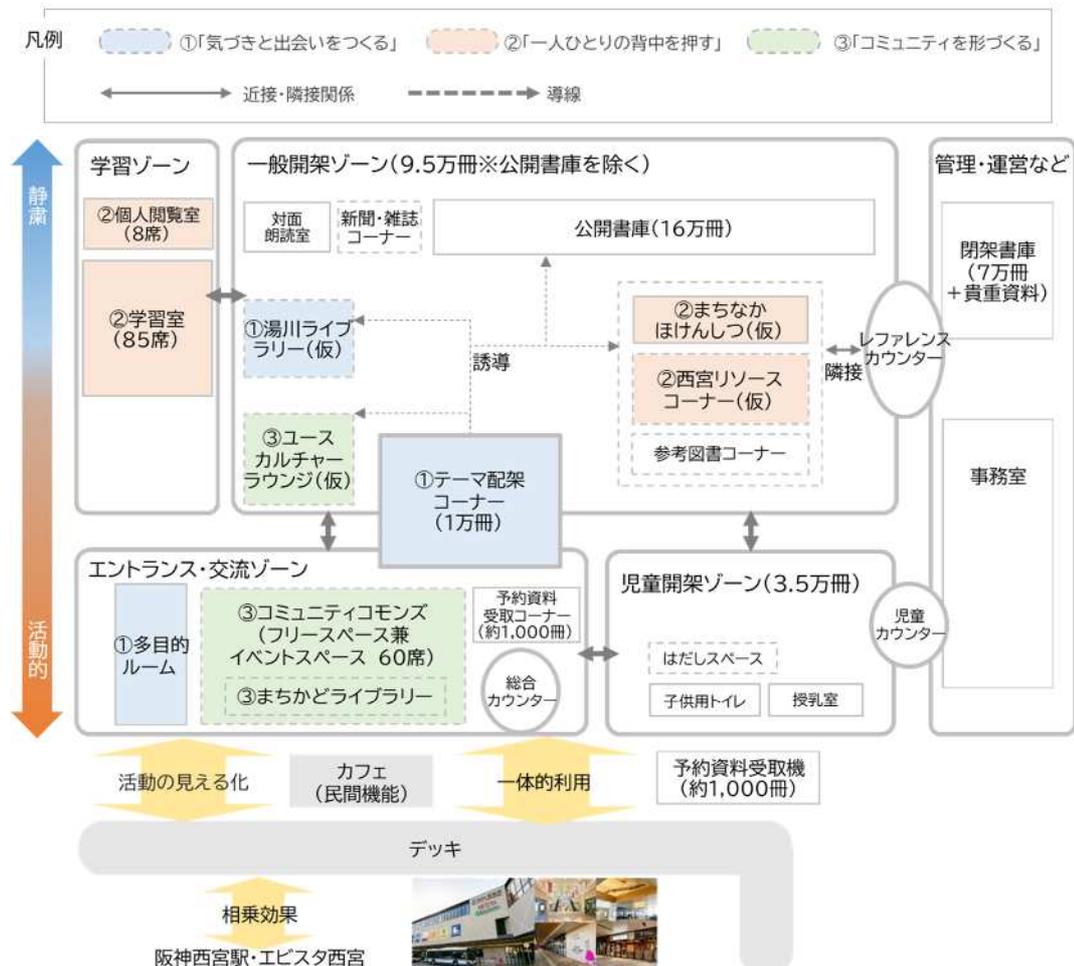


図 2-1 機能相関図



個人閲覧室(イメージ)



湯川ライブラリー(仮)に設置予定の
旧湯川邸の黒板



公開書庫(イメージ)



コミュニティcommons(仮)
(イメージ)



デッキとの一体的利用(イメージ)



予約資料受取機(イメージ)

5 整備スケジュール

新中央図書館の整備については、事業主体となる民間事業者からの提案に基づき令和12年度までの開館を目指すこととします。

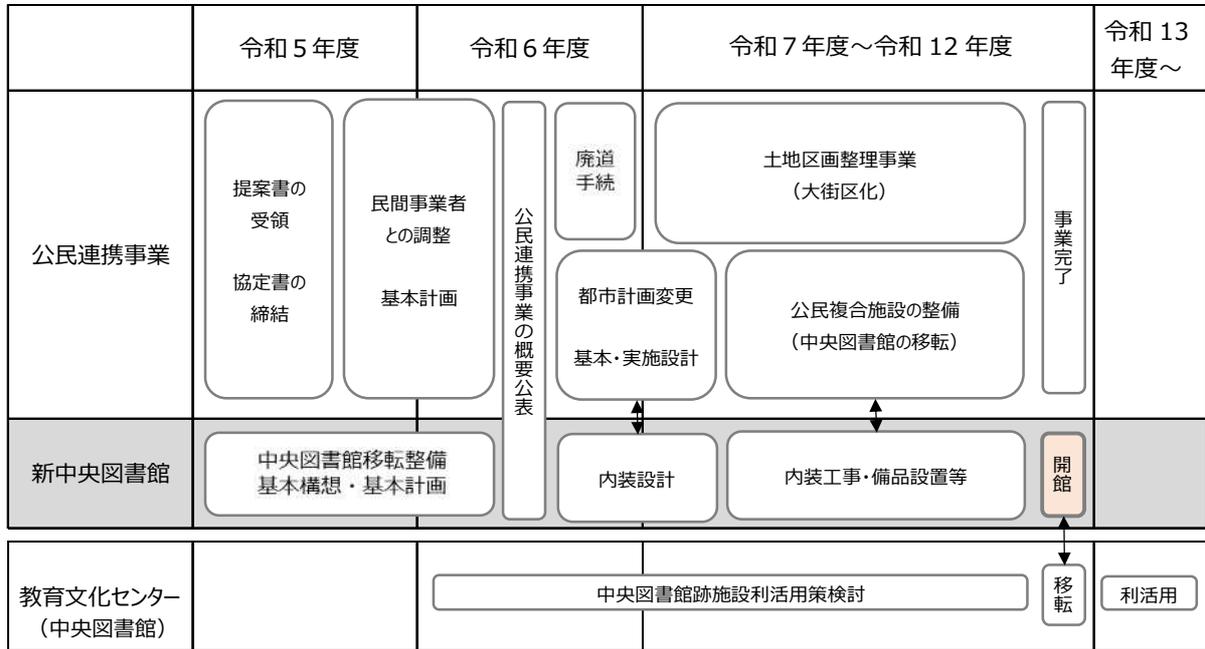


図 2-2 新中央図書館整備スケジュール(予定)

6 市民と共に創る新中央図書館

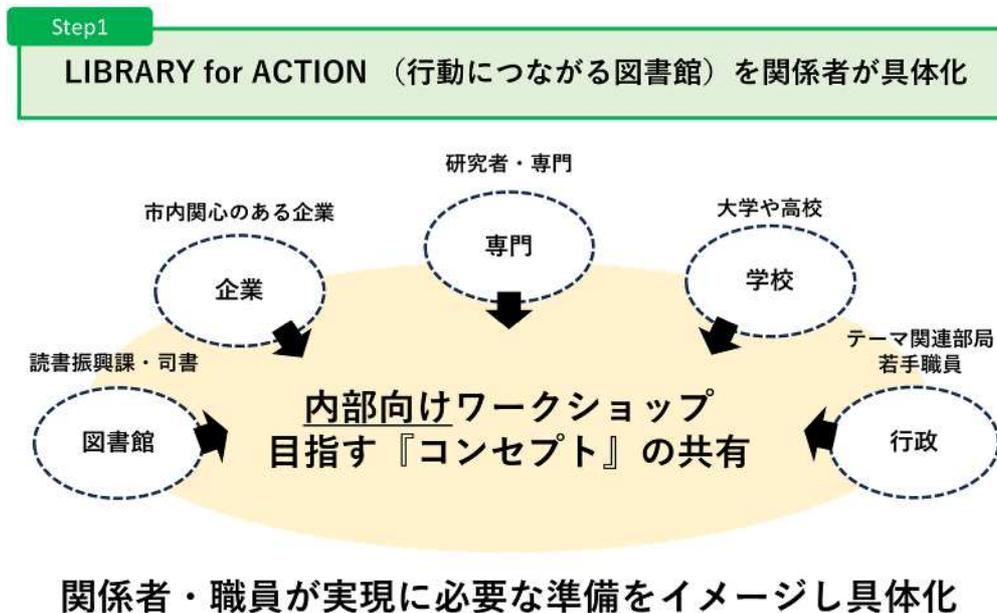
新中央図書館が、図書館での新たな気づきや出会いをきっかけに、市民一人ひとりが次の一歩を踏み出す仕組みを備えるよう、開館とその後の運用に向けた市民参画によるソフト面の取組を実施します。

令和6年度から令和12年度頃の開館までを大きく3つの段階に分け、ステップ1を市民参画に向けた枠組みの具体化・明確化、ステップ2を特に図書館に強い関心をもつ市民などを交えての市民参画の基礎づくり、ステップ3を幅広い市民に参画いただいたテーマ別プロジェクトの実践の段階と位置づけ、各ステップで次のような取組を行います。

(1) 目指すコンセプトの関係者間での具体化など(令和6年度～令和7年度)

市民参画を進めるための準備期間として、まず、図書館職員をはじめとする市職員はもちろん、連携・協働を進める市内の民間事業者や学校、さらにまちづくりや図書館づくりの専門家などを交えた検討グループを組成し、新中央図書館の基本理念である「LIBRARY for ACTION」の目指す姿やその実現に必要な準備を、内部向けワークショップなどを通じて関係者間で具体化・明確化します。

あわせて、新中央図書館への市民ニーズの把握をさらに進めるため、若い世代や未利用層が新中央図書館に期待するものや、重点取組であるテーマ配架などにおける選書テーマについてのヒアリングなどの調査を行います。

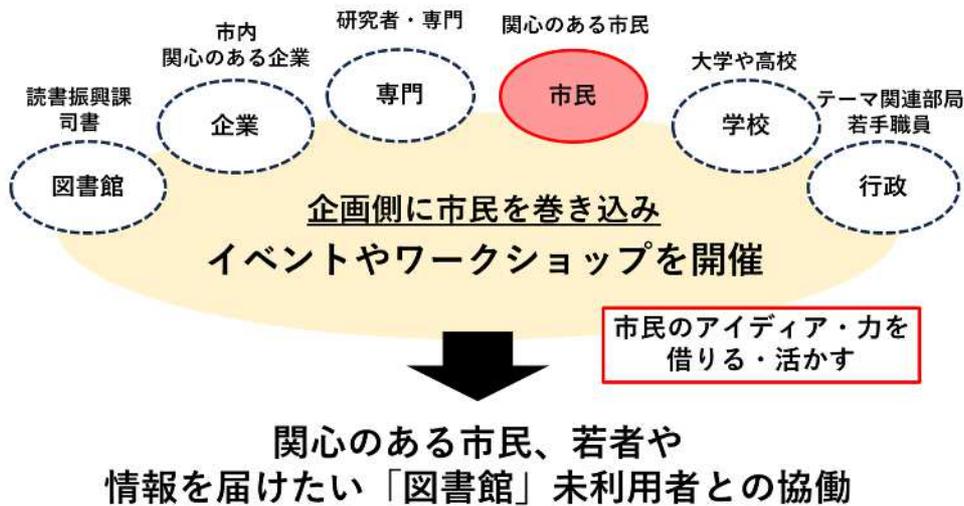


(2) 市民との協働による、開館に向けた企画や市民が活躍できる仕組みづくり・空間づくりの検討(令和8年度～令和9年度)

ステップ1で具体化・明確化した新中央図書館のコンセプトを基に、図書館への強い関心をもつ市民にも検討グループに参加いただき、新中央図書館の開館を盛り上げるための企画・イベントなどを検討するとともに、新中央図書館を市民が主体的に活用していくための仕組みづくり・空間づくりを幅広い市民とともに考えるワークショップなどを開催します。

Step2

LIBRARY for ACTION（行動につながる図書館）に向けた仕組みづくり

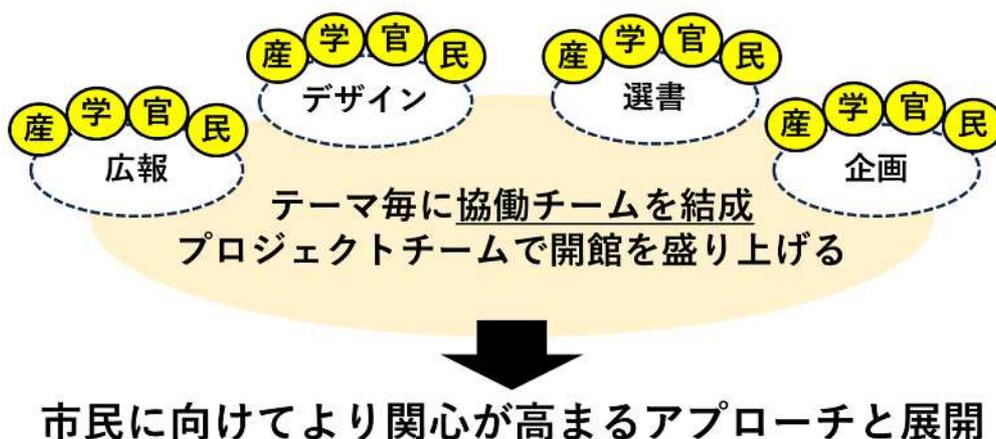


(3) テーマ毎のプロジェクトチームの活動による開館に向けた機運醸成や、その後の運用に向けた取組の展開(令和10年度～令和12年度※開館まで)

ステップ2で検討した、開館に向けた広報・デザイン・選書・企画といったテーマ毎の協働チームを結成します。その上で、ステップ2におけるワークショップ参加者を含む幅広い市民に参加の輪を広げながら、各チームが年間を通じて市民に多様なアプローチを行い、開館やその後の運用に向けた機運醸成を図ります。

Step3

LIBRARY for ACTION（行動につながる図書館）を体現する取組の展開



用語集

| 番号 | 用語 | 説明 | ページ |
|----|--------------|---|--------------------|
| 1 | 開架 | 利用者が自由に書架に接し図書を読覧できる方式、またはそのように開放された書架 | 1,6,9,16-21 |
| 2 | 蔵書 | 所蔵する図書 | 1-2,6,7,15-19 |
| 3 | 超スマート社会 | 5G の生活への浸透や AI・IoT の社会実装の進展により、サイバー空間と物理的な空間の一体化が進むことで実現される、データを最大限活用するデータ主導型の社会。大量のデータから新たな価値創造が行われ、誰もが従来のような様々な制約から解放されて就業や教育、娯楽において機会を得られるとともに、多様なライフスタイルを選択できるようになる | 1 |
| 4 | 生涯学習 | 生涯にわたり様々な場面や機会を利用して行う学習。家庭教育、学校教育、社会教育、さらには必ずしも教育的な意図をもって行われるとは限らない個人の様々な学習活動も含む、人の一生にわたる学習の全体をいう。本構想及び計画においては、とりわけ、生涯を通じ、他者との関わりの中で社会参加をしながら取り組む学習に焦点をあてて使用 | 1-2 |
| 5 | 都市計画 | 国土の均衡ある発展と公共の福祉の増進を目的として、都市の健全な発展と秩序ある整備を図るために定めるもの | 4-5,23 |
| 6 | 地区計画 | 地区内の住民などが主体となって、まちづくりの目標やルールなどを都市計画に定めるもの。地区という小さな単位で、地区内の公共施設の配置や建て方のルールを、実情に応じて詳細に定めることができる | 4-5 |
| 7 | 土地区画整理事業 | 整備が必要とされる市街地の一定の区域内において、地権者からその権利に応じて少しずつ土地を提供(減歩)してもらい、これを道路・公園などの公共施設用地などに充てて面的に整備することにより、土地の利用価値を高め、健全な市街地の形成を図る事業 | 4-5,23 |
| 8 | 大街区化 | 複数の街区に細分化された土地を集約・整形して大規模な街区を創出することにより、敷地の一体的利用と公共施設の再編を図ること | 4-5,23 |
| 9 | 市街地再開発事業 | 総合的な計画に基づいて公共施設の整備にあわせ、宅地や建築物の整備を行い、面的な市街地の開発を積極的に図ろうとするもの | 4 |
| 10 | ウォークアブル | 「walk」(歩く)と「able」(できる)を組み合わせた造語で、居心地が良く歩きたくなるような、人間を中心にした空間のあり方 | 4-5 |
| 11 | 図書館システム | 図書館における業務の効率化やサービスの高度化を目的に導入されるコンピュータシステムのこと | 6 |
| 12 | IC タグ | 蔵書管理用の IC チップとアンテナを内蔵したタグ。電波によってデータの読み取りや書き込みができ、対応する機器と組み合わせることで、職員の作業の効率化や利用者の利便性向上が図れる | 6,16 |
| 13 | レファレンス(サービス) | 司書が図書館利用者の調べものを、資料・情報の案内などによりサポートするサービス | 7-8,11,14,16,19-21 |
| 14 | 市政モニター | 市政の重要な課題、市民生活に関する市政上の問題について、市民の意識・ニーズを迅速に把握し、市政運営に役立てるため | 8 |

| | | | |
|----|----------------------|--|----------------|
| | | の制度。モニターは西宮市に住民登録のある18歳以上の市民(外国人住民含む)から構成され、住民基本台帳から無作為抽出により選出したモニター候補者(西宮市職員および西宮市議会議員を除く)のうち、就任を承諾した者に委嘱 | |
| 15 | 書架 | 本棚 | 8,12-13,16-18 |
| 16 | 装丁 | 書物の意匠 | 8,13 |
| 17 | ワークショップ | 参加者が主体的に活動する体験型の学習講座・イベント | 8-9,13,24-25 |
| 18 | 生成 AI | 学習したデータをもとに、テキストや画像など新たなデータを生成する AI(人工知能)のこと | 10 |
| 19 | 選書 | 大量の図書の中から、図書館に所蔵する書物や資料を選定すること | 10-11,13,24-25 |
| 20 | 配架 | 図書などを書架に並べること | 10,13-14,17 |
| 21 | Well-being(ウェルビーイング) | 個人のみならず個人をとりまく「場」が持続的によい状態であること | 10,14 |
| 22 | オフライン | インターネットに接続していない状態。ここでは特に、インターネット経由ではなく対面でやりとりを行う状況を指す | 10 |
| 23 | シチズンシップ | 市民としての役割や責任を自覚し、社会に貢献しようとする心構え | 10 |
| 24 | 面陳列 | 本が書架の中で表紙を見せた状態で陳列されている状態 | 13,19 |
| 25 | ブックディレクター | その場に応じた選書や本棚づくりの専門家 | 13 |
| 26 | リスキリング | 職業で必要とされるスキルの大幅な変化に適応するために、必要なスキルを再習得すること | 14 |
| 27 | ペDESTリアンデッキ | 高架で設置された歩行者専用通路 | 15 |
| 28 | 公開書庫 | 職員の手を介さずに利用者が自由に閲覧できる書庫。本計画では、収蔵能力をあげるため、利用者の安全性に配慮したうえで、可動式の集密書架の利用を計画している | 16,18,20-22 |
| 29 | デージー図書 | デージー(DAISY)は Digital Accessible Information SYstem の略で、視覚障害などで活字の読みが困難な人のために製作されるデジタル図書 | 16 |
| 30 | ユニバーサルデザイン | 障害・性別・年齢などに係わらず誰もが利用しやすいかたち、およびそれを目指す考え方 | 16 |
| 31 | ICT | 情報通信技術(Information and Communication Technology)の略 | 16 |
| 32 | 除籍 | 内容が古くなった図書や利用されなくなった図書などを廃棄または譲渡し、図書館の蔵書目録から除くこと | 17 |
| 33 | 閉架 | 図書館の利用者が自由に書架にアクセスできず、図書館員への申請などを通じて書庫から図書などを出し入れする方法、またはそのように運用される書庫 | 17-18,20-21 |
| 34 | ブラウジング | 実際に書架の間を歩いたり、書架の図書を眺めたりしながら目的の図書を探すこと | 19 |
| 35 | ゾーニング | 空間を機能・用途別にまとめ、効果的に配置すること | 21 |

【概要版】

添付資料 2

西宮市立中央図書館移転整備基本構想及び基本計画(素案)

- 目次
1. はじめに
 2. 阪神西宮駅北地区のまちづくり(移転先の概況)
 3. 前提条件と課題
 4. 新中央図書館の理念と役割
 5. 新中央図書館の新たな取組
 6. 蔵書規模・施設整備計画
 7. 整備スケジュール
 8. 市民と共に創る新中央図書館

※本資料では、新しく整備される図書館を「新中央図書館」と呼びます

本編はこちら

二次元コード

いつか叶えたい夢や、どうしても実現したい目標、
生活の中で感じる困ったことや、長年抱えている悩みに対して、
本だからこそできることを考えたい。
市民の皆さんの背中を押し、次の一步を踏み出してもらうために、
この図書館はつくられます。

人と本の距離が遠くなってきているとは言われますが、
よく推敲され、責任の所在がはっきりし、自発的にページをめくるメディア＝本だからこそ
理解を促し、伝えられることがあります。

無料で本を借り、数時間別世界に行くことは素敵なことです。
一方、新しい西宮市立中央図書館は、
この街に住む方の日々を少しでも健やかにし、
新しい好奇心やモチベーションを具体的に育む場所にしたいと考えています。

駅に直結した場所で、偶然出くわした1冊の本が、
将来に関する不安や、モヤモヤする自己存在に対して、
細やかな光をあてるかもしれません。

「これやってみよう」、「これなら自分もできそう」、「こんな考えがあるんだ」。
未知を遊ぶワクワク感と、世界に対する寛容さと多様さを凝縮した、
新しい行動を促すための図書館。
それが、生まれ変わる西宮市立中央図書館の姿です。

1.はじめに

中央図書館は、市役所南隣にあった図書館(昭和3年建設)が、人口増加と町村合併などに伴い手狭となり、老朽化したため、昭和60年に新設された教育文化センター内に、新しい図書館として開館しました。しかし、一般利用者用駐車場がないなど、多くの市民が利用しやすい立地とは言い難い状況にあり、開館から40年近くが経過し、施設の老朽化が進行しています。

一方、阪神西宮駅北地区を含む本庁舎周辺エリアでは、公共施設の再編と合わせた中心市街地の再生に取り組んでいます。令和4年に見直した「本庁舎周辺公共施設再整備構想(素案)」では、中央図書館を民間主導の開発事業の実施とあわせて、阪神西宮駅北側エリアへ移転し、まちなか図書館として駅前立地を活かした知と交流の拠点として整備することとしています。

令和5年10月には、かねてより協議を続けてきた当地区の地権者を含む民間事業者からまちづくりに関する提案を受け、新中央図書館や民間施設を含む公民複合施設を阪神西宮駅の駅前空間に整備し、デッキで駅と直結することなどが提示されました。これを受け、市としても、民間事業者と基本協定を締結し、互いに連携・協力してまちづくりに取り組むこととしました。

本計画は、これらの前提を踏まえ、新中央図書館を、市民の自主的な学習を支える生涯学習※1の拠点であるとともに、多様な人々が集い交流することで賑わい、新たなコミュニティの形成につながる場とするため、そのあり方、機能、取組、これらに必要な蔵書※2数、施設規模などを具体的に検討することを目的としています。



(参考)民間事業者による提案イメージ

※1 生涯学習：生涯にわたり様々な場面や機会を利用して行う学習

※2 蔵書：(図書館が)所蔵する図書

2. 阪神西宮駅北地区のまちづくり(移転先の概況)

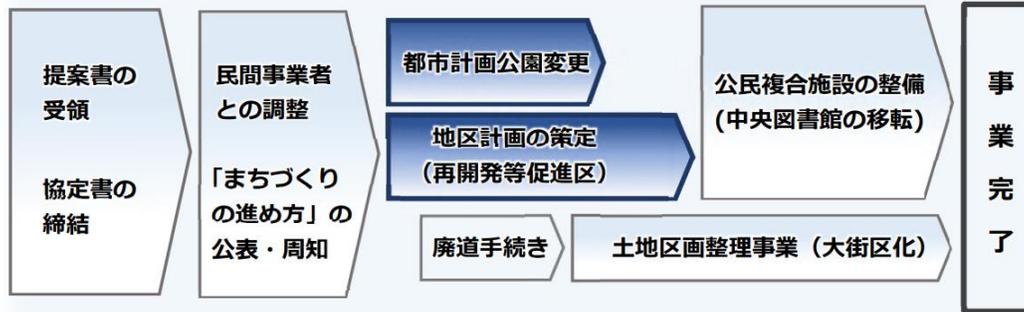
基本協定締結後の令和6年1月に市が示した「阪神西宮駅北地区のまちづくりの進め方」では、「本庁舎周辺再整備ビジョン(素案)」で示した4つの基本方針のもと、5つの整備コンセプトを掲げており、阪神西宮駅から周辺へのウォーカブル※1な空間整備とともに、新中央図書館やまちなか広場といった駅前にふさわしい賑わい機能を整備していくこととしています。

そのほか、阪神西宮駅周辺のエリアでは、全市平均と比べてバスなど多様な交通手段が利用されている一方、休日の移動量が少なく、通勤・通学以外の利用ニーズが低いと考えられる状況であり、こうしたエリアの特性を踏まえた配慮も必要となります。

※1 ウォーカブル:「walk」(歩く)と「able」(できる)を組み合わせた造語で、居心地が良く歩きたくなるような、人間を中心とした空間のあり方

(参考)まちづくりの今後の進め方

※2-5



- ※2 都市計画 : 国土の均衡ある発展と公共の福祉の増進を目的として、都市の健全な発展と秩序ある整備を図るために定めるもの
- ※3 地区計画 : 地区内の住民などが主体となって、まちづくりの目標やルールなどを都市計画に定めるもの
- ※4 土地区画整理事業 : 市街地の一定の区域内において、地権者から少しずつ土地を提供してもらい、これを道路・公園などの公共施設用地などに充てて面的に整備することにより、健全な市街地の形成を図る事業
- ※5 大街区化 : 複数の街区に細分化された土地を集約・整形して大規模な街区を創出することにより、敷地の一体的利用と公共施設の再編を図ること



3. 前提条件と課題

3-1. 前提条件

※ 開架: 利用者が自由に閲覧できるよう開放された書架

| 項目 | 概要 |
|---------------|--|
| 市勢概況と関連施策の方向性 | <ul style="list-style-type: none">人口構造の変化に対応した公共施設などの総量見直しが必要市民一人ひとりの知的好奇心を満たすとともに、生活上の課題などを解決するための機能充実が必要(「第5次西宮市総合計画」17 生涯学習)学び・人づくり・つながりづくり・地域づくりの循環の促進、学びを通じた持続可能なまちづくりの推進に資する必要(「生涯学習推進計画」の基本視点) |
| 本庁舎周辺再整備の位置付け | <ul style="list-style-type: none">中心市街地の再生において、市役所本庁舎周辺に段階的に公共施設を集約(中央図書館を本庁舎周辺へ移転)予定図書館の移転先敷地では民間開発事業で整備する床を取得予定。新中央図書館の想定規模は共用部を含め5,000㎡程度駅前立地を活かした知と交流の拠点施設を目指す |
| 市立図書館の現況 | <ul style="list-style-type: none">市関連部署や市民などとも連携しながらサービスを展開。北口図書館が開架※冊数や利用においては最も多く、貸出に占める児童の利用者や児童書の割合が比較的大きく増加の傾向登録率22.8%と未利用者が多く、特に40歳代以下の利用登録者数は平成29年度比で25%以上減中央図書館所蔵の約40万冊のうち、来館者が直接閲覧できる開架資料はその30%強に留まり、閲覧席数も少ない中央図書館は、一般利用者向けの駐車場がなく、立地条件から来館者数、貸出冊数は北口図書館の約半分程度に留まる |
| 市民ニーズ | <ul style="list-style-type: none">本を借りるだけでなく、滞在型利用や、市の有する文化的資源に触れられる場、世代間交流の場へのニーズが多くみられる未利用層を中心に講座など図書館からの情報発信に高いニーズ |

3-2. 新中央図書館整備における課題

利用や滞在を促す魅力的な場の構築

- 未利用層、特に減少が大きい学生層・働き盛り世代の利用を促すとともに、多様な本や情報との出会いを提供することが必要

市民・地域や市役所との連携強化を通じたまちの未来への貢献

- 民間事業者、NPO、大学を含む多様な活動主体との協働や、移転後に近接する市役所との連携をさらに推進し、まちの未来を担う若い世代が主役となる場、市民やまちの抱える様々な課題解決に資する場となることが必要

効率的な空間利用と中央館機能の分担

- 関連施策の方向性を踏まえたうえで、従来のサービスを維持・向上しつつ、上記の課題に対応するため、市の中央館機能を適切に分担することが必要

4.新中央図書館の理念と役割

4-1.新中央図書館の基本理念・基本方針

① 新中央図書館の基本理念

- 「市民が学びを通じて自身の生活やコミュニティをよりよいものとしていくこと」を支え、そのような市民の行動につながる図書館を目指し「LIBRARY for ACTION」とする

LIBRARY for ACTION

本と人、人と人の結び目を丁寧に提案する図書館。

そこでは、未来に向けた自発的な学びと、

読書を通じた個々の新たな行動の変容やコミュニティ形成を促します。

② 新中央図書館の基本方針

本と人の結び目を提案する

- 資料や情報へのアクセスだけでなく、読み手に深く刺さる選書や配架を通じて、さまざまな情報との出会いを提供する

市民一人ひとりのWell-being(ウェルビーイング)^{※1}に向けた自発的な学びや課題解決を支える

- 本に向き合える環境や学ぶ意欲に応える場・機会とともに、市の誇る多様な資源と市民とを結びつける場を提供する

コミュニティ形成とシチズンシップ^{※2}の醸成を促す

- 多様な主体と力を合わせながら、皆がつながる居場所づくりを進め、市民の主体的な活動を支える

※1 Well-being(ウェルビーイング):個人のみならず個人をとりまく「場」が持続的によい状態であること ※2 シチズンシップ:市民としての役割や責任を自覚し、社会に貢献しようとする心構え

4.新中央図書館の理念と役割

4-2. 新中央図書館の機能と役割

- 移転後の立地条件や、施設面積の有効活用の必要性に基づき、市の中央館機能を新中央図書館と北口図書館との2館で分担
- 2館が位置する本市の2つの都市核の特性や現在の2館の利用傾向を踏まえ、新中央図書館は、中高生以上の一般向けのサービスなどに特色を持たせる

| 中央館機能など | 担当する主な役割 | |
|---------------------------------|--|--|
| | 新中央図書館 | 北口図書館 |
| 特色化を図るサービス | 一般向けサービス (中高生以上) | 児童向けサービス (小学生以下 ※保護者含む) |
| 図書資料の重点収集 | 一般向け資料 | 児童向け資料 |
| 子供読書活動の推進(調べ学習支援、学校連携など) | — | ○ |
| 郷土・地域・行政資料に関するセンター機能 | ○ (他機関との窓口連携含む) | — |
| 市立図書館全体の統括、選書・蔵書計画・企画立案などの事務局機能 | 適切に役割分担を行う | |
| 周辺のエリア特性 | <ul style="list-style-type: none"> •本市の都市核で、行政機能が集積。市役所本庁舎周辺に、図書館やホールなど広域的な利用が見込まれる施設の集積を誘導 •沿線に甲子園球場、西宮神社、酒蔵などの文化観光資源(阪神本線沿線) | <ul style="list-style-type: none"> •本市の都市核で、文化・教育、商業・業務施設が集積。西宮北口駅周辺に、図書館やホールなど広域的な利用が見込まれる施設の集積を誘導 •沿線の西宮北口、夙川は、人気の住居エリア(阪急神戸線・今津線沿線) |

5.新中央図書館の新たな取組

5-1.取組テーマ

図書館の基本的な機能に加えて、下記テーマに基づいた新たな取組を展開

01 気づきと出会いをつくる

- 気づきや出会いを得られる場として、豊富な資料を提供します
- 独自のテーマに基づく書架や講座・イベントなど、読書以外のかたちで学びを得られる機会などを能動的に提供します

02 一人ひとりの背中を押す

- さまざまな主体と連携し、市民一人ひとりの目標達成や課題解決の資料を提供、必要に応じて各種機関などへつなげます
- 市民が落ち着いて自らを見つめ直すヒントが得られる場や、新たに学びをはじめするための多様な学習環境を提供します

03 コミュニティを形づくる

- 駅前立地を活かし、自由に利用できる空間や市民同士の情報発信を促す場など、参加したくなる場づくりを進めます
- 多様な活動主体と連携しながら、そうした場やつながりを地域課題の解決につなげ、地域の持続的発展に貢献します

5.新中央図書館の新たな取組

5-2.取組テーマ

01 気づきと出会いをつくる

【重点取組】独自のテーマ配架による、市民と本との新たな出会いの促進

- 市民が何度訪れても新たな発見があり、自然と本を手にとることに導かれる西宮独自のテーマ配架コーナーを計約1万冊の規模で展開
- 館内の特色ある各コーナーへの入口として位置づけ、定期的にテーマを更新しながら、各コーナーの利用のきっかけとなるような本を積極的に提示



参考:テーマ配架(那須塩原市図書館 みるる)

【関連取組1】市民が科学と思索に親しむ「湯川ライブラリー」(仮)の提供

- 日本人初のノーベル物理学賞受賞者である湯川秀樹博士にちなんで、「気づき」「学び」を象徴する場を展開
- 科学関連のテーマ配架や展示、博士愛用の黒板(市内旧邸宅に現存)を活用した情報発信などにより、若い世代が科学への親しみや関心を抱くきっかけを提供



若き日の湯川博士

(京都大学基礎物理学研究所湯川記念館史料室提供)



旧湯川邸の黒板

【関連取組2】リアルな学びを得られる講座・イベントの開催

- 駅前立地を活かした大学連携講座や酒造地帯に近い立地を活かした日本酒関連イベントなど、市内の多様な主体や市役所などと連携しながら、本以外からも新たな学びや気づきを得られるイベントを「コミュニティ commons」(仮)などにおいて開催

5.新中央図書館の新たな取組

02 一人ひとりの背中を押す

【重点取組】「西宮リソースコーナー」(仮)を通じた、多様な社会資源へのアクセスの提供

- 市民の生活を支援する様々な取組のショーケースとして、市の施策とその活用例などを発信
- 地域資料・行政資料も提供し、周辺の公共施設、大学、民間事業者、市民団体などの取組を図書資料、展示、情報端末などを通じて紹介
- 司書などが、レファレンス※1と一体的にサービスを提供し、必要に応じて関係機関や各主体の担当者まで直接案内

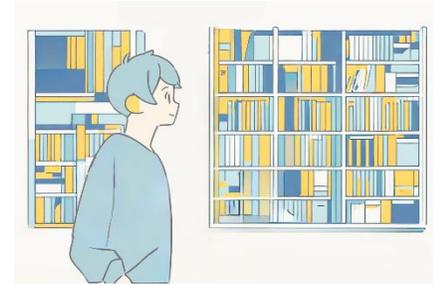


参考:ビジネス支援と成果事例の紹介コーナー
(鳥取県立図書館)

※1 レファレンスサービス:司書が利用者の問合せに応じ、必要な資料・情報を案内するサービス

【関連取組1】 落ち着いて自身と向き合える場の提供

- 新たな一步を踏み出そうとする人などに向けて、自らの気持ちに向き合える場「まちなかほけんしつ」(仮)を提供
- 様々な人生を拓いた先人たちの本や自分の心身に向き合うことを助ける本などを集め、市民が自身のWell-beingにつながる何かを見つけることを支援



まちなかほけんしつ(仮) イメージ

【関連取組2】 多様な学習空間の提供による学びやリスキリング※2の支援

- 市民が集中して学習に取り組める多様なスペースを提供
- 学びに取り組む姿が自然と目に入り、互いに意欲を高め合うような場を構築



参考:個人閲覧室
(昭島市民図書館)

※2 リスキリング:職業で必要とされるスキルの大幅な変化に
適応するために、必要なスキルを再習得すること

5.新中央図書館の新たな取組

03 コミュニティを形づくる

[重点取組] 出会うや経験を共有する 「コミュニティ commons」(仮)の提供

- イベントスペースとして、仕事場として、カフェとして、おしゃべりの場としてなど、多様なアクティビティの受け皿となり、市民がさまざまにシェアして過ごせる場を整備
- 市民同士での体験の共有やコミュニティ形成を促すため、読書会などの参加型イベントや、市民発案の企画などを展開する場として提供
- 阪神西宮駅周辺利用者の立ち寄りを促すため、駅とつながるデッキとの一体利用を推進



参考:まちライブラリー@ちとせ

[関連取組1] まちかどライブラリーを通じた市民同士の交流の促進

- まちの多様な主体がおすすめ本とともに自らの活動を発信できるまちかどライブラリーを「コミュニティ commons」(仮)内に設置し、市民との日常的な接点となる場を提供



参考)みんなの図書館さんかく沼津

[関連取組2] 若い世代の居場所となるコーナーの提供

- 中高生などの若い世代がのびのびと滞在できる場として、アート、デザインなどの若者に関心の高い本や、自由な使い方ができる家具などを備えた「ユースカルチャーラウンジ」(仮)を提供
- 中高生などが不在の時間帯には乳幼児向けの行事会場とするなど、場面ごとに柔軟に活用できる空間を整備



参考)スタジオラウンジ
(武蔵野プレイス)

6.蔵書規模・施設整備計画

6-1.蔵書規模など

目標蔵書数(目安) 約36万冊 (現行約40万冊)

- 現中央図書館蔵書を一部移管・除籍※1し、一旦減らしたうえで、目標蔵書数に達するまで、開館後の約15年間、蔵書の充実を図ることが可能
- 北口図書館との機能分担をふまえ、一般書や郷土資料、参考資料などを中心的に所蔵し、児童書は拠点館水準を参考に3.5万冊程度を所蔵
- 利用者がより多くの資料に触れられる閲覧環境を目指し、開架室で29万冊(最大)を提供
固定書架に計13万冊を配架、残る16万冊は公開書庫※2として、施設面積を有効に活用



参考) 公開書庫(神奈川県立図書館)

※1 除籍 : 内容の古い図書や利用のない図書などを処分すること
 ※2 公開書庫 : 職員の手を介さずに利用者が自由に閲覧できる書庫

6-2.施設整備計画

- 利用者エリアは、対象層や利用内容に応じて4つのゾーンに整理
- 機能分担や目標蔵書規模をふまえ、新たな取組を重視し、図書館専有部の約4割を各取組に関連するスペースと想定し、詳細を今後検討

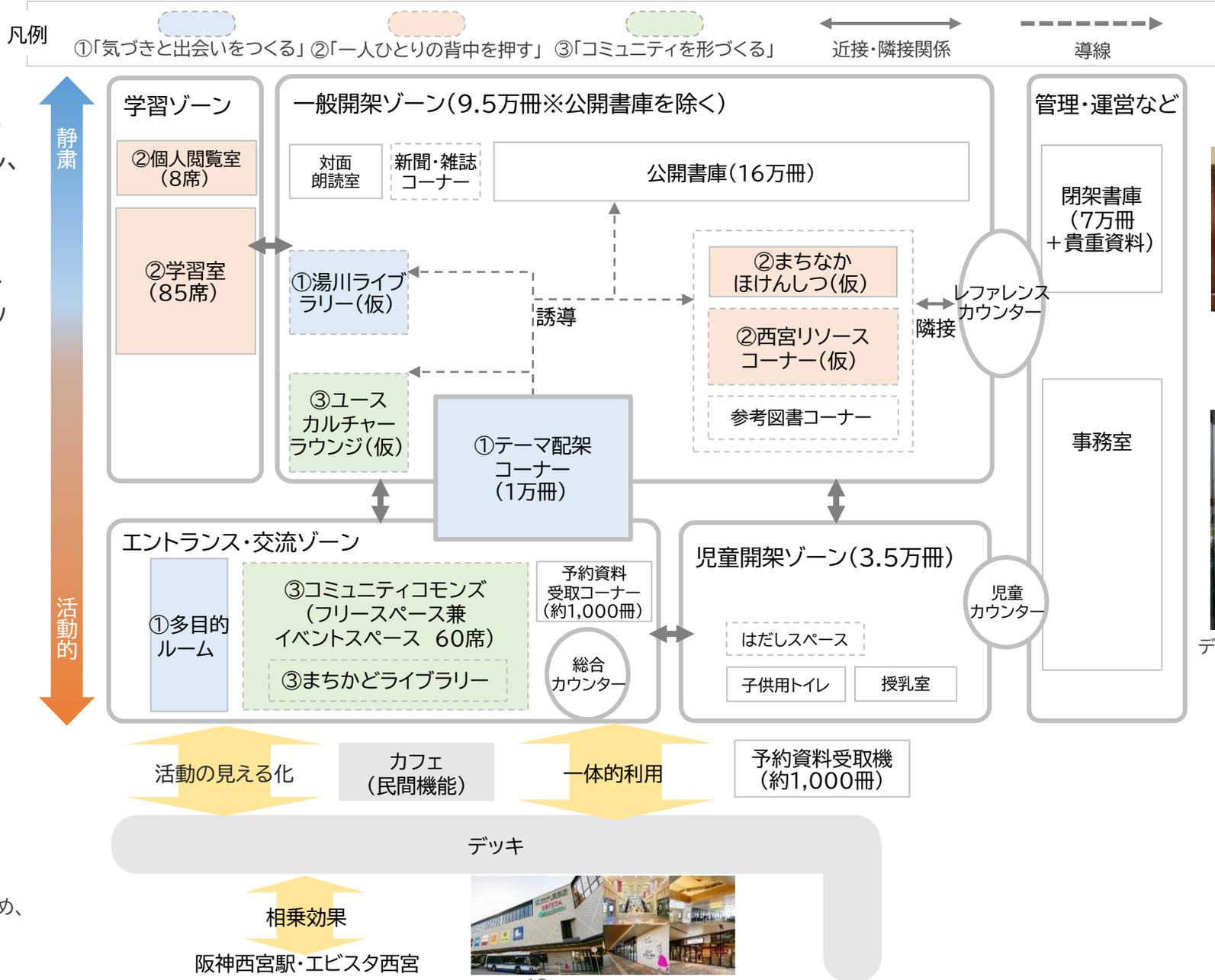
| 区分 | エリア・ゾーン | 室・スペース名 | 配架資料の分野・種別等 | 蔵書数(万冊) | 想定面積(m ²) | |
|--------|--------------|--------------------|---------------------------------|---------|-----------------------|-------|
| | | | | | ゾーン | 区分 |
| 図書館専有部 | エントランス・交流ゾーン | 総合カウンター | | - | 450 | 4,000 |
| | | ③ コミュニティcommons(仮) | まちの人々によるおすすめ本(まちかどライブラリー) | - | | |
| | | ① 多目的ルーム | | - | | |
| | 一般開架ゾーン | 一般開架スペース | 一般書全般 | 6.5 | 2,150 | |
| | | ① テーマ配架コーナー | テーマ配架 | 1.5 | | |
| | | ① 湯川ライブラリー(仮) | 科学関連等 | ※ | | |
| | | ② 西宮リソースコーナー(仮) | 西宮市の歴史・地理・文化・産業等に関する地域資料や行政資料など | 1.0 | | |
| | | ② まちなかほけんしつ(仮) | 生き方のヒントとなる本等 | ※ | | |
| | | レファレンスカウンター | | - | | |
| | | 対面朗読室 | | - | | |
| | | ③ ユースカルチャーラウンジ(仮) | ユースカルチャー関連等 | 0.5 | | |
| | | 新聞・雑誌コーナー | | - | | |
| | | 公開書庫 | | 16.0 | | |
| | 児童開架ゾーン | 児童開架スペース | 児童書、絵本、紙芝居 | 3.5 | 450 | |
| | 学習ゾーン | ② 学習室 | | - | 250 | |
| | | ② 個人閲覧席 | | - | | |
| | その他 | 予約資料受取機 | | - | 15 | |
| | 管理・運営 | 事務作業室等 | | - | 685 | |
| | | 閉架書庫 | | 7.0 | | |
| | 共用部 | 階段・廊下・EV・機械室等 | 全体の20% | - | 1,000 | |
| | | | | 計 | 36.0 | 5,000 |

●:①「気づきと出会いをつくる」
 ●:②「一人ひとりの背中を押す」
 ●:③「コミュニティを形づくる」にそれぞれ対応
 ※の蔵書数はテーマ配架コーナーに含む

6.蔵書規模・施設整備計画

6-3.機能相関図

- 全体を静粛な空間と活動的空間にゆるやかにゾーニング※し、それぞれに居心地のよい場に
- エントランス・交流ゾーンでは、館内の活動が見える化し、デッキとの一体的利用を推進
- 一般開架ゾーンでは、テーマ配架コーナーと各諸室を連携させ誘導
- 児童開架ゾーンは、親子が気兼ねなく利用できる空間に
- 学習ゾーンは、集中だけでなく、市民が学びに取り組みやすい雰囲気を他ゾーンの利用者も感じられる空間に



湯川ライブラリー(仮)に設置予定の旧湯川邸の黒板



デッキとの一体的利用のイメージ

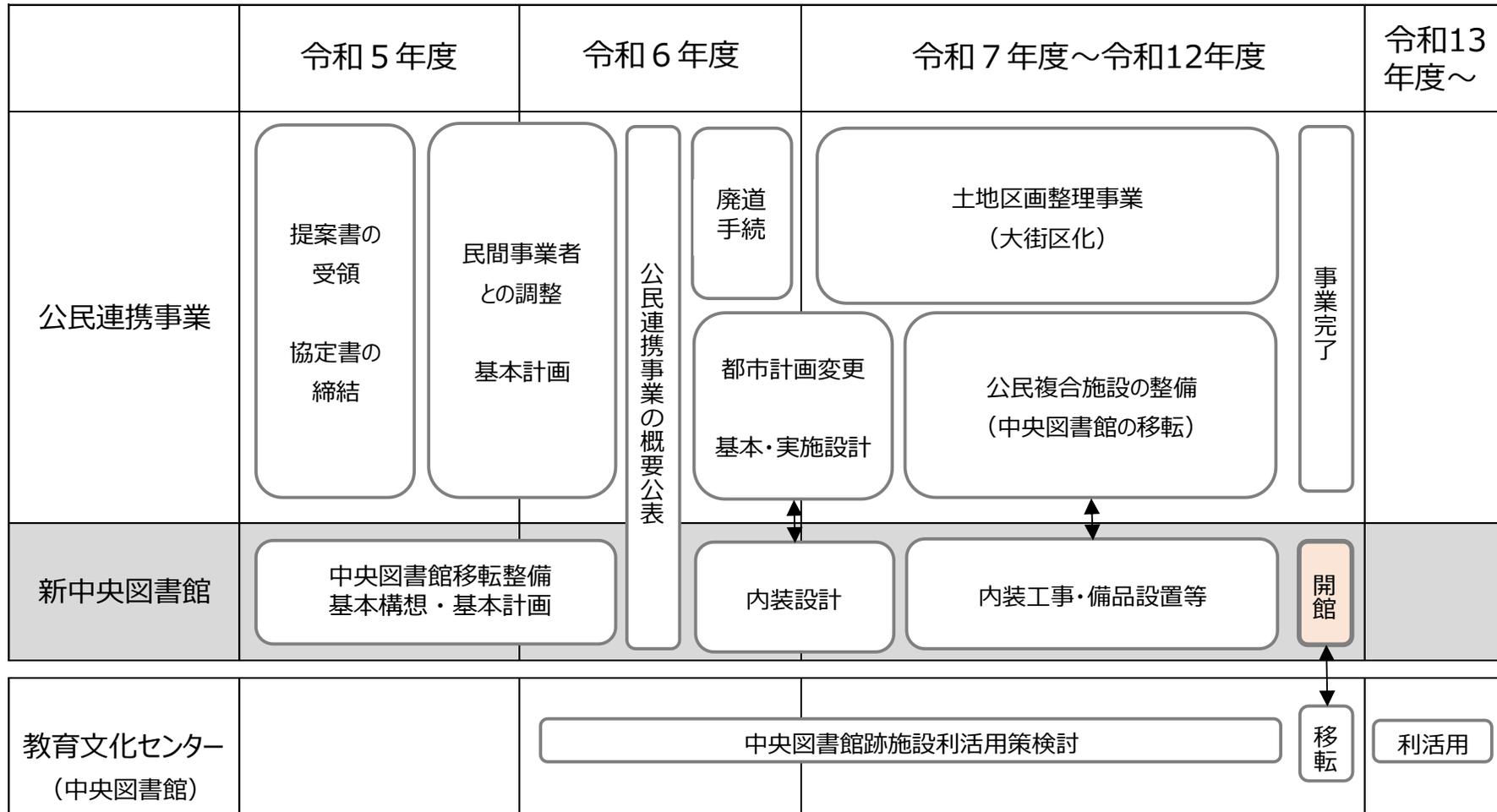


予約資料受取機(イメージ)

※ゾーニング: 空間を機能・用途別にまとめ、効果的に配置すること

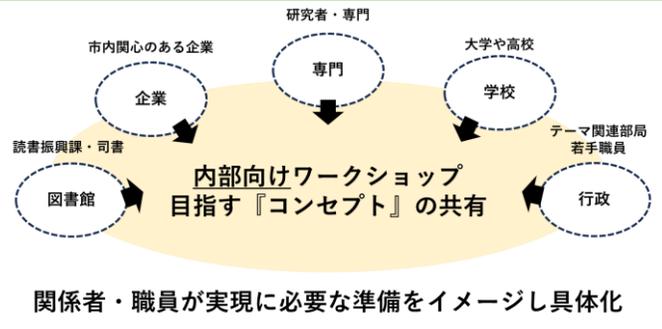
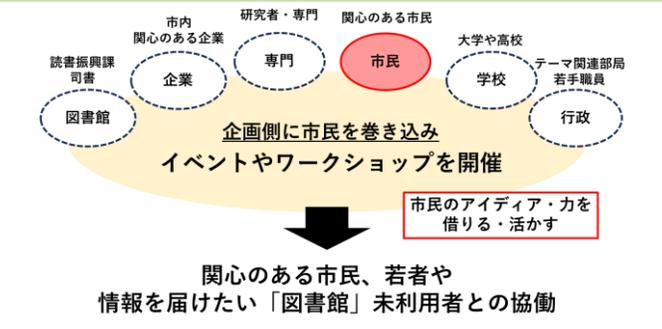
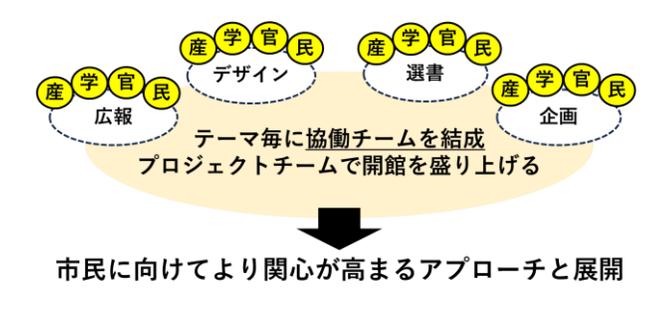
7.整備スケジュール

新中央図書館の整備については、事業主体となる民間事業者からの提案に基づき令和12年度までの開館を目指すこととします。



8.市民と共に創る新中央図書館

市民と共に創る新中央図書館の実現のため、開館とその後の運用に向けた市民参画の取組を積み上げます

| ステップ・時期 | 想定する市民参画の取組 |
|---|--|
| <p>Step1</p> <p>令和6年度～令和7年度</p> | <ul style="list-style-type: none"> ● 新中央図書館に期待するニーズ把握 (若者層・未利用層のニーズ／選書テーマに関するヒアリング) ● 『LIBRARY for ACTION ①』 <u>関係者を中心に コンセプトの見える化・具現化</u>  |
| <p>Step2</p> <p>令和8年度～令和9年度</p> | <ul style="list-style-type: none"> ● 『LIBRARY for ACTION ②』 市民を巻き込んだイベント企画チームへの発展／実施 <u>市民と共に 実現できる空間や仕組みづくりを検討</u>  |
| <p>Step3</p> <p>令和10年度～令和12年度 (開館まで)</p> | <ul style="list-style-type: none"> ● 『LIBRARY for ACTION ③』 <u>みんなで 新図書館の開館を盛り上げよう！ (活動の展開)</u> オープニングイベント／デザイン／SNS広報／選書／愛称募集など  |

西宮市立中央図書館移転整備基本構想及び基本計画
(素案)

[別冊資料]

令和6年5月

西宮市

目次

| | |
|------------------------------|----|
| 1 図書館利用統計(令和4年度) | 1 |
| (1)「図書館の概要」 | 1 |
| (2)「図書館の概要」補足資料 | 1 |
| 1) 年齢別実利用者統計 | 1 |
| 2) 行政区分別実利用者統計 | 3 |
| 3) 町別実利用者統計 | 4 |
| 2 市民ニーズ調査結果 | 7 |
| (1) 市政モニター調査および来館者アンケート調査 | 7 |
| 1) 調査概要と集計結果 | 7 |
| 2) 調査結果の分析 | 7 |
| 3) 市政モニター調査および来館者アンケート調査補足資料 | 11 |
| (2) グループインタビュー | 26 |
| (3) プレイスメイキングワークショップ | 28 |
| 3 蔵書規模検討関連資料 | 30 |
| 4 図書収容能力検討関連資料 | 32 |
| (1) 開館時の想定蔵書数と残り収容能力 | 32 |
| (2) 図書収容上限への到達時期 | 33 |

1 図書館利用統計(令和4年度)

(1) 「図書館の概要」

「図書館の概要」は、西宮市立図書館の現況を報告する年報です。施設概要、蔵書冊数、利用統計、事業実施状況などを掲載しており、過去7年間分を図書館ホームページ上で公開しています。

図書館ホームページ掲載 URL <https://toshonishi.or.jp/about/outline/>

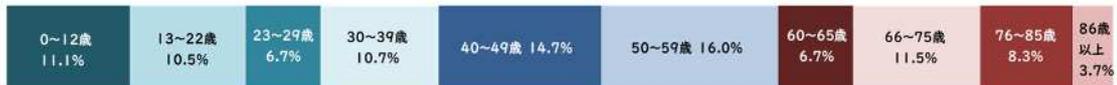


(2) 「図書館の概要」補足資料

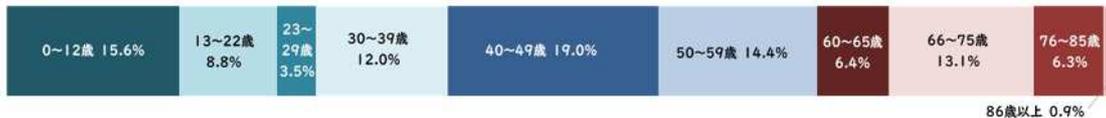
1) 年齢別実利用者統計

実利用者とは1年間のうちに1度以上貸出サービスを利用した人を指します。延べ人数ではないため市民の利用割合を最も計りやすい数字です。

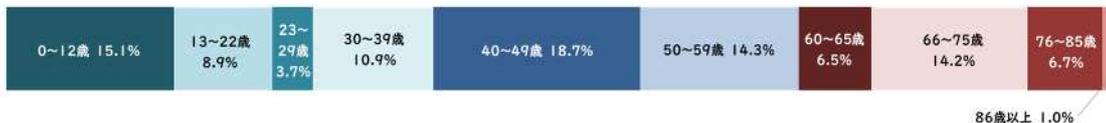
◆【参考】住民基本台帳による西宮市年齢別人口割合(令和5年3月31日現在)



◆全館



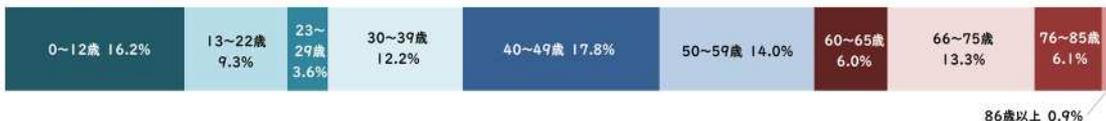
◆中央図書館



◆北部図書館



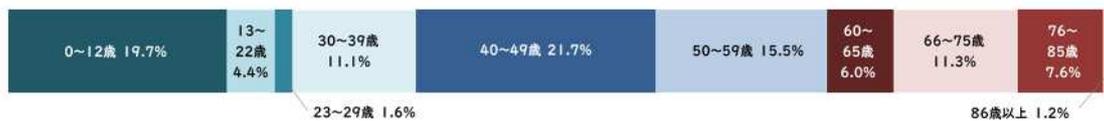
◆鳴尾図書館



◆北口図書館



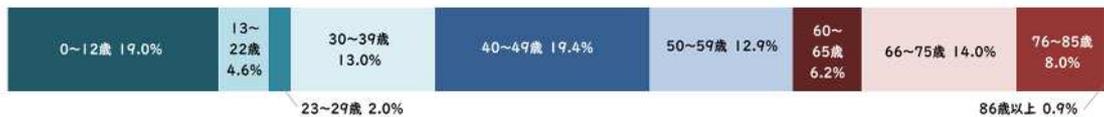
◆越木岩分室



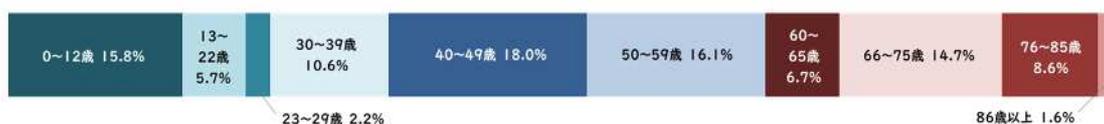
◆段上分室



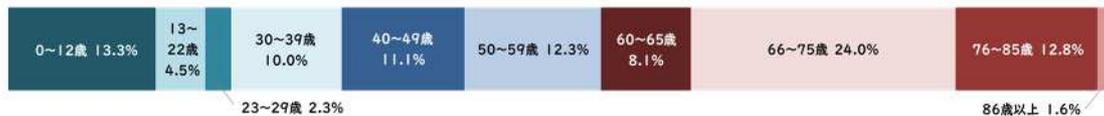
◆上ヶ原分室



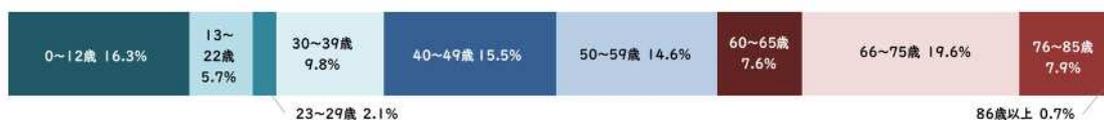
◆甲東園分室



◆高須分室



◆山口分室



◆若竹分室



2) 行政区分別実利用者統計 拠点館のみ



3) 町別実利用者統計

◆全市域利用率 11.9% 人口 484,488 人(R4 町別推計人口より) 図書館実利用者数 57,687 人

◆本庁区域

| 住所 | 利用率 | 住所 | 利用率 | 住所 | 利用率 | 住所 | 利用率 |
|-------------|-------|------|-------|-----------|-------|---------------|-------|
| 越水字社家郷山・湯元町 | 7.0% | 五月ヶ丘 | 12.3% | 羽衣町 | 14.4% | 池田町 | 10.8% |
| 鷲林寺 1 丁目 | 10.4% | 六軒町 | 10.9% | 霞町 | 15.5% | 松原町 | 10.2% |
| 鷲林寺町 | 1.8% | 神原 | 10.0% | 松園町 | 12.0% | 染殿町 | 10.1% |
| 柏堂町 | 9.4% | 奥畑 | 13.0% | 大谷町 | 11.9% | 津門飯田町 | 0.0% |
| 北山町 | 0.0% | 大社町 | 12.4% | 郷免町 | 10.4% | 津門大塚町 | 14.0% |
| 甲陽園目神山町 | 7.6% | 能登町 | 16.3% | 御茶家所町 | 15.6% | 津門大箇町 | 10.9% |
| 甲陽園東山町 | 12.0% | 広田町 | 12.6% | 松下町 | 19.7% | 津門綾羽町 | 7.6% |
| 甲陽園山王町 | 10.1% | 大畑町 | 14.2% | 屋敷町 | 19.8% | 津門呉羽町 | 7.4% |
| 甲陽園西山町 | 11.4% | 平木町 | 15.3% | 弓場町 | 12.3% | 津門稲荷町 | 10.6% |
| 甲陽園若江町 | 15.5% | 中屋町 | 11.7% | 川西町 | 22.4% | 津門仁辺町 | 9.6% |
| 甲陽園本庄町 | 10.3% | 河原町 | 5.2% | 中浜町 | 19.1% | 津門西口町 | 9.5% |
| 甲陽園日之出町 | 13.8% | 青木町 | 11.1% | 堀切町 | 21.3% | 津門宝津町 | 8.1% |
| 新甲陽町 | 13.2% | 柳本町 | 10.3% | 上葎原町・中葎原町 | 25.1% | 津門川町 | 7.6% |
| 神園町 | 12.4% | 室川町 | 8.3% | 下葎原町 | 24.2% | 津門住江町 | 6.5% |
| 獅子ヶ口町 | 12.1% | 神垣町 | 12.9% | 大浜町 | 24.5% | 上甲子園 5 丁目 | 9.6% |
| 甌岩町 | 11.3% | 越水町 | 9.6% | 神楽町 | 15.5% | 甲子園春風町 | 8.2% |
| 毘沙門町 | 10.2% | 城山 | 14.3% | 産所町 | 9.2% | 今津野田町 | 12.7% |
| 角石町 | 11.5% | 桜谷町 | 12.1% | 宮西町 | 19.2% | 今津山中町 | 7.9% |
| 西平町 | 11.5% | 西田町 | 12.8% | 市庭町 | 14.6% | 今津上野町 | 9.4% |
| 美作町 | 11.0% | 満池谷町 | 11.5% | 社家町 | 13.6% | 甲子園浜田町 | 10.9% |
| 桜町 | 17.4% | 清水町 | 14.6% | 宮前町 | 15.7% | 甲子園砂田町 | 13.8% |
| 豊楽町 | 13.8% | 北名次町 | 12.0% | 荒戎町 | 12.3% | 甲子園六石町 | 15.8% |
| 松風町 | 10.3% | 名次町 | 11.9% | 川東町 | 23.2% | 甲子園浦風町 | 9.8% |
| 石劔町 | 14.8% | 南郷町 | 12.5% | 川添町 | 25.7% | 今津曙町 | 6.0% |
| 苦楽園一番町 | 10.0% | 若松町 | 14.5% | 建石町 | 18.9% | 今津水波町 | 7.9% |
| 苦楽園二番町 | 7.7% | 結善町 | 11.9% | 前浜町 | 15.1% | 甲子園高潮町 | 7.7% |
| 苦楽園三番町 | 6.4% | 大井手町 | 15.7% | 泉町 | 12.6% | 甲子園洲鳥町 | 10.9% |
| 苦楽園四番町 | 8.3% | 芦原町 | 15.4% | 西波止町 | 11.5% | 甲子園網引町 | 11.1% |
| 苦楽園五番町 | 10.4% | 神祇官町 | 21.9% | 和上町 | 9.8% | 今津久寿川町 | 7.0% |
| 樋之池町 | 18.0% | 森下町 | 4.8% | 六温寺町 | 10.9% | 今津社前町 | 6.3% |
| 老松町 | 13.3% | 神明町 | 7.8% | 与古道町 | 7.3% | 今津大東町 | 8.4% |
| 深谷町 | 9.7% | 西福町 | 9.3% | 今在家町 | 3.9% | 今津二葉町 | 6.5% |
| 木津山町 | 13.6% | 中殿町 | 6.7% | 田中町 | 9.0% | 今津出在家町 | 6.1% |
| 松ヶ丘町 | 15.2% | 中須佐町 | 6.3% | 馬場町 | 11.0% | 今津港町 | 16.8% |
| 菊谷町 | 15.9% | 津田町 | 4.2% | 戸田町 | 6.4% | 今津巽町・今津西浜町 | 8.7% |
| 南越木岩町 | 13.0% | 中前田町 | 10.6% | 本町 | 5.3% | 今津真砂町 | 6.6% |
| 松生町 | 15.2% | 櫛塚町 | 13.0% | 用海町 | 7.5% | 甲子園三保町 | 12.1% |
| 久出ヶ谷町 | 14.1% | 城ヶ堀町 | 10.6% | 浜松原町 | 9.4% | 苦楽園六番町 | 7.9% |
| 高塚町 | 13.8% | 江上町 | 5.8% | 東浜町 | 0.0% | 鷲林寺南町 | 5.1% |
| 殿山町 | 9.8% | 末広町 | 9.9% | 東町 1 丁目 | 9.6% | 柏堂西町 | 6.5% |
| 雲井町 | 13.1% | 分銅町 | 10.3% | 東町 2 丁目 | 8.6% | 鷲林寺 2 丁目 | 1.7% |
| 相生町 | 14.1% | 常磐町 | 11.8% | 石在町 | 9.3% | 剣谷町 | 8.2% |
| 岡田山 (1～3 番) | 2.4% | 平松町 | 11.4% | 久保町 | 8.6% | 西宮浜 1 丁目・2 丁目 | 0.0% |
| 愛宕山 | 14.1% | 寿町 | 15.8% | 鞍掛町 | 6.0% | 西宮浜 3 丁目 | 3.8% |
| 高座町 | 13.1% | 千歳町 | 13.3% | 浜脇町 | 8.5% | 西宮浜 4 丁目 | 7.7% |
| 一ヶ谷町 | 12.9% | 安井町 | 13.4% | 浜町 | 11.8% | | |

◆鳴尾支所区域

| 住所 | 利用率 |
|-----------|-------|
| 小曽根町 1 丁目 | 8.5% |
| 小曽根町 2 丁目 | 8.7% |
| 小曽根町 3 丁目 | 10.8% |
| 小曽根町 4 丁目 | 8.6% |
| 小松北町 1 丁目 | 11.3% |
| 小松北町 2 丁目 | 7.4% |
| 小松東町 1 丁目 | 12.2% |
| 小松東町 2 丁目 | 10.7% |
| 小松東町 3 丁目 | 9.3% |
| 小松町 1 丁目 | 13.4% |
| 小松町 2 丁目 | 5.7% |
| 小松西町 1 丁目 | 11.3% |
| 小松西町 2 丁目 | 9.4% |
| 小松南町 1 丁目 | 8.2% |
| 小松南町 2 丁目 | 5.6% |
| 小松南町 3 丁目 | 9.4% |
| 若草町 1 丁目 | 12.8% |
| 若草町 2 丁目 | 12.8% |
| 花園町 | 12.1% |
| 学文殿町 1 丁目 | 11.1% |
| 学文殿町 2 丁目 | 11.2% |
| 里中町 1 丁目 | 10.3% |
| 里中町 2 丁目 | 9.5% |
| 里中町 3 丁目 | 9.7% |
| 上鳴尾町 | 11.0% |
| 甲子園一番町 | 10.5% |
| 甲子園二番町 | 11.9% |
| 甲子園三番町 | 16.6% |
| 甲子園四番町 | 15.3% |
| 甲子園五番町 | 14.4% |
| 甲子園六番町 | 11.8% |
| 甲子園七番町 | 13.2% |
| 甲子園八番町 | 15.2% |
| 甲子園九番町 | 11.6% |
| 武庫川町 | 5.9% |
| 池開町 | 5.2% |
| 東鳴尾町 1 丁目 | 7.0% |
| 東鳴尾町 2 丁目 | 9.6% |
| 笠屋町 | 9.2% |
| 上田東町 | 8.6% |
| 上田中町 | 9.4% |
| 上田西町 | 10.3% |
| 高須町 1 丁目 | 9.5% |
| 高須町 2 丁目 | 6.5% |
| 鳴尾町 1 丁目 | 8.6% |
| 鳴尾町 2 丁目 | 6.8% |

◆甲東支所区域

| 住所 | 利用率 |
|---------------------|-------|
| 鳴尾町 3 丁目 | 9.9% |
| 鳴尾町 4 丁目 | 12.2% |
| 鳴尾町 5 丁目 | 14.2% |
| 古川町 | 11.1% |
| 枝川町 | 8.9% |
| 甲子園町 | 13.1% |
| 南甲子園 1 丁目 | 12.5% |
| 南甲子園 2 丁目 | 13.3% |
| 南甲子園 3 丁目 | 10.7% |
| 浜甲子園 1 丁目 | 9.4% |
| 浜甲子園 2 丁目 | 10.3% |
| 浜甲子園 3 丁目 | 9.9% |
| 浜甲子園 4 丁目・甲子園浜 1 丁目 | 13.0% |
| 鳴尾浜 1 丁目・2 丁目 | 0.0% |

| 住所 | 利用率 |
|-----------|-------|
| 甲山町 | 1.3% |
| 仁川町 1 丁目 | 11.1% |
| 仁川町 2 丁目 | 13.3% |
| 仁川町 3 丁目 | 17.6% |
| 仁川町 4 丁目 | 13.8% |
| 仁川町 5 丁目 | 10.8% |
| 仁川町 6 丁目 | 10.6% |
| 仁川百合野町 | 11.0% |
| 仁川五ヶ山町 | 11.0% |
| 上ヶ原一番町 | 14.5% |
| 上ヶ原二番町 | 8.6% |
| 上ヶ原三番町 | 9.4% |
| 上ヶ原四番町 | 9.1% |
| 上ヶ原五番町 | 8.9% |
| 上ヶ原六番町 | 8.0% |
| 上ヶ原七番町 | 8.3% |
| 上ヶ原八番町 | 10.3% |
| 上ヶ原九番町 | 10.1% |
| 上ヶ原十番町 | 10.1% |
| 上ヶ原山田町 | 10.0% |
| 上ヶ原山手町 | 7.0% |
| 上甲東園 1 丁目 | 17.2% |
| 上甲東園 2 丁目 | 18.4% |
| 上甲東園 3 丁目 | 17.1% |
| 上甲東園 4 丁目 | 15.6% |
| 甲東園 1 丁目 | 19.8% |
| 甲東園 2 丁目 | 12.5% |
| 甲東園 3 丁目 | 19.7% |
| 松籟荘 | 15.2% |
| 神呪町 | 16.8% |
| 門戸東町 | 18.0% |
| 門戸西町 | 13.7% |
| 門戸岡田町 | 15.9% |
| 門戸荘 | 15.9% |
| 一里山町 | 11.4% |
| 段上町 1 丁目 | 16.5% |
| 段上町 2 丁目 | 20.2% |
| 段上町 3 丁目 | 14.6% |
| 段上町 4 丁目 | 16.8% |
| 段上町 5 丁目 | 15.0% |
| 段上町 6 丁目 | 14.2% |
| 段上町 7 丁目 | 11.2% |
| 段上町 8 丁目 | 13.7% |
| 上大市 1 丁目 | 13.4% |
| 上大市 2 丁目 | 14.4% |
| 上大市 3 丁目 | 17.2% |

| 住所 | 利用率 |
|-------------|-------|
| 上大市 4 丁目 | 12.5% |
| 上大市 5 丁目 | 10.2% |
| 下大市東町 | 13.6% |
| 下大市西町 | 13.2% |
| 樋ノ口町 1 丁目 | 9.5% |
| 樋ノ口町 2 丁目 | 10.4% |
| 大島町 | 10.4% |
| 若山町 | 13.8% |
| 門前町 | 13.3% |
| 林田町 | 18.7% |
| 野間町 | 18.8% |
| 田近野町 | 8.8% |
| 上甲東園 5 丁目 | 11.2% |
| 岡田山 (4~7 番) | 32.5% |
| 上甲東園 6 丁目 | 13.0% |

◆瓦木支所区域

| 住所 | 利用率 |
|---------|-------|
| 堤町 | 12.2% |
| 上之町 | 10.8% |
| 日野町 | 14.6% |
| 荒木町 | 14.8% |
| 大森町 | 15.7% |
| 薬師町 | 18.3% |
| 伏原町 | 18.1% |
| 高木東町 | 19.2% |
| 高木西町 | 19.4% |
| 長田町 | 18.0% |
| 北口町 | 23.5% |
| 甲風園1丁目 | 16.2% |
| 甲風園2丁目 | 20.6% |
| 甲風園3丁目 | 19.2% |
| 丸橋町 | 17.1% |
| 北昭和町 | 15.5% |
| 南昭和町 | 17.9% |
| 両度町 | 20.6% |
| 高松町 | 16.0% |
| 深津町 | 14.5% |
| 高畑町 | 11.0% |
| 田代町 | 11.7% |
| 大屋町 | 12.7% |
| 中島町 | 11.2% |
| 瓦林町 | 13.7% |
| 天道町 | 12.2% |
| 松山町 | 15.8% |
| 松並町 | 12.8% |
| 熊野町 | 14.7% |
| 二見町 | 11.5% |
| 甲子園口北町 | 10.2% |
| 甲子園口1丁目 | 10.7% |
| 甲子園口2丁目 | 10.0% |
| 甲子園口3丁目 | 9.0% |
| 甲子園口4丁目 | 11.7% |
| 甲子園口5丁目 | 8.4% |
| 甲子園口6丁目 | 7.9% |
| 上甲子園1丁目 | 11.1% |
| 上甲子園2丁目 | 12.0% |
| 上甲子園3丁目 | 13.6% |
| 上甲子園4丁目 | 10.0% |
| 戸崎町 | 11.1% |

◆塩瀬支所区域

| 住所 | 利用率 |
|-----------|-------|
| 塩瀬町名塩※ | 17.9% |
| 塩瀬町生瀬※ | 12.7% |
| 清瀬台 | 12.2% |
| 名塩木之元 | 9.9% |
| 名塩南台1丁目 | 14.7% |
| 名塩南台2丁目 | 18.9% |
| 名塩南台3丁目 | 15.4% |
| 名塩南台4丁目 | 12.3% |
| 名塩山荘 | 8.9% |
| 名塩ガーデン | 10.9% |
| 名塩平成台 | 9.7% |
| 名塩新町 | 18.0% |
| 東山台1丁目 | 16.0% |
| 東山台2丁目 | 19.3% |
| 東山台3丁目 | 19.1% |
| 東山台4丁目 | 17.2% |
| 東山台5丁目 | 15.1% |
| 国見台4丁目 | 14.5% |
| 名塩1丁目 | 11.8% |
| 名塩2丁目 | 9.1% |
| 名塩3丁目 | 9.8% |
| 名塩茶園町 | 8.2% |
| 名塩さくら台1丁目 | 5.7% |
| 名塩さくら台2丁目 | 8.8% |
| 名塩さくら台3丁目 | 8.2% |
| 名塩さくら台4丁目 | 6.3% |
| 名塩東久保 | 10.9% |
| 名塩赤坂 | 7.5% |
| 名塩美山 | 5.3% |
| 宝生ヶ丘1丁目 | 6.3% |
| 宝生ヶ丘2丁目 | 7.5% |
| 生瀬高台 | 7.8% |
| 花の峯 | 4.9% |
| 青葉台1丁目 | 10.4% |
| 青葉台2丁目 | 9.7% |
| 生瀬東町 | 4.0% |
| 生瀬武庫川町 | 7.1% |
| 生瀬町1丁目 | 8.1% |
| 生瀬町2丁目 | 3.5% |

◆山口支所区域

| 住所 | 利用率 |
|-----------|-------|
| 山口町名来 | 5.0% |
| 山口町下山口 | 0.8% |
| 山口町上山口 | 5.2% |
| 山口町中野 | 0.0% |
| 山口町船坂 | 5.3% |
| 山口町金仙寺 | 18.2% |
| 山口町名来1丁目 | 4.1% |
| 山口町名来2丁目 | 3.9% |
| 山口町下山口1丁目 | 4.1% |
| 山口町下山口2丁目 | 1.8% |
| 山口町下山口3丁目 | 11.6% |
| 山口町下山口4丁目 | 6.5% |
| 山口町下山口5丁目 | 7.7% |
| 山口町香花園 | 2.0% |
| 北六甲台1丁目 | 8.4% |
| 北六甲台2丁目 | 7.6% |
| 北六甲台3丁目 | 9.3% |
| 北六甲台4丁目 | 7.7% |
| 北六甲台5丁目 | 7.9% |
| すみれ台1丁目 | 8.1% |
| すみれ台2丁目 | 2.6% |
| すみれ台3丁目 | 8.0% |
| 山口町上山口1丁目 | 6.9% |
| 山口町上山口2丁目 | 9.7% |
| 山口町上山口3丁目 | 7.3% |
| 山口町上山口4丁目 | 7.1% |
| 山口町金仙寺1丁目 | 7.0% |
| 山口町金仙寺2丁目 | 0.0% |
| 山口町金仙寺3丁目 | 10.0% |
| 山口町中野1丁目 | 3.4% |
| 山口町中野2丁目 | 5.8% |
| 山口町中野3丁目 | 3.3% |

※塩瀬町名塩は、町別推計人口では〒669-1141の人口のみを集計しているが、図書館の実利用者数は塩瀬町名塩全域が対象となっている。

また、塩瀬町生瀬は、町別推計人口では塩瀬町生瀬の人口に加え〒669-1251(塩瀬町名塩)の人口も含まれているが、図書館の実利用者数には含まれていない。

2 市民ニーズ調査結果

(1) 市政モニター調査および来館者アンケート調査

1) 調査概要と集計結果 ※詳細は11ページから掲載

「西宮市読書活動推進計画」及び「西宮市立中央図書館移転整備基本構想及び基本計画」の策定にあたり、その方向性を検討する上での基礎資料とするために、市の委嘱する市政モニター¹を対象としたアンケート調査及び図書館来館者を対象としたアンケート調査を実施しました。市政モニター調査は令和5年9月に、来館者アンケート調査（以下「来館者アンケート」という。）は同年11月に実施し、それぞれ320件と858件の回答が得られました。なお、対象層ごとの回答傾向を比較するため、一部の設問は両調査で共通の内容としています。

2) 調査結果²の分析

市政モニター調査では、西宮市立図書館の利用頻度について、「全く利用したことがない」が31.3%と最も多く、次いで「数年に1回」が27.8%となっており、両方を合わせて回答者の約6割が数年に1回未満しか市立図書館を利用していない状況が伺えます。

一方、来館者アンケートでは、「1週間に1回程度」が38.6%で最多、続いて「2週間に1回程度」が33.5%、「月に1回程度」が12.7%となっており、「ほぼ毎日」とする回答も6.0%あるなど、月1回以上利用するとした回答はあわせて90%以上にのびります。

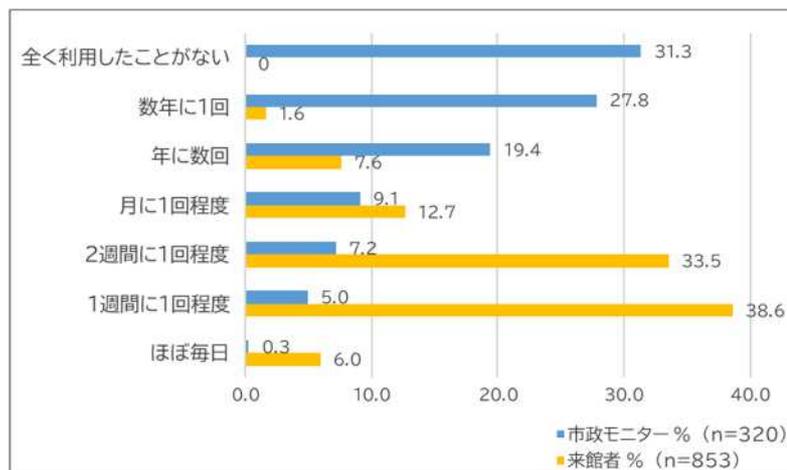


図1 西宮市立図書館の利用頻度

¹ 西宮市に住民登録のある18歳以上の市民（外国人住民含む）から構成。住民基本台帳から無作為抽出により選出したモニター候補者（西宮市職員及び西宮市議会議員を除く）のうち、就任を承諾した者に委嘱

² グラフ等で、一部の文言が長い選択肢は適宜表現を省略している

なお、市政モニター調査の利用頻度の設問で「全く利用したことがない」を選択した回答者に市立図書館を利用しない主な理由を尋ねたところ、「本は購入している」が38.0%と最も多く、次いで「情報はインターネット等で収集する」が37.0%などと続いています。

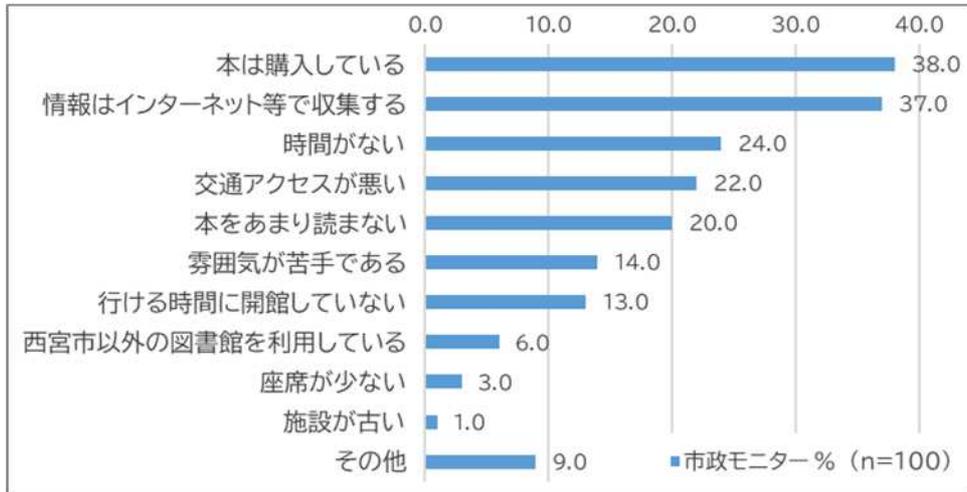


図2 市立図書館を利用しない主な理由(3つまで選択) ※ 市政モニター調査のみの設問

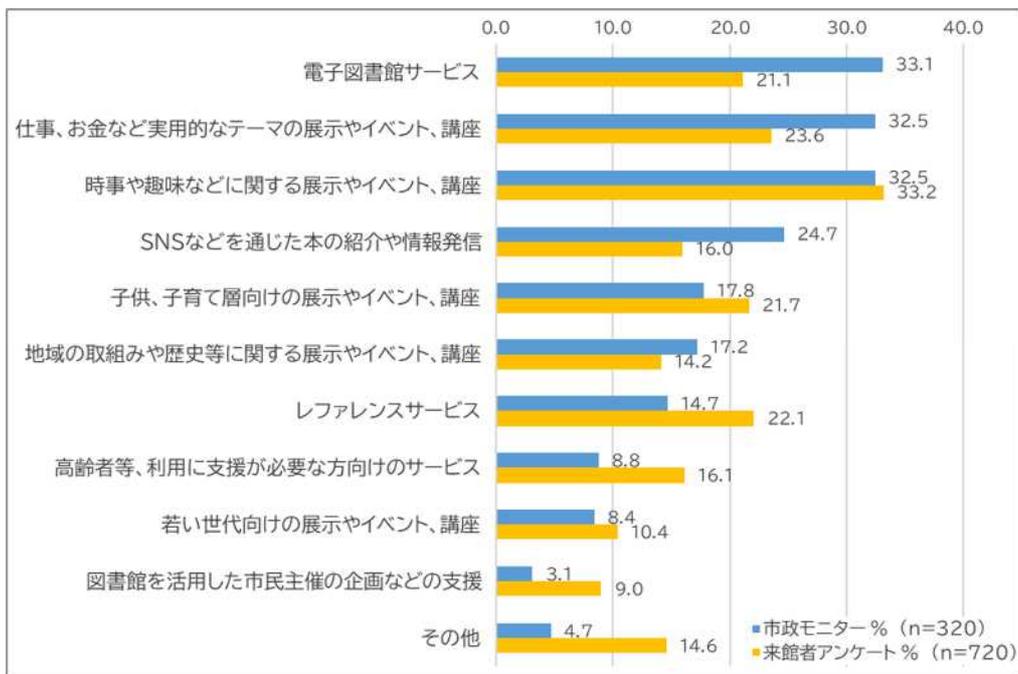


図3 今後特に充実させてほしいサービス(3つまで選択)

今後特に充実させてほしいサービスについて、両アンケートで「実用的なテーマの展示やイベント、講座の開催」及び「時事や趣味などに関する展示やイベント、講座の開催」に高いニーズが見られました。また、市政モニター調査では、半数以上が普段利用していないこともあり

「電子図書館サービス」が 33.1%と最も高く、ほか、「実用的なテーマの展示やイベント、講座の開催」「SNS 等を通じた情報発信」など、図書館による能動的な情報発信に期待する回答の比率が来館者アンケートよりも高くなっています。一方、来館者アンケートでは、「レファレンスサービス」「利用に支援が必要な方向けのサービス」「市民主催企画などの支援」等、図書館のもつ資料や場のさらなる活用に向けた回答の比率が市政モニター調査と比べ高くなっています。

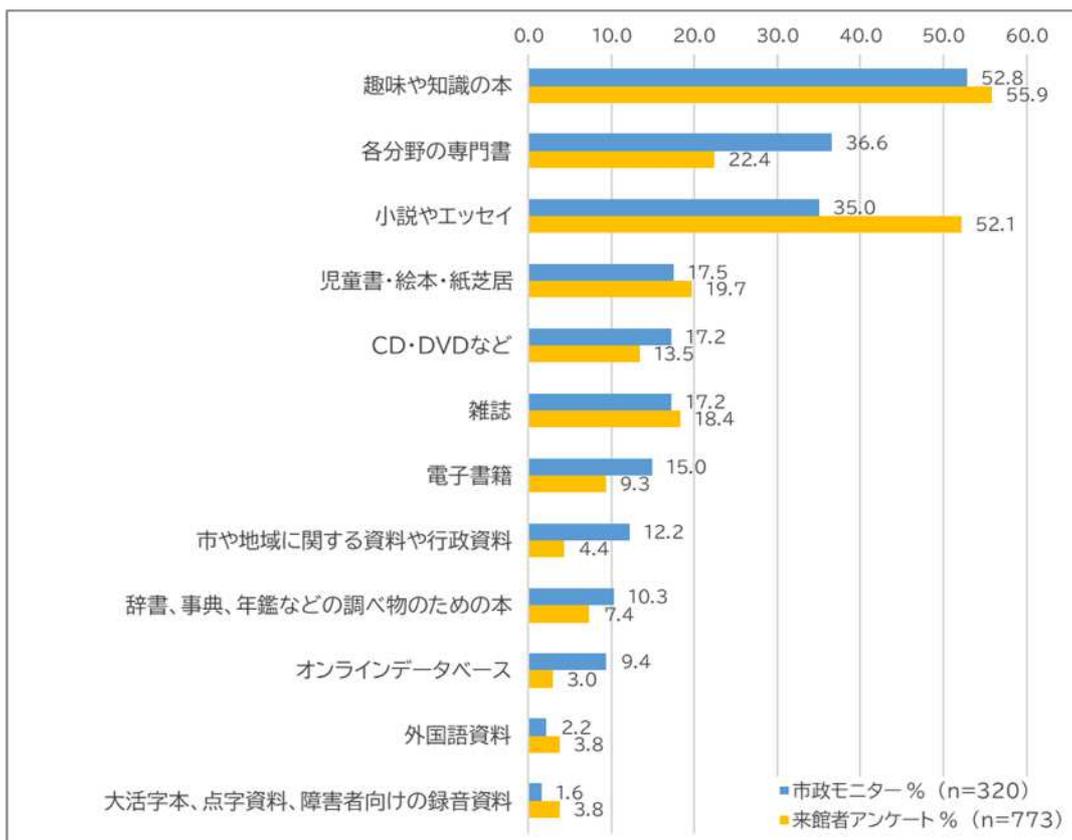


図4 今後特に充実させてほしい資料(3つまで選択)

今後特に充実させてほしい資料について、両アンケートで「趣味や知識の本」が最も多く選ばれたほか、来館者アンケートでは続いて「小説やエッセイ」(52.1%)に高いニーズが見られたのに対し、市政モニター調査では、「各分野の専門書」や「地域資料・行政資料」、「オンラインデータベース」などの回答割合が来館者アンケートを大きく上回っており、より深く幅広い知識・情報を得られる資料の充実への期待が伺えます。

今後特に充実させてほしい施設・設備についての回答傾向は、両アンケートで比較的類似しており、「多様で居心地のいい座席」「集中できる静寂読書スペース」「無料 Wi-Fi や電源等が利用できるスペース」等の一定時間の滞在利用を想定した設備やスペースや、「自習のための個人利用スペース」「興味を喚起する書架」「開館時間外に本を借りたり返したりできる設備」等の回答が多く見られました。

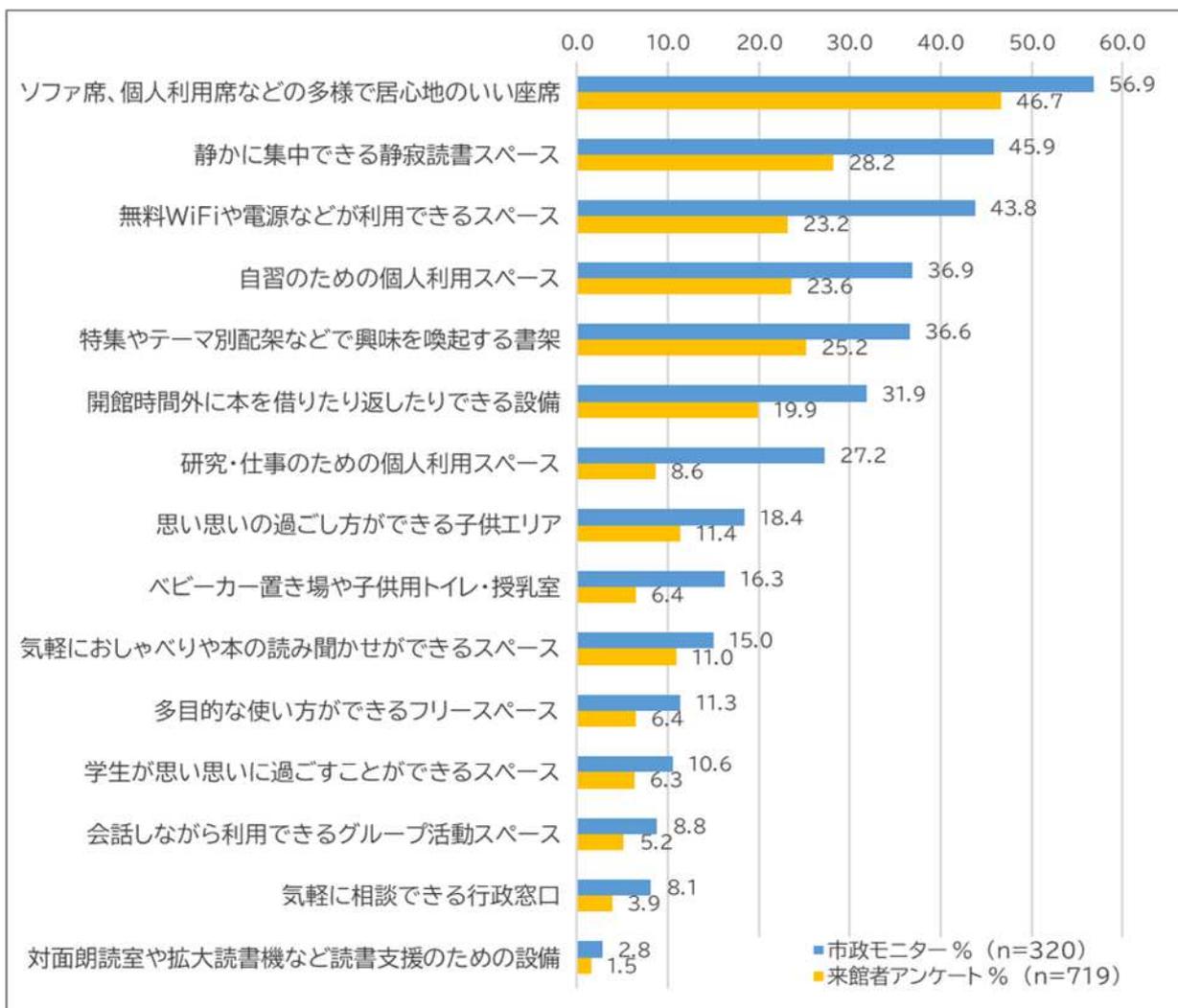


図5 今後特に充実させてほしい施設・設備(いくつでも)

3) 市政モニター調査および来館者アンケート調査補足資料

① 市政モニター調査〔読書振興課担当部分(問6～)のみ〕※問5までは公民館について調査

◆調査概要

【調査名】 令和5年度第2回市政モニター調査(公民館について/読書の状況と図書館の利用に関する考え方について)

【調査方法】 Web回答フォーム

【調査対象】 市政モニター

【調査期間】 令和5年9月14日～令和5年9月24日

【配布数/回収数(回収率)】 423票/320票(75.7%)

◆読書に関する質問

問6 読書は好きですか(1つ選択)

| | 回答数 | 構成比(%) |
|--------------|-----|--------|
| 1 好き | 127 | 39.7 |
| 2 どちらかといえば好き | 142 | 44.4 |
| 3 どちらかといえば嫌い | 46 | 14.4 |
| 4 嫌い | 5 | 1.6 |
| 無回答 | 0 | 0 |
| 合計(n=320) | 320 | 100 |

問7 普段、紙に印刷された次のようなものを読みますか(小説などの書籍、専門書・学術書・実用書・啓発本などの書籍、雑誌、新聞、漫画など)(1つ選択)

| | 回答数 | 構成比(%) |
|-----------|-----|--------|
| 1 読む | 268 | 83.8 |
| 2 紙では読まない | 52 | 16.3 |
| 無回答 | 0 | 0 |
| 合計(n=320) | 320 | 100 |

問8 問7で「読む」と回答した方に伺います。紙に印刷された書籍などのうち、どれを読みますか(あてはまるものをすべて選択)

| | 回答数 | 構成比(%) |
|--------------------------|-----|--------|
| 1 小説などの文芸書 | 180 | 67.2 |
| 2 専門書・学術書・実用書・啓発本など文芸書以外 | 163 | 60.8 |
| 3 雑誌 | 160 | 59.7 |
| 4 新聞 | 107 | 39.9 |
| 5 漫画 | 95 | 35.4 |
| 6 その他 | 6 | 2.2 |
| 無回答 | 0 | 0 |
| 合計(n=268) | 711 | - |

問9 1日あたり平均どれくらいの時間、問8で選択した書籍などを読みますか(1つ選択)

| | 回答数 | 構成比(%) |
|--------------|-----|--------|
| 1 2時間以上 | 11 | 4.1 |
| 2 1時間以上2時間未満 | 38 | 14.2 |
| 3 30分以上1時間未満 | 83 | 31 |
| 4 10分以上30分未満 | 78 | 29.1 |
| 5 10分未満 | 57 | 21.3 |
| 無回答 | 1 | 0.4 |
| 合計(n=268) | 268 | 100 |

問10 普段、次の有料の電子書籍(スマートフォンやタブレットなどで読む書籍)を読みますか(小説などの書籍、専門書・学術書・実用書・啓発本などの書籍、雑誌、新聞、漫画など)(1つ選択)

| | 回答数 | 構成比(%) |
|--------------|-----|--------|
| 1 読む | 136 | 42.5 |
| 2 電子書籍では読まない | 184 | 57.5 |
| 無回答 | 0 | 0 |
| 合計(n=320) | 320 | 100 |

問11 問10で「読む」と回答した方に伺います。有料の電子書籍のうち、どれを読みますか(あてはまるものをすべて選択)

| | 回答数 | 構成比(%) |
|--------------------------|-----|--------|
| 1 小説などの文芸書 | 36 | 26.5 |
| 2 専門書・学術書・実用書・啓発本など文芸書以外 | 40 | 29.4 |
| 3 雑誌 | 55 | 40.4 |
| 4 新聞 | 29 | 21.3 |
| 5 漫画 | 79 | 58.1 |
| 6 その他 | 3 | 2.2 |
| 無回答 | 0 | 0 |
| 合計(n=136) | 242 | - |

問12 1日あたり平均どれくらいの時間、問11で選択した書籍などを読みますか(1つ選択)

| | 回答数 | 構成比(%) |
|--------------|-----|--------|
| 1 2時間以上 | 10 | 7.4 |
| 2 1時間以上2時間未満 | 15 | 11 |
| 3 30分以上1時間未満 | 53 | 39 |
| 4 10分以上30分未満 | 41 | 30.1 |
| 5 10分未満 | 17 | 12.5 |
| 無回答 | 0 | 0 |
| 合計(n=136) | 136 | 100 |

問13 普段、無料で利用可能な次のものをスマートフォンやパソコンで読みますか。動画は除きます(あてはまるものをすべて選択)

| | 回答数 | 構成比(%) |
|---------------|-----|--------|
| 1 小説などの文芸作品 | 32 | 10 |
| 2 インターネットニュース | 245 | 76.6 |
| 3 漫画 | 104 | 32.5 |
| 4 その他ネット記事 | 166 | 51.9 |
| 5 ほとんど読まない | 37 | 11.6 |
| 無回答 | 0 | 0 |
| 合計(n=320) | 584 | - |

◆図書館に関する質問

問14 西宮市立図書館をどれくらいの頻度で利用していますか
(1つ選択)

| | 回答数 | 構成比(%) |
|---------------|-----|--------|
| 1 ほぼ毎日 | 1 | 0.3 |
| 2 1週間に1回程度 | 16 | 5.0 |
| 3 2週間に1回程度 | 23 | 7.2 |
| 4 月に1回程度 | 29 | 9.1 |
| 5 年に数回 | 62 | 19.4 |
| 6 数年に1回 | 89 | 27.8 |
| 7 全く利用したことがない | 100 | 31.3 |
| 8 無回答 | 0 | 0 |
| 合計 (n=320) | 320 | 100 |

問15 問14で「全く利用したことがない」と回答した方以外に
伺います。普段利用しているのはどの図書館ですか
(あてはまるものをすべて選択)

| | 回答数 | 構成比(%) |
|------------|-----|--------|
| 1 中央図書館 | 64 | 29.1 |
| 2 北部図書館 | 12 | 5.5 |
| 3 鳴尾図書館 | 49 | 22.3 |
| 4 北口図書館 | 93 | 42.3 |
| 5 越木岩分室 | 13 | 5.9 |
| 6 段上分室 | 8 | 3.6 |
| 7 上ヶ原分室 | 7 | 3.2 |
| 8 甲東園分室 | 11 | 5.0 |
| 9 高須分室 | 6 | 2.7 |
| 10 山口分室 | 8 | 3.6 |
| 11 若竹分室 | 6 | 2.7 |
| 無回答 | 0 | 0 |
| 合計 (n=220) | 277 | - |

問16 市立図書館を利用するとしたら、主な目的は何ですか
(あてはまるものをすべて選択)

| | 回答数 | 構成比(%) |
|------------------|-----|--------|
| 1 本や雑誌を借りる | 224 | 70.0 |
| 2 本・新聞・雑誌を館内で読む | 110 | 34.3 |
| 3 調べものをする | 103 | 32.1 |
| 4 CDを借りる | 13 | 4.0 |
| 5 CD・DVDを館内で視聴する | 9 | 2.8 |
| 6 自習をする | 51 | 15.9 |
| 7 座席を休憩などに利用する | 21 | 6.5 |
| 8 図書館での行事に参加する | 2 | 0.6 |
| 9 ボランティア活動をする | 3 | 0.9 |
| 10 くつろぎを求めて | 33 | 10.0 |
| 11 思いつかない | 16 | 5.0 |
| 12 その他 | 5 | 1.5 |
| 無回答 | 0 | 0 |
| 合計 (n=320) | 590 | - |

問17 問14で「全く利用したことがない」を選択した方に伺います。
利用しない主な理由は何ですか(3つまで選択可)

| | 回答数 | 構成比(%) |
|---------------------|-----|--------|
| 1 本をあまり読まない | 20 | 20.0 |
| 2 本は購入している | 38 | 38.0 |
| 3 図書館に読みたい本がない | 6 | 6.0 |
| 4 情報はインターネット等で収集する | 37 | 37.0 |
| 5 交通アクセスが悪い | 22 | 22.0 |
| 6 時間がない | 24 | 24.0 |
| 7 施設が古い | 1 | 1.0 |
| 8 座席が少ない | 3 | 3.0 |
| 9 行ける時間に開館していない | 13 | 13.0 |
| 10 西宮市以外の図書館を利用している | 6 | 6.0 |
| 11 雰囲気や苦手である | 14 | 14.0 |
| 12 その他 | 9 | 9.0 |
| 無回答 | 0 | 0 |
| 合計 (n=100) | 193 | - |

問18 次の市立図書館のサービスを知っていますか
(あてはまるものをすべて選択)

| | 回答数 | 構成比(%) |
|-----------------------------------|-------|--------|
| 1 CDの貸出サービス | 148 | 46.3 |
| 2 CD・DVDの館内視聴サービス | 140 | 43.8 |
| 3 漫画の貸出サービス | 116 | 36.3 |
| 4 音楽配信サービス | 16 | 5.0 |
| 5 新聞記事データベースなど オンラインデータベースの利用 | 44 | 13.8 |
| 6 インターネットからの本の予約 | 132 | 41.3 |
| 7 図書館にない本の購入リクエスト | 110 | 34.4 |
| 8 他市図書館などからの本の借用 | 83 | 25.9 |
| 9 図書返却ポスト(大社・春風公 民館、市民会館) | 102 | 31.9 |
| 10 予約図書受取ロッカー(JR西 宮駅、上甲子園センター) | 34 | 10.6 |
| 11 すべて知らない | 84 | 26.3 |
| 12 無回答 | 0 | 0 |
| 合計 (n=320) | 1,009 | - |

問19 市立図書館で、今後、特にどのようなサービスを充実させ
てほしいですか(3つまで選択可)

| | 回答数 | 構成比(%) |
|---|-----|--------|
| 1 レファレンスサービス(専門職員 が調べものや本など情報探し のお手伝いをするサービス) | 47 | 14.7 |
| 2 読み聞かせなど、子供、子育て 層向けの展示やイベント、講座 の開催 | 57 | 17.8 |
| 3 中高校生、大学生などの若い 世代向けの展示やイベント、講 座の開催 | 27 | 8.4 |
| 4 仕事やお金、健康など実用的 なテーマの展示やイベント、講 座の開催 | 104 | 32.5 |
| 5 時事や趣味などに関する展示 やイベント、講座の開催 | 104 | 32.5 |
| 6 地域の取組みや、町の歴史等 に関する展示やイベント、講座 の開催 | 55 | 17.2 |
| 7 SNSなどを通じた本の紹介や 情報発信 | 79 | 24.7 |
| 8 高齢者や障害者、外国人等、 利用に支援が必要な方向けの サービス | 28 | 8.8 |
| 9 電子図書館サービス | 106 | 33.1 |
| 10 図書館の蔵書や施設を活用した 市民主催の企画などの支援 | 10 | 3.1 |
| 11 その他 | 15 | 4.7 |
| 無回答 | 0 | 0 |
| 合計 (n=320) | 632 | - |

問20 市立図書館の蔵書に満足していますか(1つ選択)

| | 回答数 | 構成比(%) |
|------------|-----|--------|
| 1 満足 | 57 | 17.8 |
| 2 ほぼ満足 | 193 | 60.3 |
| 3 やや不満 | 61 | 19.1 |
| 4 不満 | 9 | 2.8 |
| 無回答 | 0 | 0 |
| 合計 (n=320) | 320 | 100 |

問21 市立図書館で、今後、特にどのような資料を充実させてほしいですか(3個まで選択可)

| | 回答数 | 構成比(%) |
|------------------------|-----|--------|
| 1 小説やエッセイ | 112 | 35.0 |
| 2 趣味や知識の本 | 169 | 52.8 |
| 3 各分野の専門書 | 117 | 36.6 |
| 4 辞書、事典、年鑑などの調べ物のための本 | 33 | 10.3 |
| 5 市や地域に関する資料や行政資料 | 39 | 12.2 |
| 6 児童書・絵本・紙芝居 | 56 | 17.5 |
| 7 大活字本、点字資料、障害者向けの録音資料 | 5 | 1.6 |
| 8 CD・DVDなど | 55 | 17.2 |
| 9 雑誌 | 55 | 17.2 |
| 10 外国語資料 | 7 | 2.2 |
| 11 オンラインデータベース | 30 | 9.4 |
| 12 電子書籍 | 48 | 15.0 |
| 無回答 | 0 | 0 |
| 合計 (n=320) | 726 | - |

◆回答者自身に関する質問

性別

| | 回答数 | 構成比(%) |
|------------|-----|--------|
| 1 男性 | 147 | 45.9 |
| 2 女性 | 171 | 53.4 |
| 3 その他 | 2 | 0.6 |
| 無回答 | 0 | 0 |
| 合計 (n=320) | 320 | 100 |

年齢

| | 回答数 | 構成比(%) |
|------------|-----|--------|
| 1 10歳代 | 2 | 0.6 |
| 2 20歳代 | 25 | 7.8 |
| 3 30歳代 | 60 | 18.8 |
| 4 40歳代 | 66 | 20.6 |
| 5 50歳代 | 77 | 24.1 |
| 6 60歳代 | 48 | 15 |
| 7 70歳代 | 26 | 8.1 |
| 8 80歳以上 | 16 | 5 |
| 無回答 | 0 | 0 |
| 合計 (n=320) | 320 | 100 |

職業

| | 回答数 | 構成比(%) |
|-----------------------|-----|--------|
| 1 自営業 | 16 | 5.0 |
| 2 給与生活者(パート・アルバイトを含む) | 197 | 61.6 |
| 3 家事従事者 | 28 | 8.8 |
| 4 学生 | 6 | 1.9 |
| 5 年金生活者 | 43 | 13.4 |
| 6 無職 | 18 | 5.6 |
| 7 その他 | 12 | 3.8 |
| 無回答 | 0 | 0 |
| 合計 (n=320) | 320 | 100 |

居住行政区域

| | 回答数 | 構成比(%) |
|------------|-----|--------|
| 1 本庁南 | 72 | 22.5 |
| 2 本庁北 | 72 | 22.5 |
| 3 甲東 | 43 | 13.4 |
| 4 瓦木 | 42 | 13.1 |
| 5 鳴尾 | 63 | 19.7 |
| 6 塩瀬 | 18 | 5.6 |
| 7 山口 | 10 | 3.1 |
| 無回答 | 0 | 0 |
| 合計 (n=320) | 320 | 100 |

問22 新しい中央図書館で特にどのような施設・設備を充実させてほしいですか(あてはまるものをすべて選択)

| | 回答数 | 構成比(%) |
|-----------------------------------|-------|--------|
| 1 特集やテーマ別に本が並んでいるなど興味を喚起する書架 | 117 | 38.6 |
| 2 ソファ席、個人利用席、スツール席などの多様で居心地のいい座席 | 182 | 56.9 |
| 3 静かに集中できる静寂読書スペース | 147 | 45.9 |
| 4 自習のための個人利用スペース | 118 | 36.9 |
| 5 研究・仕事のための個人利用スペース | 87 | 27.2 |
| 6 気軽にしゃべりや本の読み聞かせができるスペース | 48 | 15.0 |
| 7 遊びながら本を読んだり、思い思いの過ごし方ができる子供エリア | 59 | 18.4 |
| 8 ベビーカー置き場や子供用トイレ・授乳室 | 52 | 16.3 |
| 9 イベントやミーティングなど多目的な使い方ができるフリースペース | 36 | 11.3 |
| 10 会話しながら利用できるグループ活動スペース | 28 | 8.8 |
| 11 中高校生や大学生が思い思いに過ごすことができるスペース | 34 | 10.6 |
| 12 気軽に子育てや、学校生活、健康などについて相談できる行政窓口 | 26 | 8.1 |
| 13 無料WiFiや電源などが利用できるスペース | 140 | 43.8 |
| 14 通勤・通学時など、開館時間外に本を借りたり返したりできる設備 | 102 | 31.9 |
| 15 対面朗読室や拡大読書機など読書支援のための設備 | 9 | 2.8 |
| 無回答 | 0 | 0 |
| 合計 (n=320) | 1,185 | - |

世帯人数

| | 回答数 | 構成比(%) |
|------------|-----|--------|
| 1 1人 | 38 | 11.9 |
| 2 2人 | 96 | 30.0 |
| 3 3人 | 92 | 28.8 |
| 4 4人 | 73 | 22.8 |
| 5 5人 | 17 | 5.3 |
| 6 6人以上 | 4 | 1.3 |
| 無回答 | 0 | 0 |
| 合計 (n=320) | 320 | 100 |

世帯構成

| | 回答数 | 構成比(%) |
|--------------------|-----|--------|
| 1 単身 | 37 | 11.6 |
| 2 夫婦のみ | 85 | 26.6 |
| 3 夫婦とその未婚の子ども | 155 | 48.4 |
| 4 父親または母親とその未婚の子ども | 34 | 10.6 |
| 5 息子夫婦または娘夫婦と同居 | 3 | 0.9 |
| 6 その他 | 6 | 1.9 |
| 無回答 | 0 | 0 |
| 合計 (n=320) | 320 | 100 |

市内居住年数

| | 回答数 | 構成比(%) |
|------------|-----|--------|
| 1 3年未満 | 34 | 10.6 |
| 2 3年~5年 | 23 | 7.2 |
| 3 6年~9年 | 30 | 9.4 |
| 4 10年~19年 | 64 | 20.0 |
| 5 20年以上 | 169 | 52.8 |
| 無回答 | 0 | 0 |
| 合計 (n=320) | 320 | 100 |

②西宮市立図書館 来館者アンケート

◆調査概要

【調査方法】 調査紙と回収箱を各館・分室に設置

【調査対象】 西宮市立図書館来館者

【調査期間】 令和5年11月7日～令和5年11月19日 ※山口分室を除く分室は18日まで

【回収数】 ※各館、目標数到達日をもって終了

| | 中央 | 北口 | 鳴尾 | 北部 | 越木岩 | 段上 | 上ヶ原 | 甲東園 | 高須 | 山口 | 若竹 | 計 |
|-------------|-----|-----|-----|----|-----|----|-----|-----|----|----|----|-----|
| 回収数 | 111 | 215 | 107 | 52 | 53 | 52 | 59 | 57 | 51 | 51 | 50 | 858 |
| (参考) 目標数 | 100 | 200 | 100 | 50 | 50 | 50 | 50 | 50 | 50 | 50 | 50 | 800 |

◆西宮市立図書館の全般に関して、以下の質問に回答ください

問1 西宮市立図書館をどれくらいの頻度で利用していますか
(1つ選択)

| | 回答数 | 構成比(%) |
|------------|-----|--------|
| 1 ほぼ毎日 | 51 | 6.0 |
| 2 1週間に1回程度 | 329 | 38.6 |
| 3 2週間に1回程度 | 286 | 33.5 |
| 4 月に1回程度 | 108 | 12.7 |
| 5 年に数回 | 65 | 7.6 |
| 6 数年に1回 | 14 | 1.6 |
| 合計 (n=853) | 853 | 100 |

問2 普段利用しているのはどの図書館ですか
(あてはまるものをすべて選択)

| | 回答数 | 構成比(%) |
|------------|-------|--------|
| 1 中央図書館 | 195 | 23.0 |
| 2 北部図書館 | 55 | 6.5 |
| 3 鳴尾図書館 | 146 | 17.2 |
| 4 北口図書館 | 330 | 39.0 |
| 5 越木岩分室 | 69 | 8.2 |
| 6 段上分室 | 58 | 6.9 |
| 7 上ヶ原分室 | 67 | 7.9 |
| 8 甲東園分室 | 79 | 9.3 |
| 9 高須分室 | 53 | 6.3 |
| 10 山口分室 | 49 | 5.8 |
| 11 若竹分室 | 63 | 7.4 |
| 合計 (n=847) | 1,164 | - |

問3 市立図書館を利用する主な目的は何ですか
(あてはまるものをすべて選択)

| | 回答数 | 構成比(%) |
|------------------|-------|--------|
| 1 本やCDを選んで借りる | 651 | 76.1 |
| 2 予約した本やCDを受け取る | 444 | 51.9 |
| 3 本・新聞・雑誌を館内で読む | 174 | 20.3 |
| 4 調べものをする | 112 | 13.1 |
| 5 CD・DVDを館内で視聴する | 13 | 1.6 |
| 6 自習をする | 93 | 10.9 |
| 7 座席を休憩などに利用する | 14 | 1.6 |
| 8 図書館での行事に参加する | 21 | 2.5 |
| 9 ボランティア活動をする | 15 | 1.8 |
| 10 くつろぎを求めて | 57 | 6.7 |
| 11 その他 | 16 | 1.9 |
| 合計 (n=856) | 1,610 | - |

問4 次の市立図書館のサービスを知っていますか
(あてはまるものをすべて選択)

| | 回答数 | 構成比(%) |
|-----------------------------------|-------|--------|
| 1 CDの貸出サービス | 667 | 80.1 |
| 2 CD・DVDの館内視聴サービス | 475 | 57.0 |
| 3 漫画の貸出サービス | 475 | 57.0 |
| 4 音楽配信サービス | 176 | 21.1 |
| 5 新聞記事データベースなど オンラインデータベースの利用 | 136 | 16.3 |
| 6 インターネットからの本の予約 | 574 | 68.9 |
| 7 図書館にない本の購入リクエスト | 401 | 48.1 |
| 8 他市図書館などからの本の借用 | 428 | 51.4 |
| 9 図書返却ポスト(大社・春風公 民館、市民会館) | 490 | 58.8 |
| 10 予約図書受取ロッカー(JR西 宮駅、上甲子園センター) | 179 | 21.5 |
| 11 すべて知らない | 23 | 2.8 |
| 合計 (n=833) | 4,024 | - |

問5 市立図書館で、今後、特にどのようなサービスを充実させ
てほしいですか(3つまで選択可)

| | 回答数 | 構成比(%) |
|---|-------|--------|
| 1 レファレンスサービス(専門職員が調 べものや本など情報探しのお手伝 いをするサービス) | 159 | 22.1 |
| 2 読み聞かせなど、子供、子育て 層向けの展示やイベント、講座 の開催 | 156 | 21.7 |
| 3 中高生、大学生などの若い 世代向けの展示やイベント、講 座の開催 | 75 | 10.4 |
| 4 仕事やお金、健康など実用的 なテーマの展示やイベント、講 座の開催 | 170 | 23.6 |
| 5 時事や趣味などに関する展示 やイベント、講座の開催 | 239 | 33.2 |
| 6 地域の取組みや、町の歴史等 に関する展示やイベント、講座 の開催 | 102 | 14.2 |
| 7 SNSなどを通じた本の紹介や 情報発信 | 115 | 16.0 |
| 8 高齢者や障害者、外国人等、 利用に支援が必要な方向への サービス | 116 | 16.1 |
| 9 電子図書館サービス | 152 | 21.1 |
| 10 図書館の蔵書や施設を活用した市 民主権の企画などの支援 | 65 | 9.0 |
| 11 その他 | 105 | 14.6 |
| 合計 (n=720) | 1,454 | - |

問6 市立図書館の蔵書に満足していますか(1つ選択)

| | 回答数 | 構成比(%) |
|------------|-----|--------|
| 1 満足 | 221 | 26.8 |
| 2 ほぼ満足 | 476 | 57.8 |
| 3 やや不満 | 113 | 13.7 |
| 4 不満 | 14 | 1.7 |
| 合計 (n=824) | 824 | 100 |

問7 市立図書館で、今後、特にどのような資料を充実させてほしいですか(3つまで選択可)

| | 回答数 | 構成比(%) |
|------------------------|-------|--------|
| 1 小説やエッセイ | 403 | 52.1 |
| 2 趣味や知識の本 | 432 | 55.9 |
| 3 各分野の専門書 | 173 | 22.4 |
| 4 辞書、事典、年鑑などの調べ物のための本 | 57 | 7.4 |
| 5 市や地域に関する資料や行政資料 | 34 | 4.4 |
| 6 児童書・絵本・紙芝居 | 152 | 19.7 |
| 7 大活字本、点字資料、障害者向けの録音資料 | 29 | 3.8 |
| 8 CD・DVDなど | 104 | 13.5 |
| 9 雑誌 | 142 | 18.4 |
| 10 外国語資料 | 29 | 3.8 |
| 11 オンラインデータベース | 23 | 3.0 |
| 12 電子書籍 | 72 | 9.3 |
| 合計 (n=320) | 1,650 | - |

問8 今後、市立図書館で特にどのような施設・設備を充実させてほしいですか(3つまで選択可)

| | 回答数 | 構成比(%) |
|-----------------------------------|-------|--------|
| 1 特集やテーマ別に本が並んでいるなど興味を喚起する書架 | 181 | 25.2 |
| 2 ソファ席、個人利用席、スツール席などの多様で居心地のいい座席 | 336 | 46.7 |
| 3 静かに集中できる静寂読書スペース | 203 | 28.2 |
| 4 自習のための個人利用スペース | 170 | 23.6 |
| 5 研究・仕事のための個人利用スペース | 62 | 8.6 |
| 6 気軽にしゃべりや本の読み聞かせができるスペース | 79 | 11.0 |
| 7 遊びながら本を読んだり、思い思いの過ごし方ができる子供エリア | 82 | 11.4 |
| 8 ベビーカー置き場や子供用トイレ・授乳室 | 46 | 6.4 |
| 9 イベントやミーティングなど多目的な使い方ができるフリースペース | 46 | 6.4 |
| 10 会話しながら利用できるグループ活動スペース | 37 | 5.2 |
| 11 中高校生や大学生が思い思いに過ごすことができるスペース | 45 | 6.3 |
| 12 気軽に子育てや、学校生活、健康などについて相談できる行政窓口 | 28 | 3.9 |
| 13 無料WiFiや電源などが利用できるスペース | 167 | 23.2 |
| 14 通勤・通学時など、閉館時間外に本を借りたり返したりできる設備 | 143 | 19.9 |
| 15 対面朗読室や拡大読書機など読書支援のための設備 | 11 | 1.5 |
| 合計 (n=719) | 1,636 | - |

問9 中央図書館を利用されている方に伺います。あなたが中央図書館を利用する理由は何ですか(あてはまるものをすべて選択)

| | 回答数 | 構成比(%) |
|-----------------------|-----|--------|
| 1 家や職場から近い | 113 | 54.9 |
| 2 居心地や雰囲気がいい | 63 | 30.6 |
| 3 蔵書が充実している | 85 | 41.3 |
| 4 中央図書館にしかない資料を利用するため | 32 | 15.5 |
| 5 図書館がある場所の環境がいい | 51 | 24.8 |
| 6 学習室がある | 31 | 15.1 |
| 7 サービスが充実している | 12 | 5.8 |
| 8 その他 | 21 | 10.2 |
| 合計 (n=206) | 408 | - |

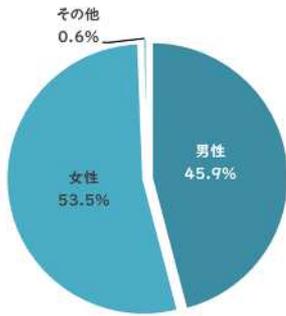
問10 中央図書館を利用されていない方に伺います。あなたが中央図書館を利用しない理由は何ですか(あてはまるものをすべて選択)

| | 回答数 | 構成比(%) |
|---------------------------|-----|--------|
| 1 アクセスが不便 | 403 | 79.2 |
| 2 駐車場がない | 101 | 19.8 |
| 3 施設が古くて居心地が悪い | 16 | 3.1 |
| 4 借りたい本がない | 13 | 2.6 |
| 5 他の図書館・分室のほうがサービスが充実している | 36 | 7.1 |
| 6 その他 | 76 | 14.9 |
| 合計 (n=509) | 645 | - |

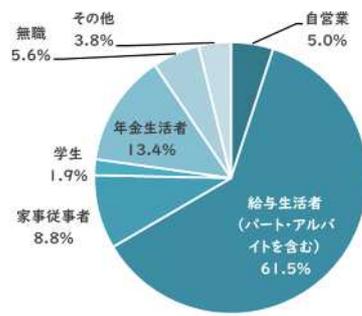
問11 あなたの年齢を教えてください

| | 回答数 | 構成比(%) |
|------------|-----|--------|
| 1 10歳代 | 87 | 10.6 |
| 2 20歳代 | 20 | 2.4 |
| 3 30歳代 | 87 | 10.6 |
| 4 40歳代 | 112 | 13.7 |
| 5 50歳代 | 130 | 15.9 |
| 6 60歳代 | 144 | 17.6 |
| 7 70歳代 | 177 | 21.6 |
| 8 80歳以上 | 62 | 7.6 |
| 合計 (n=819) | 819 | 100 |

③ 市政モニター調査回答者属性 (n=320)



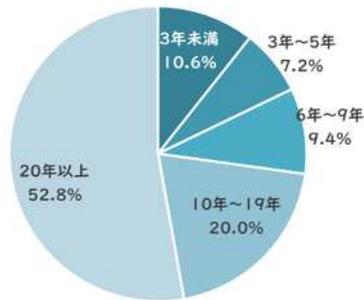
性別



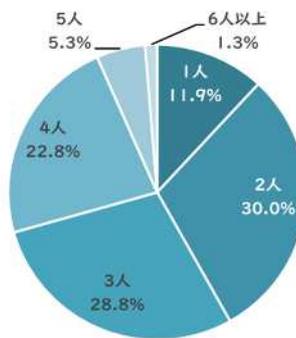
職業



居住行政区域



市内居住年数

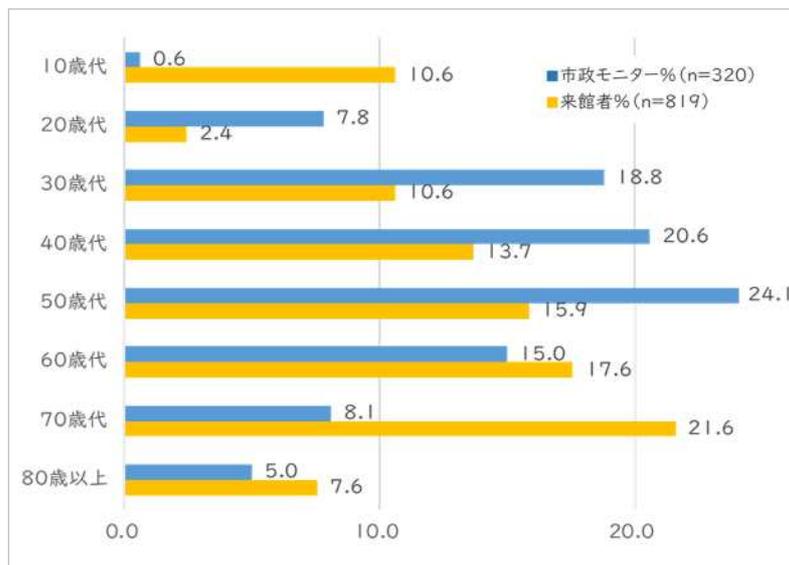


世帯人数



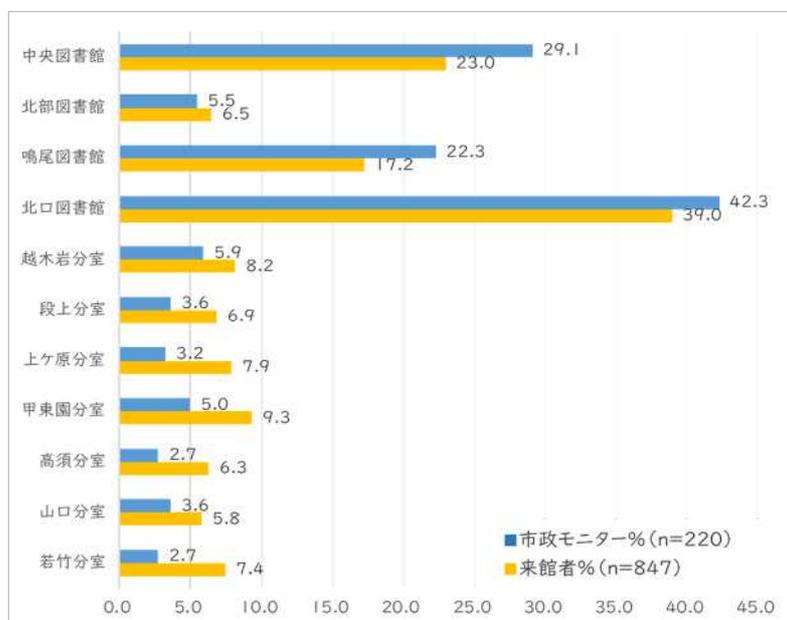
世帯構成

④ 市政モニター調査および来館者アンケート回答者の年齢分布



⑤ 市政モニター調査と来館者アンケートの比較（計画本編に未掲載分のみ）

◆ 普段利用しているのはどの図書館ですか 市政モニター調査（問15）×来館者アンケート（問2）



◆ 市立図書館を利用する主な目的は何ですか



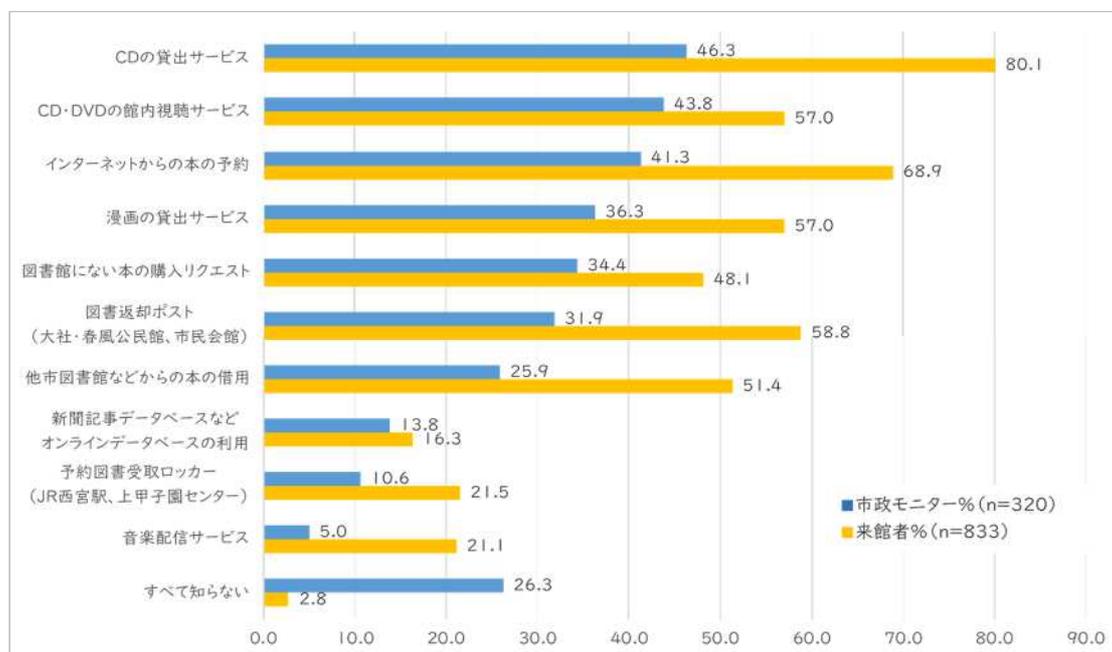
市政モニター調査（問16）
n=320



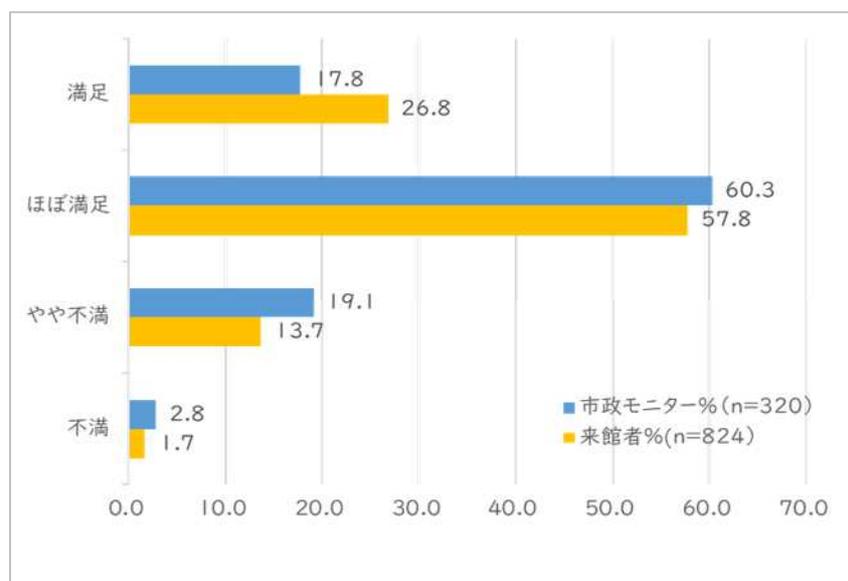
来館者アンケート（問3）
n=856

◆次の市立図書館のサービスを知っていますか

市政モニター調査(問18)×来館者アンケート(問4)



◆市立図書館の蔵書に満足していますか 市政モニター調査(問20)×来館者アンケート(問6)

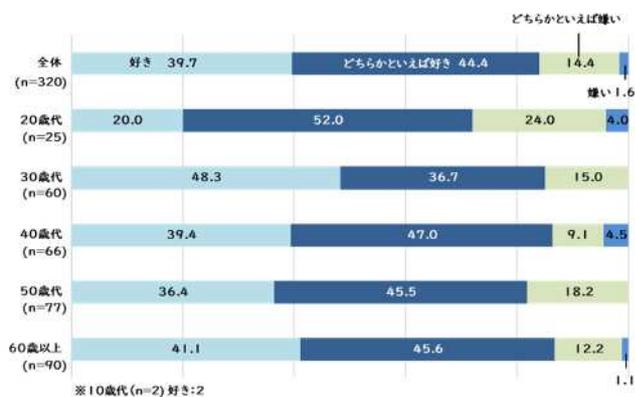


⑥ 市政モニター調査における全体と年齢別の回答割合の比較（一部設問を除く）

※10歳代についてはサンプル数が少なくグラフによる比較が困難なため数値のみを掲載

※数値はすべて%

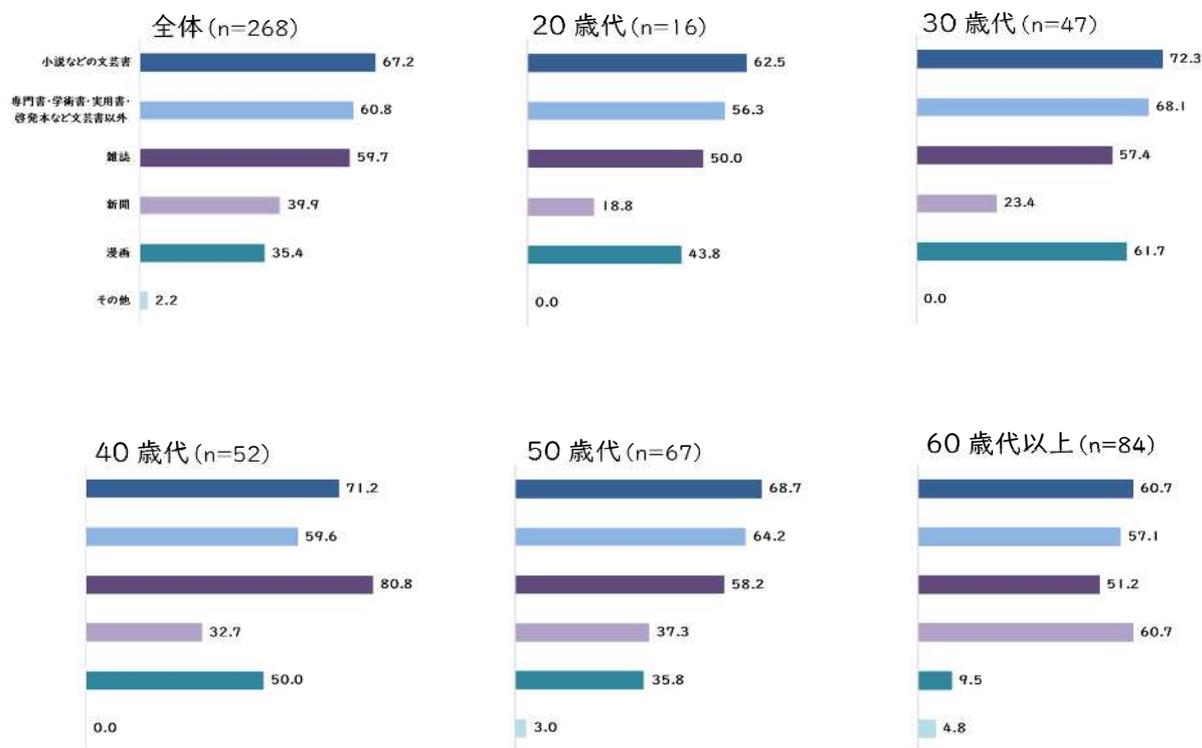
◆問6 読書は好きですか



◆問7 普段、紙に印刷された次のようなものを読みますか

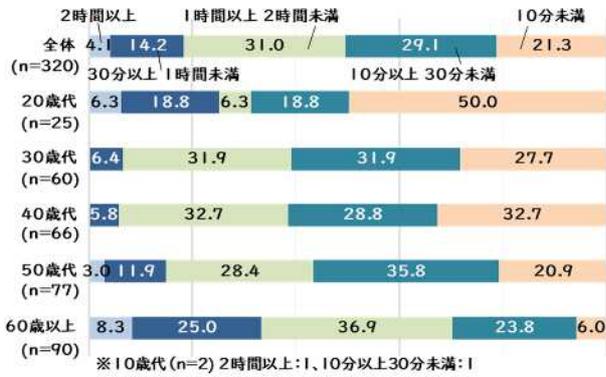


◆問8 紙に印刷された書籍などのうち、どれを読みますか（あてはまるものをすべて選択）



※10歳代 (n=2) 小説などの文芸書:2、雑誌:1、漫画:1

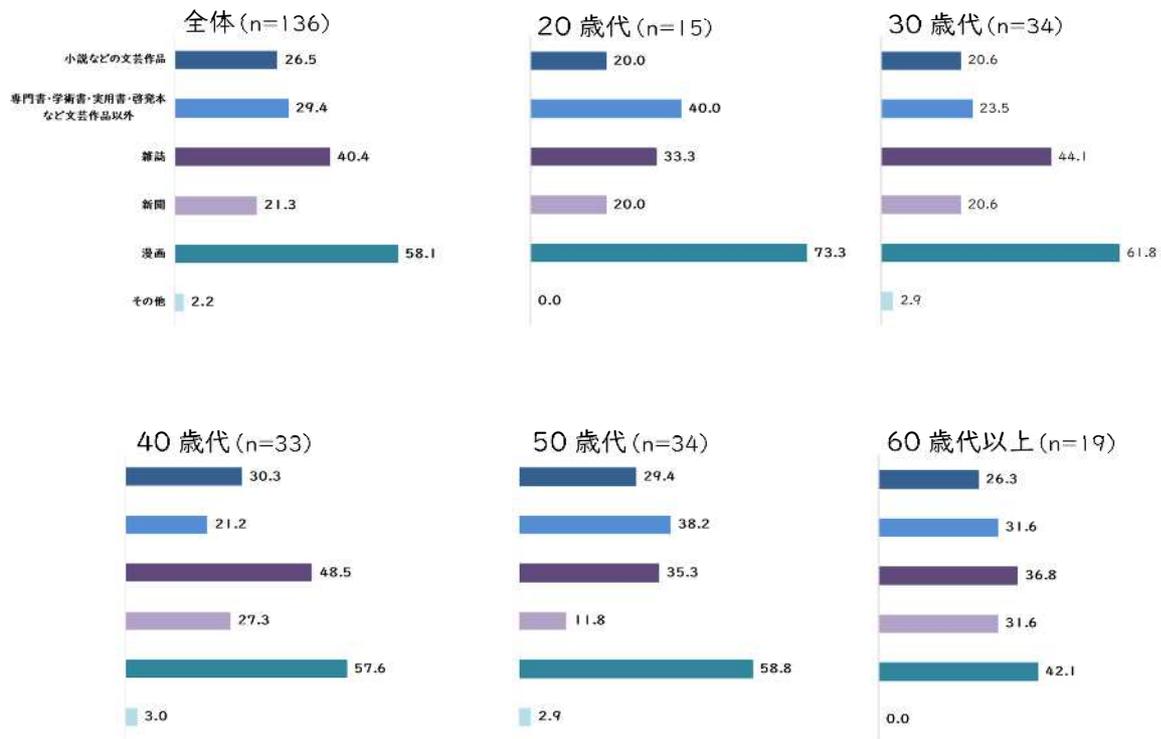
◆問9 1日あたり平均どれくらいの時間、
問8で選択した書籍などを 읽습니다か



◆問10 普段、次の有料の電子書籍を読みますか

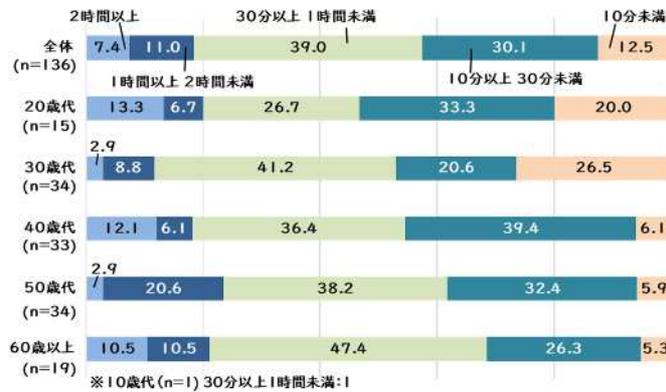


◆問11 有料の電子書籍のうち、どれを読みますか(あてはまるものをすべて選択)

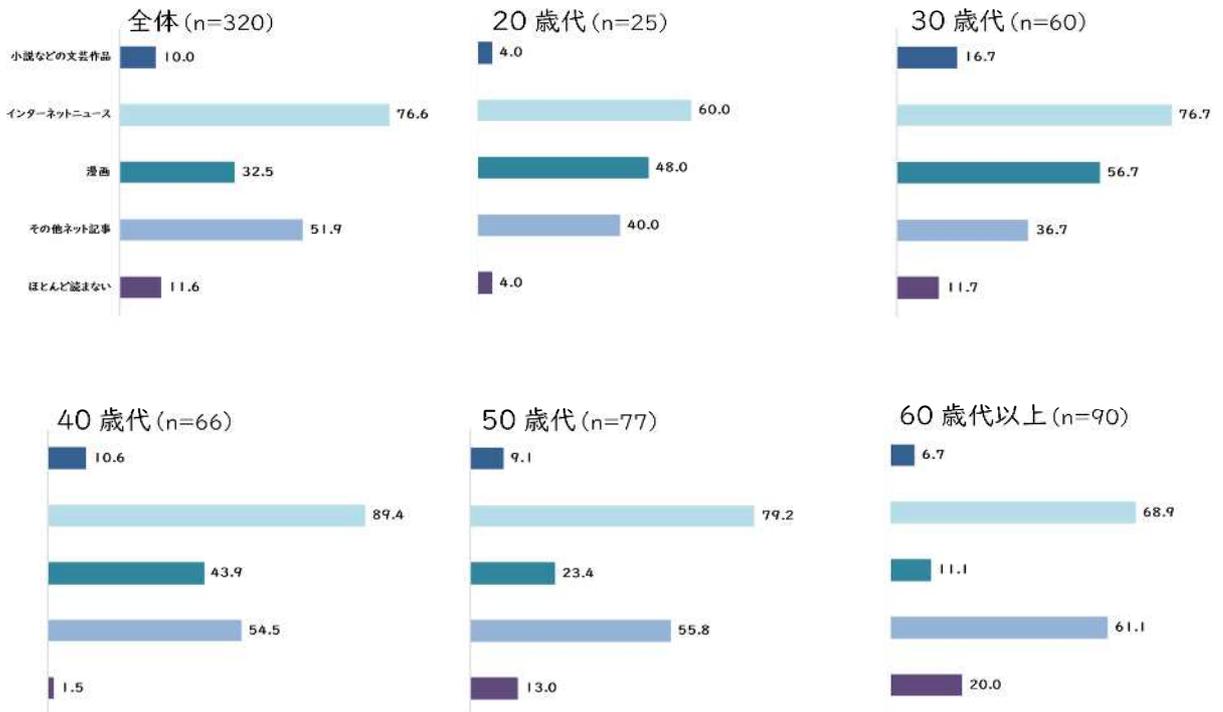


※10歳代 (n=1) 小説などの文芸書:1

◆問12 1日あたり平均どれくらいの時間、問11で選択したものを 읽습니다か



◆問13 普段、無料で利用可能な次のものをスマートフォンやパソコンで 읽습니다か (あてはまるものをすべて選択、動画は除く)

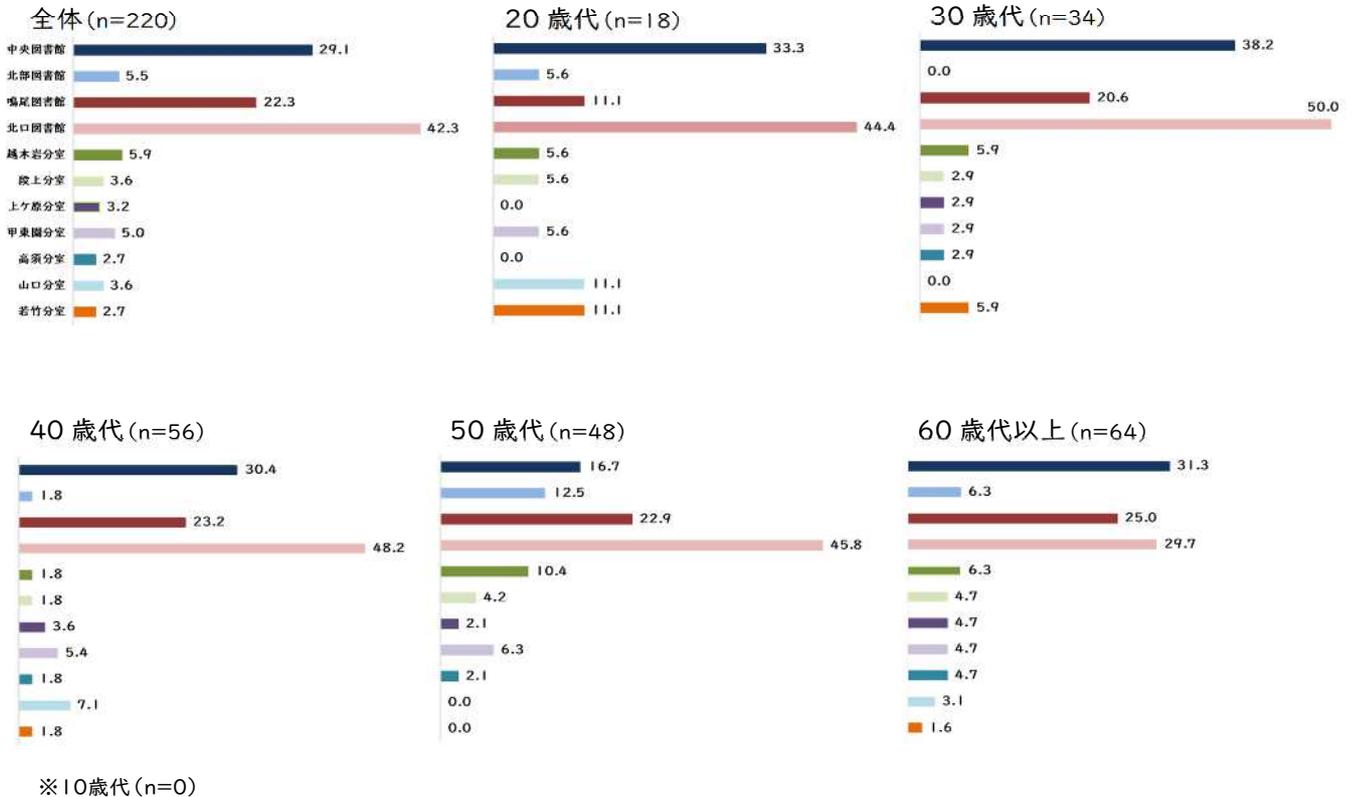


※10歳代 (n=2) 小説などの文芸作品:1、インターネットニュース:2、漫画:1

◆問14 西宮市立図書館をどれくらいの頻度で利用していますか

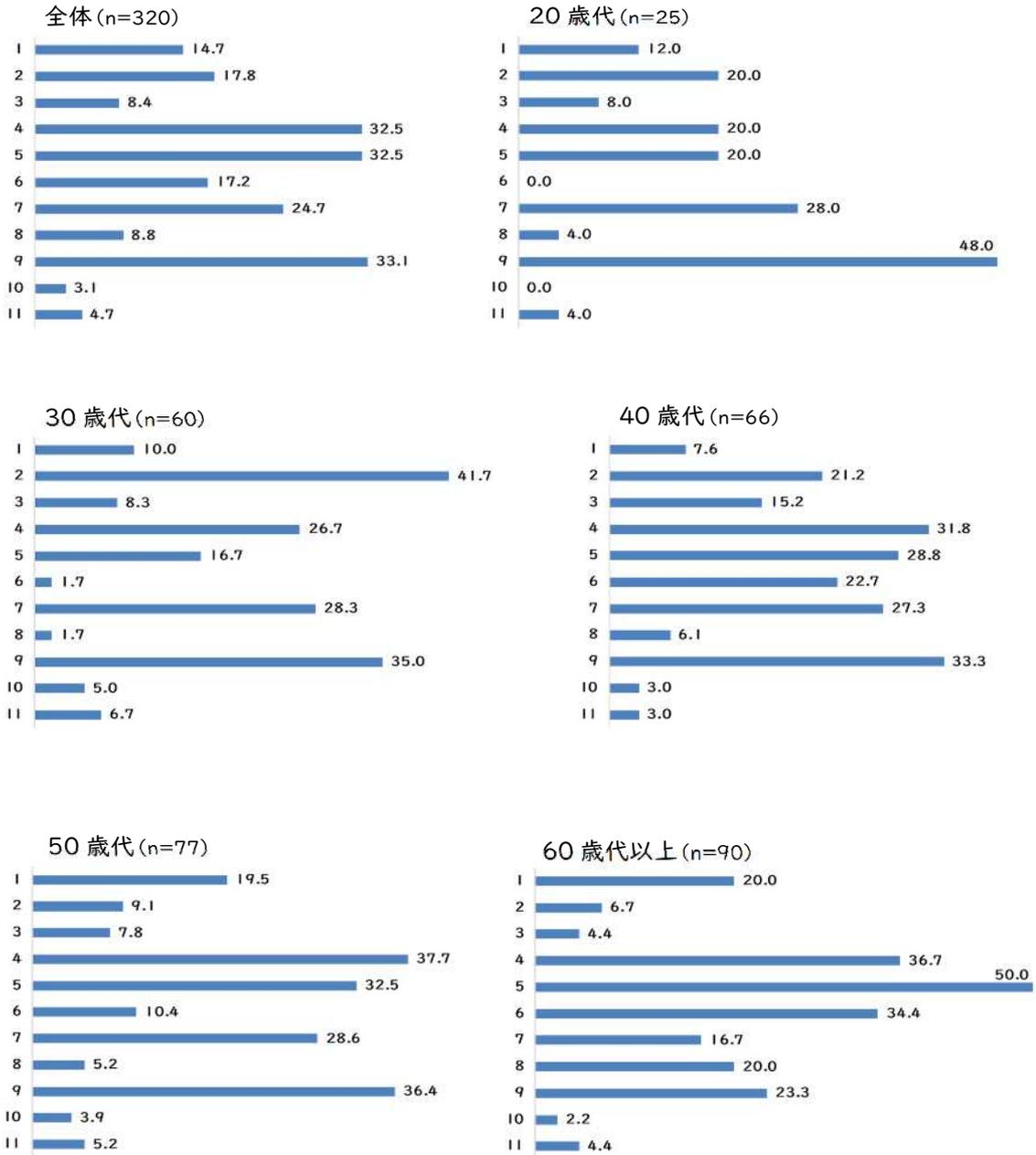


◆問15 普段利用しているのはどの図書館ですか (あてはまるものをすべて選択)



◆問19 市立図書館で、今後、特にどのようなサービスを充実させてほしいですか(3個まで選択可)

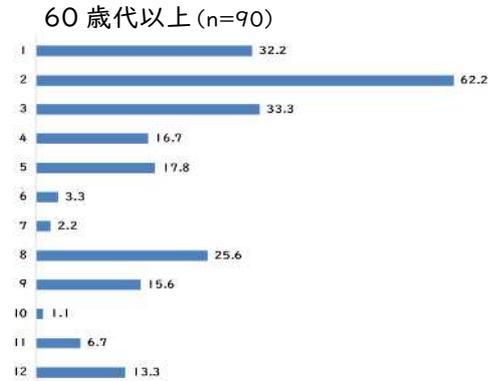
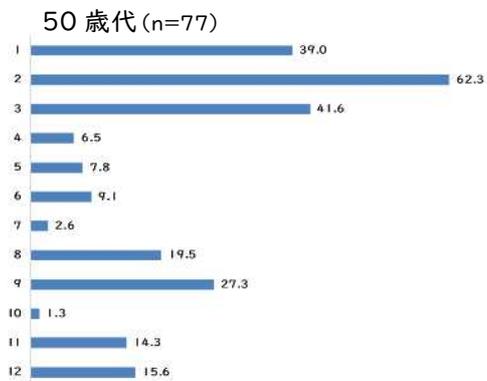
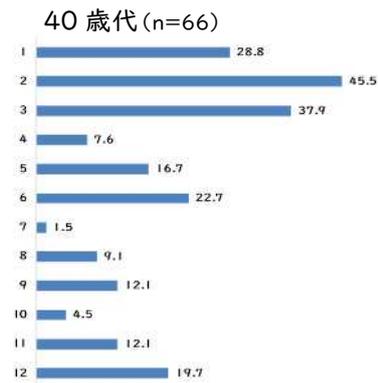
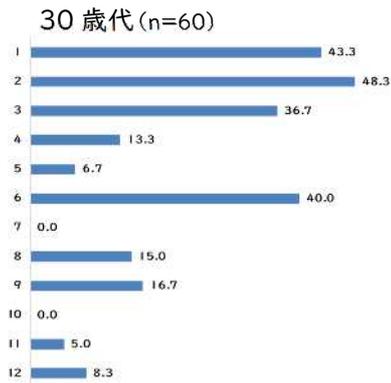
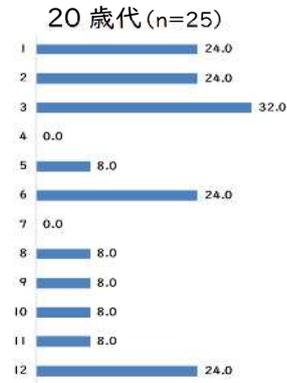
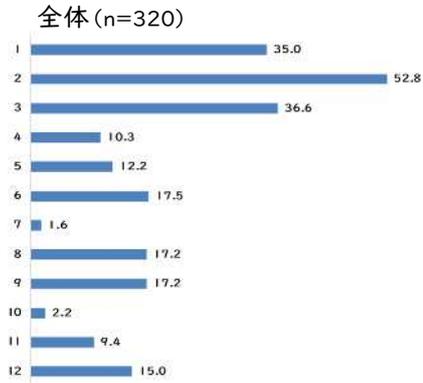
- | | |
|---|----------------------------------|
| 1 レファレンスサービス(専門職員が調べものや本など情報探しのお手伝いをするサービス) | 6 地域の取組みや、町の歴史等に関する展示やイベント、講座の開催 |
| 2 読み聞かせなど、子供、子育て層向けの展示やイベント、講座の開催 | 7 SNSなどを通じた本の紹介や情報発信 |
| 3 中高校生、大学生などの若い世代向けの展示やイベント、講座の開催 | 8 高齢者や障害者、外国人等、利用に支援が必要な方向けのサービス |
| 4 仕事やお金、健康など実用的なテーマの展示やイベント、講座の開催 | 9 電子図書館サービス |
| 5 時事や趣味などに関する展示やイベント、講座の開催 | 10 図書館の蔵書や施設を活用した市民主催の企画などの支援 |
| | 11 その他 |



※10歳代 (n=2) 電子図書館サービス:2

◆問21 市立図書館で、今後、特にどのような資料を充実させてほしいですか(3個まで選択可)

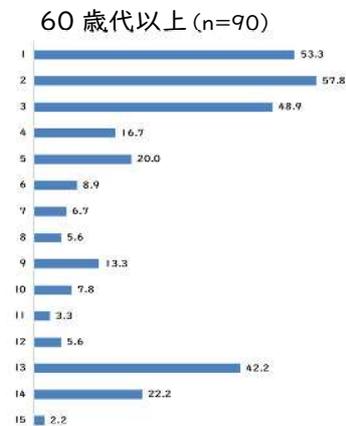
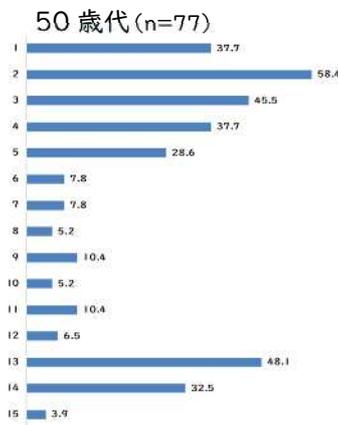
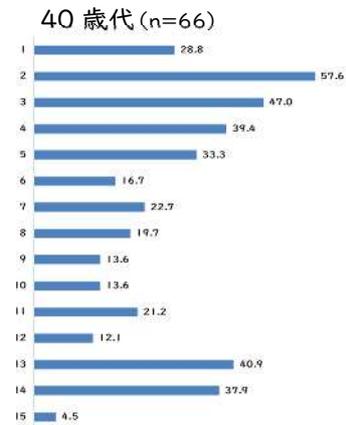
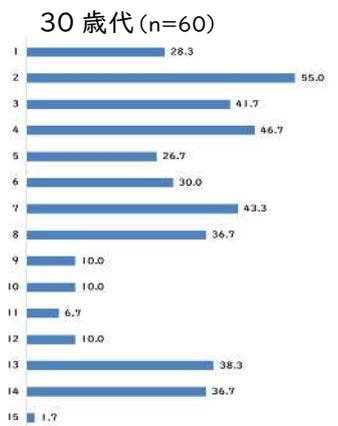
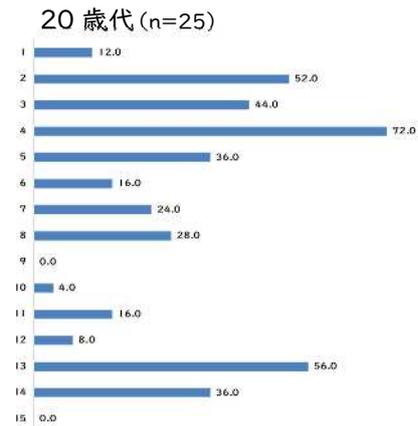
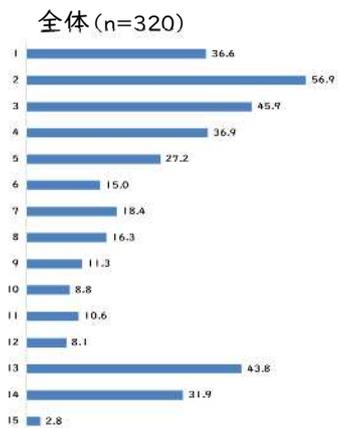
1 小説やエッセイ 2 趣味や知識の本 3 各分野の専門書 4 辞書、事典、年鑑などの調べ物のための本 5 市や地域に関する資料や行政資料 6 児童書・絵本・紙芝居
7 大活字本、点字資料、障害者向けの録音資料 8 CD・DVDなど 9 雑誌 10 外国語資料 11 オンラインデータベース 12 電子書籍



※10歳代 (n=2) 小説やエッセイ:2、児童書・絵本・紙芝居:1

◆問22 新しい中央図書館で特にどのような施設・設備を充実させてほしいですか(あてはまるものをすべて選択)

- 1 特集やテーマ別に本が並んでいるなど興味を喚起する書架 2 ソファ席、個人利用席、スツール席などの多様で居心地のいい座席 3 静かに集中できる静寂読書スペース
 4 自習のための個人利用スペース 5 研究・仕事のための個人利用スペース 6 気軽におしゃべりや本の読み聞かせができるスペース
 7 遊びながら本を読んだり、思い思いの過ごし方ができる子供エリア 8 ベビーカー置き場や子供用トイレ・授乳室 9 イベントやミーティングなど多目的な使い方ができるフリースペース
 10 話しながら利用できるグループ活動スペース 11 中高校生や大学生が思い思いに過ごすことができるスペース 12 気軽に子育てや、学校生活、健康などについて相談できる行政窓口
 13 無料WiFiや電源などが利用できるスペース 14 通勤・通学時など、閉館時間外に本を借りたり返したりできる設備 15 対面朗読室や拡大読書機など読書支援のための設備



※10歳代 (n=2) は、選択肢から1~6、8~11、13、14を選択

(2) グループインタビュー

1) 調査概要

個々人の読書や図書館に対する意識や考え方といったミクロな視点から新中央図書館整備において考慮すべきニーズや課題を把握するため、表1のとおり聞き取り調査を実施しました。調査は、公募による市民 29 名を4つのグループに分け、会場内のテーブルに広げた百数十冊の図書を自身の読書や図書館についての考え方を想起するきっかけとしながら、グループごとにインタビュー形式で行いました。

表1 調査概要

| 項目 | 内容 |
|---------|---|
| 調査名 | 西宮市 新中央図書館整備に向けたグループインタビュー |
| 調査方法 | グループインタビュー形式 |
| 調査対象 | 公募市民 29 名 |
| 調査日時 | 令和5年11月3日(金) 13時~16時45分 第1グループ(8名) 13時~13時45分 第2グループ(6名) 14時~14時45分 第3グループ(8名) 15時~15時45分 第4グループ(7名) 16時~16時45分 |
| 調査内容 | 1. テーブル上で気になった本について 2. 新しい図書館に期待することについて 等 |
| インタビュアー | 幅允孝(有限会社 BACH※代表) |

※ 西宮市中央図書館移転整備基本構想及び基本計画策定支援業務(令和5年)受託事業者(協力企業)

2) 調査結果

テーブル上で気になった本としては、「普段目にする機会が少ない」「つい手にとって開きたくなる」などの理由から、アートブックや写真集、また一般書の中でも装丁の良いものが手に取られやすかったほか、自分の興味関心に沿ったより深い知識が期待できそうな本や、仕事や生活におけるヒントが得られそうな本がよく手に取られていました。

また、新しい図書館に期待することとしては、「本を借りられる、閲覧できるだけでなく、普段出会えない本と出会えるような工夫」「市民同士が共有したり交流したりできる場」「目的によって使い分けられる空間や閲覧席」等が挙げられました。

表2 意見概要

| インタビュー項目 | 主な意見 |
|-------------------------------------|--|
| <p>テーブル上で気になった本について(書名と気になった理由)</p> | <ul style="list-style-type: none"> • 『WatercolorsbyFinnJuhl』書店ではなかなか出会えない、普段読む機会のないアート系の本だった • 『平行植物』 こういう本もあると気づかされた • 『働くことの哲学』『ブルシット・ジョブ』 自分の働き方を模索するため • 『ははがうまれる』 行き詰まったときのヒントや元気をもらえそう • 『ドレスコード』『世界で一番美しい切り絵人体図鑑』 装丁が良い • 『和菓子』 パラパラと見られるビジュアルブックには惹かれる • 『どもる体』 1つのテーマを掘り下げて解説しているものは気になる • 『カミングアウト・レターズ』 よく取り上げられる社会問題のため • 『ヤコブセンの建築とデザイン』 立派な本で自分では買えないため • 『私の保存食手帖』 昔ながらの生活にはできないながらも憧れる |
| <p>新しい図書館に期待すること</p> | <ul style="list-style-type: none"> • 一定期間で変わる特集コーナーなど、新しい本と出会えること／わくわくするような工夫された本の並べ方／わかりやすく、かつ考えさせられるような配架／普段読まないような本に出会えるような仕掛け • 幼年童話やヤングアダルトなど、各年齢に応じた本の充実 • 読んだ本について誰かと語りあえる、交流できる場／人と人が共有できるスペース／読書会やサークル、趣味仲間、保護者同士等で集まれる場所／イベントの充実を図るなど、市民同士が交流できる機能／シニアが時間や体力を活用できる場、お互いに人の役に立てるような場／ご高齢の方と子どもが触れ合えるような空間 • 落ち着いた静かな環境／目的によって使い分けられる空間／ほど良いにぎやかさと静かに読みたい気持ちの両立 • 心地よい椅子／目的に応じて使い分けられる多様な椅子 • 幼児と保護者が寝転がれるお話し会スペース • 勉強のしやすさ／Wi-Fiとコンセントの充実 • アイデアを形にできる場所(ファブラボなど) • おしゃれさ／自然光や照明で明るい図書館／緑がある場／目的がなくとも立ち寄りたくなる場所 • 子供から高齢者まで足を運びやすいこと • 本探しを手伝ってくれる図書館スタッフ |

(3) プレイスメイキングワークショップ

1) 開催概要

新中央図書館には人と人との交流拠点としての役割も期待されていることを踏まえ、多様な主体を巻き込みながら、それぞれにとっての「居心地の良い居場所」「愛着の持てる居場所」の具体的なイメージについて意見聴取することを目的としたワークショップを表3のとおり開催しました。

表3 開催概要

| 項目 | 内容 |
|-----------|---|
| ワークショップ名称 | 居心地の良い新図書館づくり プレイスメイキングワークショップ |
| テーマ | 「新中央図書館の場所と場をつくろう!」 |
| 対象 | 公募市民 19名 |
| 日時 | 令和5年11月25日(土) 13時30分~15時 |
| 内容 | 1. 開催趣旨の説明 2. ワークのテーマと進め方 3. ワーク 4. 結果発表 |

2) 開催結果

ワークショップでは、新中央図書館が居心地良く、各所でさまざまな活動が生まれる「場」となるための空間づくりについて、雑誌から得られる発想やペアでの対話を通じてアイデア出しを行いました。

空間づくりの具体的なアイデアとして、たくさんの椅子・大きなテーブル席・ふかふかのソファ・テントの中・狭い読書スペースなど資料に応じた使い方や自分に合った使い方ができる多彩な閲覧席や、本に埋もれた時間を過ごすための高書架に囲まれた空間と広々として緑なども備えた空間の双方が共存する開架エリア、地元ゆかりの作家・作品をイメージした建物など西宮らしさを感じられるデザイン、酒や地元食材のテイスティングスペース・地元アーティストの作品を発信するギャラリー・ヨット模型の展示スペースなどの魅力発信のスペース、ラウンジにもイベント会場にもおはなし室にもなるスペースや可動式の書架など使い手との関係な柔軟なスペースや家具等が挙げられました。

表4 意見概要

| 分類 | 主な意見(一部編集) |
|-----------------------|---|
| 集中できる場 | <ul style="list-style-type: none"> • (写真の)こんな図書館みたいに集中できる場／本に浸れる気持ちのいい図書館／本に包まれる空間 • ティーンズスペースの AV 視聴コーナー |
| リラックスできる場 | <ul style="list-style-type: none"> • 庭や自然が見える読書空間／植物がある落ち着く場所／眺めのよい場所／リラックスできる／くつろげる屋外芝生／動物がいる、触れ合える図書館／窓際のほっこりできるカフェ • 広いスペース／子供が遊べるスペース |
| 多様な閲覧席 | <ul style="list-style-type: none"> • どこでも本が読めるように配置されたたくさんの椅子／座り心地よい椅子／のんびりリラックスできるソファ／本を読むためのせまいスペース／入り組んだスペース／テント • 子どもたちが寝転がってもよいくつろげるスペース／赤ちゃんを寝かせられる畳スペース／ひとりでもゆっくり過ごせるスペース学習スペース／机が大きい広々とした勉強できる場所／教え合ったりできる場所／Wi-Fiが繋がる場所 |
| 西宮らしいデザイン | <ul style="list-style-type: none"> • 酒蔵風・和風のスペース／電車の車内を模した閲覧スペース • ゆかりの作品・作家にちなんだ施設デザイン |
| 魅力を発信する場 | <ul style="list-style-type: none"> • 西宮ゆかりの作家・作品紹介コーナー／阪神電車が見えるスペース／ヨットのモデルなどの展示／地元グッズの展示 • 日本酒の歴史や作り方を学びながら試飲できるコーナー／地元食材が試食できる和室空間 |
| 柔軟に活用できるスペースや家具 | <ul style="list-style-type: none"> • ヨガ、体操、音読教室などに使える多目的スペース • カフェがまんなかにあるスペース／ワイワイ話し合える、飲食できるスペース／会話可能な仕事スペース／親子同士で交流や子育て情報の交換ができる場／大人同士の交流スペース • 飲食も可能なラウンジ・イベントスペース／演奏できるスペース • パネル展示など目に触れる設えからの学びがある場所／ギャラリースペース／アートにふれられる場／科学館ツアーや天体観測ができる小規模な科学館的コーナー • 自由にスペースを活用するための動かせる本棚 |
| アイデアを共有したり、形にしたりできる設備 | <ul style="list-style-type: none"> • パワーポイントとスクリーンを常備したセミナースペース／スクリーン、音響・照明、舞台があるスペース／市民の才能を讃えあえる発表スペース • 創作スペース／パティシエ講座ができるキッチン／みんなで梅干しを漬けたり、本の知識を实践できるスペース／本で読んだアイデアを形にできるファブラボコーナー |

3 蔵書規模検討関連資料

人口 30 万人以上 70 万人未満、かつ中央図書館のほかに延床面積が 1,000 m²以上 (または中央館と同程度) の分館を設置する 50 自治体において、人口 1 人あたりの中央図書館蔵書数は表5のとおりです。

表5 人口類似規模自治体における中央図書館の蔵書数水準

| No. | 図書館名 | 延床面積 (m ²) | 奉仕人口 (人) | 蔵書(冊) | |
|-----|--------------|---------------------------|-------------|-----------|---------|
| | | | | 総数 | 人口1人あたり |
| 1 | 新宿区立中央図書館 | 4,693 | 345,231 | 243,592 | 0.71 |
| 2 | 江東区立江東図書館 | 4,935 | 526,301 | 340,496 | 0.65 |
| 3 | 品川区立品川図書館 | 4,668 | 406,404 | 426,367 | 1.05 |
| 4 | 中野区立中央図書館 | 4,480 | 334,632 | 513,639 | 1.53 |
| 5 | 杉並区立中央図書館 | 4,397 | 573,504 | 629,763 | 1.10 |
| 6 | 北区立中央図書館 | 6,165 | 353,158 | 472,756 | 1.34 |
| 7 | 板橋区立中央図書館 | 5,513 | 570,213 | 1,614,594 | 2.83 |
| 8 | 足立区立中央図書館 | 6,537 | 691,002 | 637,834 | 0.92 |
| 9 | 葛飾区立中央図書館 | 5,078 | 463,691 | 483,107 | 1.04 |
| 10 | 江戸川区立中央図書館 | 7,500 | 696,123 | 473,771 | 0.68 |
| 11 | 静岡市立中央図書館 | 5,343 | 694,296 | 453,930 | 0.65 |
| 12 | 旭川市中央図書館 | 6,203 | 331,397 | 912,151 | 2.75 |
| 13 | 秋田市立中央図書館明德館 | 4,806 | 305,390 | 364,224 | 1.19 |
| 14 | 宇都宮市立中央図書館 | 4,739 | 521,104 | 691,776 | 1.33 |
| 15 | 前橋市立図書館 | 4,765 | 335,055 | 346,132 | 1.03 |
| 16 | 高崎市立中央図書館 | 5,983 | 372,189 | 677,223 | 1.82 |
| 17 | 川越市立中央図書館 | 5,931 | 353,260 | 481,826 | 1.36 |
| 18 | 川口市立中央図書館 | 6,940 | 607,373 | 595,148 | 0.98 |
| 19 | 所沢市立所沢図書館 | 3,579 | 344,216 | 340,975 | 0.99 |
| 20 | 市川市中央図書館 | 6,411 | 491,764 | 954,258 | 1.94 |
| 21 | 船橋市西図書館 | 3,092 | 644,966 | 375,527 | 0.58 |
| 22 | 八王子市中央図書館 | 5,581 | 561,828 | 702,732 | 1.25 |
| 23 | 町田市立中央図書館 | 5,262 | 429,152 | 536,296 | 1.25 |
| 24 | 横須賀市立中央図書館 | 4,033 | 396,992 | 813,640 | 2.05 |
| 25 | 藤沢市総合市民図書館 | 4,726 | 439,416 | 639,946 | 1.46 |
| 26 | 富山市立図書館本館 | 4,621 | 414,102 | 478,251 | 1.15 |

| No. | 図書館名 | 延床面積 (㎡) | 奉仕人口 (人) | 蔵書(冊) | |
|-----|---------------|-------------|-------------|---------|---------|
| | | | | 総数 | 人口1人あたり |
| 27 | 金沢市立玉川図書館 | 6,340 | 451,018 | 729,945 | 1.62 |
| 28 | 長野市立長野図書館 | 4,959 | 374,038 | 680,921 | 1.82 |
| 29 | 岐阜市立中央図書館 | 9,210 | 407,387 | 545,854 | 1.34 |
| 30 | 豊橋市中央図書館 | 5,655 | 375,329 | 695,029 | 1.85 |
| 31 | 一宮市立中央図書館 | 6,589 | 384,233 | 659,150 | 1.72 |
| 32 | 春日井市図書館 | 4,983 | 310,991 | 793,075 | 2.55 |
| 33 | 大津市立図書館 | 3,350 | 344,218 | 457,830 | 1.33 |
| 34 | 豊中市立岡町図書館 | 3,272 | 409,396 | 219,061 | 0.54 |
| 35 | 吹田市立中央図書館 | 3,453 | 376,101 | 289,170 | 0.77 |
| 36 | 高槻市立中央図書館 | 2,966 | 351,082 | 634,223 | 1.81 |
| 37 | 枚方市立中央図書館 | 9,302 | 399,690 | 527,418 | 1.32 |
| 38 | 東大阪市立永和図書館 | 1,300 | 485,928 | 299,588 | 0.62 |
| 39 | 姫路市立城内図書館 | 4,800 | 534,127 | 551,346 | 1.03 |
| 40 | 尼崎市立中央図書館 | 4,728 | 462,820 | 562,968 | 1.22 |
| 41 | 奈良市立中央図書館 | 2,666 | 354,721 | 286,553 | 0.81 |
| 42 | 倉敷市立中央図書館 | 4,868 | 481,537 | 616,576 | 1.28 |
| 43 | 福山市中央図書館 | 4,813 | 466,863 | 539,667 | 1.16 |
| 44 | 高松市中央図書館 | 8,718 | 426,260 | 765,928 | 1.80 |
| 45 | 松山市立中央図書館 | 5,617 | 509,483 | 555,805 | 1.09 |
| 46 | 久留米市立中央図書館 | 4,320 | 304,666 | 345,741 | 1.13 |
| 47 | 大分市民図書館 | 4,548 | 478,463 | 809,244 | 1.69 |
| 48 | 宮崎市立図書館 | 6,409 | 402,038 | 482,151 | 1.20 |
| 49 | 鹿児島市立図書館 | 5,146 | 601,546 | 973,937 | 1.62 |
| 50 | 那覇市立中央図書館 | 671 | 320,467 | 175,083 | 0.55 |
| | 平均 | 5,093 | 444,303 | 567,924 | 1.31 |
| | (参考)西宮市立中央図書館 | 4,682 | 483,537 | 416,447 | 0.86 |

※ 数値は日本図書館協会『日本の図書館 統計と名簿 2022』(令和5年3月)より。ただし県立図書館と合築の高知市民図書館は除いた

4 図書収容能力検討関連資料

(1) 開館時の想定蔵書数と残り収容能力

移転先である公民連携事業の整備スケジュール等を見据え、新中央図書館の供用開始は、令和12年度頃を想定しています。

現中央図書館では、平成30年度から大規模な蔵書の整理を開始しており、今後新中央図書館開館までは毎年令和4年度と同程度の冊数の除籍・管理換を行う予定であることや、過去5年間の購入・寄贈等の受入実績から、令和5年度から令和11年度末までの年間の経常的な蔵書の増減は、表6に示す通り、年間約1.7万冊の減少を想定しています。

表6 中央図書館の想定蔵書増減冊数(令和5年度から11年度まで)

| 項目 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 想定値 |
|----------|---------|--------|--------|---------|---------|---------|
| 購入・寄贈・編入 | 8,410 | 7,664 | 9,161 | 8,749 | 10,568 | 9,000 |
| 除籍・管理換 | -10,978 | -5,363 | -5,181 | -19,564 | -28,625 | -28,500 |
| 所蔵館変更 | 1,061 | 2,131 | 4,203 | 1,213 | 4,190 | 3,000 |
| 年間増減 | | | | | | -16,500 |

※ 購入・寄贈・編入および所蔵館変更は過去5年間の平均値、除籍・管理換は令和4年度値で想定

また、新中央図書館開館にあたっての新規図書購入冊数は、令和5年以降の予算額及び予算申請額から、表7に示すとおり、令和5年および6年は年2,500冊、令和7年以降は年5,000冊を想定しています。

表7 新規購入図書の想定冊数

| 項目 | 令和5年度 | 令和6年度 | 令和7年度 | 令和8年度 | 令和9年度 | 令和10年度 | 令和11年度 |
|--------|-------|-------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 予算(千円) | 5,000 | 5,000 | 10,000 | 10,000 | 10,000 | 10,000 | 10,000 |
| 冊数(冊) | 2,500 | 2,500 | 5,000 | 5,000 | 5,000 | 5,000 | 5,000 |

※ レファレンス資料等の買い替えを想定し、購入単価は¥2,000/冊と設定

※ 令和7年度以降の予算は令和5年9月時点の申請額で仮定

さらに、新中央図書館への移転に際し、現中央図書館の蔵書のうち、将来に向けた保管が必要でかつ直接利用に供することの少ない資料の一部は、北部図書館の空きスペースを書庫として活用し移管する予定です。空きスペースの面積から、収蔵可能な冊数は表8のとおり、最大約5.7万冊を想定しています。

表8 外部書庫(北部図書館)の最大収蔵冊数

| 項目 | 値 | 備考 |
|---|---------------|--|
| 利用可能面積(m ²) | 100 | 旧車庫スペース:50m ² ワークルーム:100m ² のうち50m ² |
| 1m ² 当たりの収容能力(冊/m ²) | 570 | 集密書庫を想定 |
| 収蔵可能冊数(冊) | 57,000 | 最大値 |

北部図書館のワークルームの一部は既に閉架書庫として活用していることから、移管可能な冊数は約5万冊と想定します。

上記の諸条件をふまえると、令和11年度末の中央図書館の蔵書数は、表9に示すとおり、約27万冊です。そして新中央図書館の図書収容能力を約36万冊とすると、残る収容能力は約9万冊(=36万冊-27万冊)となります。

表9 中央図書館蔵書数の推移想定

| 項目 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 | 令和7年度 | 令和8年度 | 令和9年度 | 令和10年度 | 令和11年度 (移転直前) |
|-------------------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|------------------|
| 蔵書数 | 401,000 | 387,000 | 373,000 | 361,500 | 350,000 | 338,500 | 327,000 | 265,500 |
| 前年度との差 (①+②+③) | - | -14,000 | -14,000 | -11,500 | -11,500 | -11,500 | -11,500 | -61,500 |
| ①年間増減 | - | -16,500 | -16,500 | -16,500 | -16,500 | -16,500 | -16,500 | -16,500 |
| ②新規購入 | - | 2,500 | 2,500 | 5,000 | 5,000 | 5,000 | 5,000 | 5,000 |
| ③北部移管 | - | - | - | - | - | - | - | -50,000 |

※ 数値は各年度末時点。外部書庫への移管タイミングは仮定

(2) 図書収容上限への到達時期

新中央図書館の開館以降の蔵書受入冊数を表6より年0.9万冊、除籍等の冊数を、大規模な除籍を開始する前の平成29年以前の実績値³を参考に年0.3万冊程度とすると、毎年0.6万冊ずつ蔵書が増加する見込みです。

この想定増加ペースが維持された場合、新中央図書館の蔵書数が収容能力の上限に達するのは、約15年(≒9万冊÷0.6万冊/年)後と推定されます。

³ 除籍等の冊数は平成27年が2,613冊、平成28年が2,337冊、平成29年が2,585冊

(仮称)越木岩センター整備事業について

◆建物の概要

| | |
|--------|---------------------------|
| 用途 | 公民館機能、図書館機能、消防分団機能 |
| 建物床面積 | 約 1,789.73 m ² |
| 建築物の高さ | 約 14.77 m |
| 建物の構造 | 鉄筋コンクリート造(一部木造) |
| 建築物の階数 | 地上 3 階 |
| 駐車台数 | 12 台 |

◆施設整備方針

越木岩公民館の耐震化に当たり、同一敷地内に存在する越木岩公民館、中央図書館越木岩分室、消防団越木岩分団車庫合築することにより土地の有効活用と施設管理の効率化を図り、また、これらの機能を融合し新たな地域の拠点施設として整備します。

◆基本コンセプト

人づくり・つながりづくり・地域づくり ～人生 100 年時代の人・まちを見据えた交流拠点～
－機能の融合と一体感を象徴する施設－

センターは、公民館や図書館分室等を合築するだけでなく、各々の機能を生かし、多世代にわたる地域住民の居場所として人と人との交流やつながりを深めるとともに、生涯学習の取組みをきっかけに、地域活動への主体的な参画や地域づくりにつながる「学びと活動の好循環」を実現する仕組みを備えた施設をめざします。

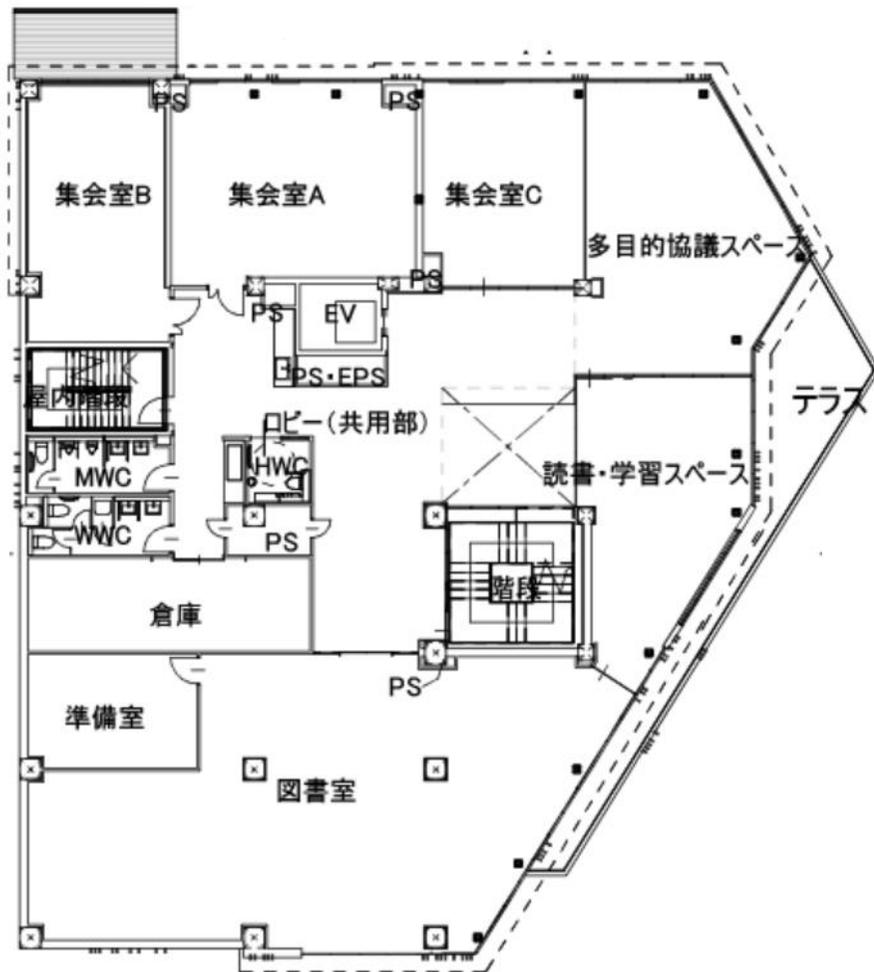
センター整備の主な内容

- ◆ 地域住民の居場所や多世代交流の場として「地域交流スペース(1階)」を設置
- ◆ 地域活動の拠点として「サポーターズルーム(1階)」を設置
- ◆ 各種ミーティング、自習、休憩など多目的に活用できる「多目的協議スペース(2階)」を設置
- ◆ 「会議室兼用のランチルーム(1階)」、「集会室 3部屋(2階)」、「読書・学習スペース(2階)」、「講堂(3階)」の設置
- ◆ センター内であればどこでも(図書室以外でも)本を読むことが可能
- ◆ グループ活動や地域の子どもたちの展示スペースを設置
- ◆ 北夙川通り沿いにデッキスペースを整備(1階建物外)
- ◆ 駐車増の一部にピロティを整備(1階駐車場部)
- ◆ 環境に配慮した高断熱化及び高効率な省エネルギー設備の導入

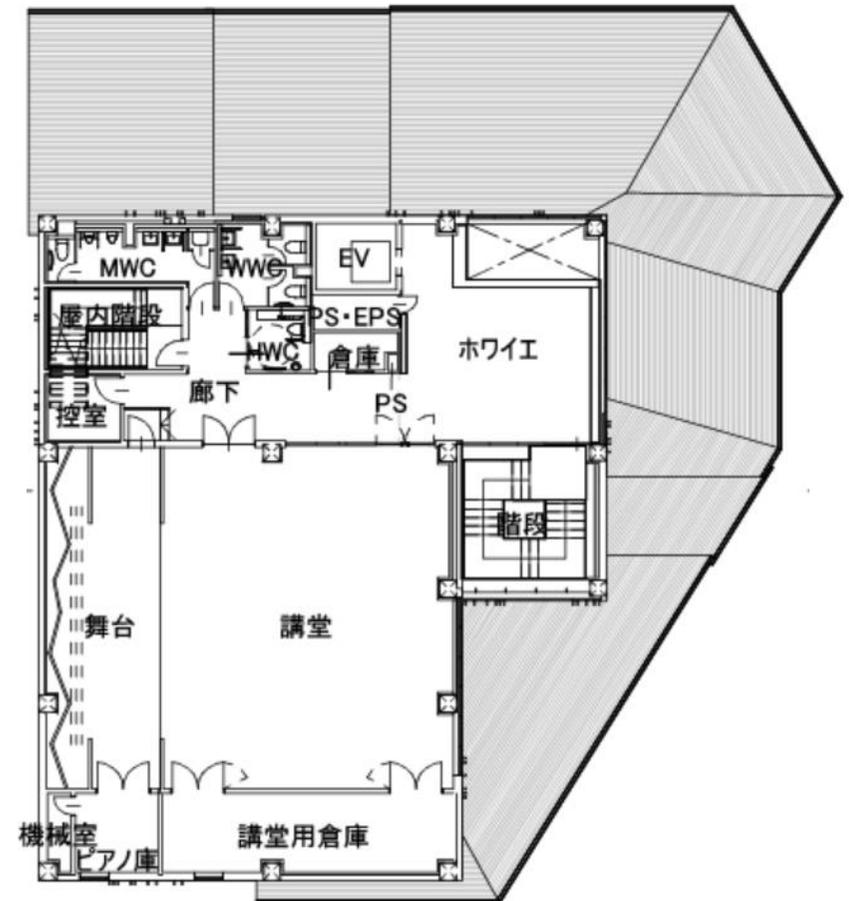
◆センター整備スケジュール(予定)

| 時 期 | 内 容 |
|--------|---------------------------------|
| 令和6年3月 | 既存施設閉館(越木岩公民館、図書館越木岩分室、市民課分室など) |
| 令和6年8月 | 既存施設の解体・センター建設工事着工 |
| 令和8年4月 | センター竣工 |
| 令和8年夏頃 | センター供用開始 |

<2階 平面図>



<3階 平面図>



○地域づくりの拠点施設としての取り組み

(1)センター準備委員会の設置(令和5年11月)

北夙川・苦楽園地区社会福祉協議会地区ネットワーク会議と、越木岩公民館運営協議会は、構成員の多くが重複することから両会の連携や融合を視野に入れ、新たに「(仮称)越木岩センター準備委員会」を設置し、地域主体のネットワーク組織を目指す

(2)センター準備委員会の委員構成と事務局

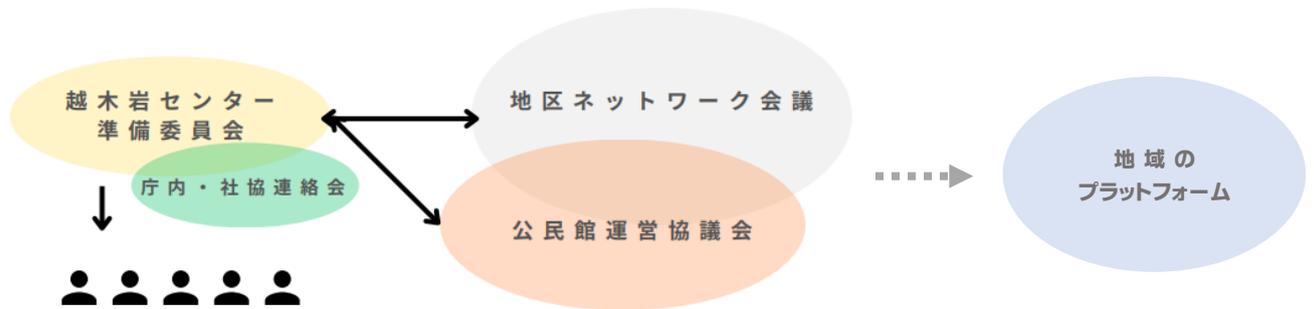
<準備委員会の委員構成>

越木岩会、越木岩青年会、地区社会福祉協議会、校区民生委員・児童委員協議会、公民館地域学習推進員会、ワークショップ参加者、図書館関係者など各種団体・個人で構成

<準備委員会の事務局>

当面は市と社会福祉協議会が共同して事務局を運営予定

地域住民主体の組織とするため段階的に地域住民による運営への移行を想定



(3)センター準備委員会の役割

- センターにおける活動に関する基本的な協議を行い、必要に応じて公民館運営協議会や地区ネットワーク会議などを通じて地域へ取り組み内容を発信
- 既存の活動・枠に人や団体をあてはめていくのではなく、集まった人や集まった声から活動が生まれる場づくり・環境づくりを目指す
- センター開設後、地域のプラットフォームへの移行を目指す

(準備委員会の展開イメージ)

